

# 日本語 Advanced Server for OpenVMS

---

## インストールおよび構成ガイド

2007 年 4 月

本書は、日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアのインストールと構成の方法を説明します。

変更および改訂情報:            本書は改訂ドキュメントです。

オペレーティング・システム: 日本語 OpenVMS Alpha V7.3-2, 8.2, 8.3

ソフトウェア・バージョン:    日本語 Advanced Server V7.3B for OpenVMS

日本ヒューレット・パッカード株式会社

---

2007 年 4 月

本書の著作権は Hewlett-Packard Development Company, L.P. が保有しており，本書中の解説および図，表は Hewlett-Packard Development Company, L.P. の文書による許可なしに，その全体または一部を，いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また，本書に記載されている事項は，予告なく変更されることがありますので，あらかじめご承知おきください。万一，本書の記述に誤りがあった場合でも，日本ヒューレット・パカードは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は，所定のライセンス契約が締結された場合に限り，その使用あるいは複製が許可されます。

© 2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

以下は他社の商標です。

Microsoft，MS-DOS，Windows，および Windows NT は米国 Microsoft 社の商標です。

Intel は米国 Intel 社の商標です。

UNIX は The Open Group がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

---

# 目次

まえがき .....	xi
<b>1 Advanced Server ソフトウェアをインストールする前に</b>	
1.1 Advanced Server ソフトウェア・キットについて .....	1-1
1.1.1 VAX システムについて .....	1-1
1.1.2 日本語 Advanced Server for OpenVMS にアップグレードする場合 .....	1-2
1.1.2.1 LANMAN.INI パラメータの OpenVMS レジストリへの移行 .....	1-3
1.1.2.2 OpenVMS Cluster のアップグレード .....	1-3
1.2 DECprint ソフトウェアのインストール .....	1-4
1.3 ライセンスについて .....	1-4
1.3.1 ライセンスの必要条件 .....	1-4
1.3.2 License Server について .....	1-5
1.4 外部認証について .....	1-6
1.5 リリース・ノートについて .....	1-6
1.5.1 インストール前にリリース・ノートにアクセスする方法 .....	1-7
1.5.2 インストール後にリリース・ノートにアクセスする方法 .....	1-7
1.6 インストール・チェックリストの使用 .....	1-7
1.7 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアをインストールするための必要条件 .....	1-8
1.7.1 ハードウェアの必要条件 .....	1-8
1.7.2 ソフトウェアの必要条件 .....	1-8
1.7.3 サポートされるクライアント・ソフトウェア .....	1-9
1.7.4 メモリの必要条件 .....	1-9
1.8 インストールの準備 .....	1-9
1.8.1 ステップ 1: パーツ一覧の確認 .....	1-10
1.8.2 ステップ 2: ネットワーク・ハードウェアの確認 .....	1-10
1.8.3 ステップ 3: SYSTEM アカウントへのログイン .....	1-10
1.8.4 ステップ 4: 必要なソフトウェアの確認 .....	1-11
1.8.5 ステップ 5: OpenVMS Registry Server の起動 .....	1-11
1.8.6 ステップ 6: リリース・ノートの印刷と確認 .....	1-12
1.8.7 ステップ 7: システム・パラメータの確認 .....	1-12
1.8.7.1 GBLPAGES パラメータ .....	1-12
1.8.7.2 GBLSECTIONS パラメータ .....	1-13
1.8.7.3 PROCSECTCNT パラメータ .....	1-13
1.8.7.4 SCSNODE パラメータ .....	1-14
1.8.8 ステップ 8: システムのバックアップ .....	1-15
1.8.9 ステップ 9: ディスク容量の必要条件の確認 .....	1-15
1.8.10 ステップ 10: キュー・マネージャの確認 .....	1-15
1.8.11 ステップ 11: タイム・ゾーンおよび TDF の確認 .....	1-16

1.8.12	ステップ 12: DECnet の状態の確認 .....	1-17
1.8.12.1	DECnet (フェーズ IV) の状態の確認 .....	1-17
1.8.12.2	DECnet-Plus の状態の確認 .....	1-17
1.8.13	ステップ 13: TCP/IP の状態の確認 .....	1-18
1.8.14	ステップ 14: 既存の OpenVMS Server のイメージおよびファイルがあるかどうかの確認 .....	1-18
1.8.15	ステップ 15: OpenVMS Cluster 構成の確認 .....	1-19
1.9	次のステップ .....	1-20
<b>2</b>	<b>Advanced Server ソフトウェアのインストール</b>	
2.1	インストール・プロシージャ .....	2-1
2.1.1	インストール・プロシージャを開始する前に .....	2-2
2.1.2	サーバのインストール .....	2-3
2.1.3	インストール完了後の作業 .....	2-10
2.2	インストール時の問題のトラブルシューティング .....	2-11
2.2.1	VAX システム上への日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアのインストール .....	2-11
2.2.2	別の Advanced Server イメージを実行しているシステムへの日本語 Advanced Server for OpenVMS のインストール .....	2-11
2.2.3	システム・ディスクの制限事項 .....	2-12
2.2.4	PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) V6.0A 以前のバージョンのあるシステムへの日本語 Advanced Server for OpenVMS のインストール .....	2-12
2.3	次のステップ .....	2-13
<b>3</b>	<b>Advanced Server の構成</b>	
3.1	Advanced Server の構成プロシージャについて .....	3-1
3.1.1	構成プロシージャの動作 .....	3-2
3.2	LANMAN.INI パラメータの OpenVMS レジストリへの移行 .....	3-3
3.3	Advanced Server 構成プロシージャを起動する前に .....	3-4
3.3.1	どの OpenVMS ディスク・デバイスに Advanced Server データ・ファイルを格納するか? .....	3-4
3.3.2	Windows クライアント・ユーティリティをインストールするか? .....	3-5
3.3.3	このサーバでクライアント・ベースのライセンス・ソフトウェアを共有するか? .....	3-6
3.3.4	クライアント・ベース・ライセンス・チェックを無効にするか? .....	3-7
3.3.5	今すぐシステム構成パラメータを変更するか? .....	3-7
3.3.5.1	バックアップ・ドメイン・コントローラまたはメンバ・サーバ用のトランスポートの構成 .....	3-8
3.3.6	サーバ構成設定のいずれかを変更するか? .....	3-10
3.3.7	Administrator アカountのパスワードは何にするか? .....	3-14
3.3.8	アカウント/パスワード情報を提供するか? .....	3-14
3.3.9	ドメイン管理者のパスワードは? .....	3-14
3.3.10	新しい管理者アカウントのパスワードを入力するか? .....	3-15
3.3.11	サーバを起動するかどうか? .....	3-15
3.4	Advanced Server 構成プロシージャの起動方法 .....	3-15
3.5	Advanced Server 構成プロンプトへの応答方法 .....	3-15
3.6	サーバ構成設定の変更方法 .....	3-18

3.7	Advanced Server のドメインの役割の構成 .....	3-20
3.7.1	Advanced Server のメンバ・サーバとしての構成 .....	3-22
3.7.1.1	Advanced Server をメンバ・サーバとして構成するタイミ ングに関する検討 .....	3-23
3.7.1.2	新しい日本語 Advanced Server for OpenVMS のメンバ・サ ーバとしての構成 .....	3-27
3.7.1.3	既存の日本語 Advanced Server for OpenVMS の BDC のメ ンバ・サーバとしての構成 .....	3-29
3.8	サーバの言語の構成 .....	3-29
3.8.1	サーバの言語に関する考慮事項 .....	3-30
3.8.2	サーバの言語の構成例 .....	3-31
3.9	Windows NT プリンタ管理の構成 .....	3-32
3.9.1	Windows NT プリンタ管理に関する考慮事項 .....	3-33
3.9.2	Windows NT プリンタ管理の構成例 .....	3-33
3.10	構成プロシージャの問題のトラブルシューティング .....	3-34
3.10.1	Registry Server のスタートアップ時の問題 .....	3-34
3.10.2	クライアントをサポートするための十分なリソースが存在することの確 認 .....	3-35
3.10.3	Advanced Server の再構成中に問題が発生した場合 .....	3-36
3.11	Advanced Server のネットワーク・アダプタ .....	3-36
3.11.1	ネットワーク・アダプタの手動による定義 .....	3-37
3.11.2	ネットワーク・アダプタが見つからない場合の対処方法 .....	3-38
3.12	次のステップ .....	3-39
4	スタンドアロン License Server の構成と起動 .....	
4.1	License Server について .....	4-1
4.2	スタンドアロン License Server を構成する前に .....	4-2
4.3	スタンドアロン License Server の構成 .....	4-2
4.4	トランスポートの構成 .....	4-3
4.5	License Server の構成プロンプトへの応答方法 .....	4-3
4.6	スタンドアロン License Server の起動方法 .....	4-4
4.6.1	License Server を手動で起動する方法 .....	4-5
4.6.2	License Server を自動的に起動する方法 .....	4-5
4.6.3	OpenVMS Cluster における License Server の起動方法 .....	4-5
5	Advanced Server のインストール後の処理 .....	
5.1	インストレーション後のタスクを開始する前に .....	5-1
5.2	Advanced Server インストレーションの検証 .....	5-1
5.3	Advanced Server の起動 .....	5-2
5.3.1	Advanced Server を起動するとき .....	5-2
5.3.2	スタートアップ・プロシージャの動作 .....	5-2
5.4	Advanced Server の起動方法 .....	5-3
5.4.1	Advanced Server を手動で起動する方法 .....	5-3
5.4.2	Advanced Server を自動的に起動する方法 .....	5-3
5.4.3	OpenVMS Cluster で Advanced Server を起動する方法 .....	5-4

5.4.4	スタートアップのトラブルシューティング .....	5-4
5.4.4.1	SYLOGIN.COM に独立プロセスに適さないコマンドが入っている .....	5-5
5.4.4.2	OpenVMS レジストリ・サービスが利用できない .....	5-5
5.4.5	OpenVMS レジストリに保存される初期の Advanced Server パラメータ値の決定 .....	5-6
5.5	Advanced Server の停止 .....	5-6
5.6	特殊な Advanced Server 管理コマンド .....	5-6
5.7	外部認証のセットアップ .....	5-7
5.7.1	OpenVMS Cluster における外部認証のセットアップ .....	5-9
5.7.2	DECnet-Plusを経由した外部認証の必要条件 .....	5-11
5.7.3	外部認証のためのサーバの能力の構成 .....	5-12
5.7.4	ネットワークのダウン時の外部認証のバイパス .....	5-12
5.7.5	外部認証の無効化 .....	5-12
5.8	日本語ファイル名の ODS-2 から ODS-5 への変換 .....	5-13
5.8.1	ファイル名変換ユーティリティの使用 .....	5-13
5.8.2	コード化されたファイル名の変換の例 .....	5-15
5.8.3	全部のファイル名を変換する場合の例 .....	5-16
5.9	オプションのサーバ管理ツールのインストール .....	5-16
6	ワイド・エリア・ネットワークの実装	
6.1	ワイド・エリア・ネットワーク・サポートの有効化 .....	6-1
6.2	ワイド・エリア・ネットワークにおける LMHOSTS ファイルの使用 .....	6-2
6.2.1	TCP/IP ワイド・エリア・ネットワークのセットアップ .....	6-2
6.2.2	LMHOSTS ディレクトリ .....	6-3
6.2.3	LMHOSTS ファイル構文 .....	6-3
6.2.4	LMHOSTS ファイルの管理 .....	6-6
6.2.5	LMHOSTS ログ・ファイルの使用 .....	6-7
6.3	ワイド・エリア・ネットワークにおける WINS の使用 .....	6-7
6.3.1	OpenVMS クラスタのための WINS のセットアップ .....	6-7
6.4	ワイド・エリア・ネットワークにおける DNS の使用 .....	6-8
7	Advanced Server ソフトウェアの削除	
7.1	Advanced Server のアンインストール .....	7-1
7.2	Advanced Server 構成パラメータの削除 .....	7-2
7.3	Advanced Server ソフトウェアの削除 .....	7-3
7.3.1	OpenVMS レジストリ内のサーバ構成パラメータ .....	7-4
7.4	Advanced Server 削除プロシージャの例 .....	7-5
A	インストールおよびアップグレードのチェックリスト	

<b>B</b>	<b>Advanced Server のインストールおよび構成の例</b>	
B.1	Advanced Server のインストール・プロシージャの例 .....	B-1
B.2	Advanced Server 構成プロシージャの例 .....	B-3
<b>C</b>	<b>スタンドアロン License Server のインストールと構成の例</b>	
C.1	スタンドアロン License Server のインストール・プロシージャの例 .....	C-1
C.2	スタンドアロン License Server の構成ダイアログの例 .....	C-2
<b>D</b>	<b>外部認証ソフトウェアのインストールの例</b>	
<b>E</b>	<b>Advanced Server ファイルおよびオンディスク構造</b>	
E.1	Advanced Server ファイル .....	E-1
E.2	Advanced Server オンディスク構造 .....	E-10
<b>F</b>	<b>Advanced Server 論理名</b>	

## 索引

## 例

2-1	サンプルのインストール・プロシージャーパート1 .....	2-5
2-2	サンプルのインストール・プロシージャーパート2 .....	2-7
2-3	サンプルのインストール・プロシージャーパート3 .....	2-7
2-4	サンプルのインストール・プロシージャーパート4 .....	2-9
2-5	サンプルのインストール・プロシージャーパート5 .....	2-9
2-6	サンプルのインストール・プロシージャーパート6 .....	2-10
2-7	サンプルのインストール・プロシージャーパート7 .....	2-10

## 図

E-1	オンディスク構造図 .....	E-10
-----	-----------------	------

## 表

1-1	インストール前のチェックリスト .....	1-9
3-1	Advanced Server 構成プロンプト .....	3-16
3-2	構成設定 .....	3-19
3-3	各ドメインのタイプにおけるサーバの役割 .....	3-20
3-4	サーバの役割を変更する方法 .....	3-22
3-5	OpenVMS ネットワーク・アダプタの論理名 .....	3-37
3-6	未定義のアダプタ・メッセージ .....	3-39

4-1	License Server の構成プロンプト .....	4-4
5-1	IVP の結果と取るべきアクション .....	5-2
5-2	PWCONVERT の修飾子 .....	5-14
7-1	PRODUCT REMOVE プロンプト .....	7-4
A-1	インストレーションおよびアップグレードのチェックリスト .....	A-2
E-1	Advanced Server 用にインストールされるファイル .....	E-1
F-1	Advanced Server 論理名 .....	F-1



---

## まえがき

本書は、日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェア (“Advanced Server”ともいいます) のインストールおよび構成の方法を説明します。インストール・プロシージャにより、次のものをインストールすることができます。

- Advanced Server の全機能
- ローカル・エリア・ネットワークの中の異なるシステム上で実行できるスタンドアロン License Server のみ
- Advanced Server を実行していない OpenVMS Cluster メンバ・ノードで、外部認証を行うために使用できるスタンドアロン外部認証ソフトウェアのみ
- スタンドアロン License Server とスタンドアロン外部認証ソフトウェアのみ

## 対象読者

本書は、OpenVMS システム管理者およびネットワーク管理者を対象としており、HP OpenVMS オペレーティング・システムの次の点について熟知していることを前提とします。

- DIGITAL コマンド言語 (DCL)
- EDT または EVE のようなテキスト・エディタ
- POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティ

本書はまた、基本的な Advanced Server の概念を熟知していることを前提としています。

## 本書の構成

次の表に、本書の内容を示します。

章	説明
第 1 章	インストールの前提条件について説明します。
第 2 章	インストール手順について説明します。
第 3 章	Advanced Server の構成方法について説明します。
第 4 章	スタンドアロン License Server の構成方法について説明します。

章	説明
第 5 章	インストール後の作業について説明します (インストール検証プロセスの実行やインストール/構成プロセスから独立のサーバの起動など)。
第 6 章	ワイド・エリア・ネットワークの設定方法について説明します。
第 7 章	日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアをシステムから削除する方法について説明します。
付録 A	インストールおよび構成作業について要約します。付録 A をコピーして、本書を読みながらチェックリストとして使用することができます。
付録 B	Advanced Server のインストール/構成プロセスの実行例を示します。
付録 C	スタンドアロン License Server のインストール/構成プロセスの実行例を示します。
付録 D	外部認証ソフトウェアのみのインストール実行例を示します。
付録 E	インストールされる日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアのファイルについて説明します。
付録 F	Advanced Server 用に作成される論理名について説明します。

## 関連資料

次のマニュアルは、本書で説明するトピックについて詳細に説明しています。

ドキュメント	説明
『HP Advanced Server for OpenVMS Concepts and Planning Guide』	システム管理者およびオペレータに対し、Advanced Server ソフトウェアの概要を紹介し、関連するネットワーク機能の概念を説明しています。
『Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』	Advanced Server ソフトウェアの管理とカスタマイズ方法について説明しています。
『Advanced Server for OpenVMS Commands Reference Manual』	すべての ADMINISTER コマンドおよび同等の NET コマンドのコマンド構文について説明しています。
『HP Advanced Server for OpenVMS Guide to Managing Advanced Server Licenses』	License Server ソフトウェアおよび Advanced Server ライセンスの管理方法について説明しています。

次の表に、関連の OpenVMS ドキュメントを示します。

OpenVMS ドキュメント	説明
『HP OpenVMS Version 8.3 新機能説明書』	OpenVMS オペレーティング・システム・ソフトウェアの新機能および関連する注意事項について説明しています。
『HP OpenVMS Version 8.3 インストール・ガイド[翻訳版]』	OpenVMS オペレーティング・システム・ソフトウェアのインストール方法について説明しています。
『OpenVMS システム管理者マニュアル』	OpenVMS オペレーティング・システムのシステム管理について説明しています (2 分冊)。必要なシステム・サービスの設定方法についても説明しています。
『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』	OpenVMS システムの管理に使用するユーティリティとツールについてのリファレンス・ガイドです (2 分冊)。
『OpenVMS License Management Utility Manual』	ライセンスの Product Authorization Key (PAK) のロードと管理の方法について説明しています。
『OpenVMS Extended File Specifications の手引き』	ODS-5 ファイル・システムの設定と有効化の方法など、OpenVMS の Extended File Specifications について説明しています。
『OpenVMS システム・セキュリティ・ガイド』	外部認証の有効化のプロシージャなど、OpenVMS のセキュリティ機能について説明しています。
『COM, Registry, and Events for OpenVMS Developer's Guide』	COM for OpenVMS, OpenVMS レジストリ, および OpenVMS イベントについて説明しています。
『HP C 国際化ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』	国際化ソフトウェア・アプリケーションのローカライズおよびタイム・ゾーン・データの管理に役立つユーティリティについて説明しています。

OpenVMS 製品およびサービスに関する詳細な情報については、次の URL の OpenVMS の Web サイトにアクセスしてください。

<http://www.hp.com/jp/openvms/>

## 表記法

Advanced Server ドキュメント・セットでは、次の表記法を使用します。

表記法	意味
Advanced Server	Advanced Server とは、日本語 Advanced Server for OpenVMS ファイル・サーバを指します。
<i>Italic</i>	入力すべき情報やパラメータのためのプレースホルダを示します。たとえば、プロシージャが <i>file name</i> を入力するよう求める場合は、実際のファイル名を入力します。 イタリック体はまた、新出用語や参照される他のドキュメントのタイトルも示します。
monospace	入力する実際のコマンドや文字、およびシステム表示を示します。

表記法	意味
注意:	特に重要な情報を示します。
注:	ソフトウェアまたはハードウェアの損傷防止のための情報を示します。
警告:	人体の安全にとって重要な情報を示します。
...	コマンド行の中でエントリに続く水平の反復記号は、そのエントリまたは類似のエントリを何度でも繰り返せることを示します。ファイル名に続く反復記号は、追加のパラメータ、値、または情報を入力できることを示します。
.	例の中の垂直の反復記号は、すべてのデータが記載されているわけではないことを示します。
Ctrl/x	Ctrl キーを押した状態で、別のキーまたはポインティング・デバイスのボタンを押します。
Return または Enter	Return または Enter キーを押さなければならない箇所を示します。このキーには、キーボードにより、Return または Enter というラベルが付いています。
<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">Tab</span>	例の中では、四角で囲まれたキー名は、ユーザがキーボードのキーを押すことを示します (本文中では、キー名は四角で囲まれていません)。 本書の HTML 版では、四角ではなくカッコで示されます。
PF1 x	PF1 x のようなシーケンスは、まず、PF1 というラベルの付いたキーを押して放し、次に別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押して放すことを示します。

---

## Advanced Server ソフトウェアをインストールする前に

この章では、必要なハードウェアとソフトウェア、および日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアをインストールする前に完了すべき手順を説明します。

この章は、次の節から構成されます。

- 第 1.1 節, Advanced Server ソフトウェア・キットについて
- 第 1.2 節, DECprint ソフトウェアのインストレーション
- 第 1.3 節, ライセンスについて
- 第 1.4 節, 外部認証について
- 第 1.5 節, リリース・ノートについて
- 第 1.6 節, インストレーション・チェックリストの使用
- 第 1.7 節, Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアをインストールするための必要条件
- 第 1.8 節, インストレーションの準備
- 第 1.9 節, 次のステップ

---

### 1.1 Advanced Server ソフトウェア・キットについて

日本語 Advanced Server for OpenVMS キットでは、次のサーバ・ソフトウェアを選択してインストールすることができます。

- License Server および外部認証ソフトウェアを含む、完全な Advanced Server ソフトウェア
- Advanced Server スタンドアロン License Server
- スタンドアロン外部認証ソフトウェア
- スタンドアロン License Server およびスタンドアロン外部認証ソフトウェア

#### 1.1.1 VAX システムについて

日本語 Advanced Server for OpenVMS 製品は、OpenVMS Alpha システム上でのみサポートされます。日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアを OpenVMS VAX システムにインストールすることはできません。VAX システム上では、現在の PATHWORKS サーバ・ソフトウェアを引き続き使用しなければなりません。

ん。まだ PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) V6.0D 以降にアップグレードしていない場合は、アップグレードしてください。

日本語 Advanced Server for OpenVMS を Alpha メンバ上で実行している混合アーキテクチャの OpenVMS Cluster では、VAX メンバはまだ外部認証を使用することができます。詳細については、「第 5.7.1 項, OpenVMS Cluster における外部認証のセットアップ」を参照してください。

---

#### 注意

---

同じクラスタ内で日本語 Advanced Server for OpenVMS または PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) の複数のバージョンを実行することはできません。

---

### 1.1.2 日本語 Advanced Server for OpenVMS にアップグレードする場合

Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアは、OpenVMS V7.3-2 以降の Alpha システム上でのみインストールおよび稼動することができます。したがって、サーバ・ソフトウェアとともにオペレーティング・システムもアップグレードする必要がある場合があります。

日本語 Advanced Server for OpenVMS V7.2 以降がすでにインストールされている場合、インストレーションおよびアップグレードでは、中間的なアップグレードを必要としません。

PATHWORKS V6 for OpenVMS (Advanced Server) が現在インストールされている場合は、それが V6.0D 以降であることを確認してください (DCL プロンプトで ADMINISTER SHOW VERSION を実行してください)。V6.0D 以降でない場合には、PATHWORKS V6 for OpenVMS (Advanced Server) の現在のリリースにアップグレードしてから処理を続行します。Advanced Server 構成プロシージャ (PWRK\$CONFIG.COM) は、第 3 章, Advanced Server の構成で説明するように、PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) データ・ファイルを日本語 Advanced Server for OpenVMS と互換性のあるフォーマットに自動的に変換します。

現在 PATHWORKS V5 for OpenVMS (LAN Manager) がインストールされている場合には、日本語 Advanced Server for OpenVMS に直接アップグレードする方法はありません。既存のユーザ、グループ、共有、およびセキュリティ・オブジェクトを保持したい場合は、まず、PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) V6.0D 以降に移行する必要があります。詳細については、『Compaq PATHWORKS for OpenVMS Server Migration Guide』を参照してください。

OpenVMS Alpha V6.2 システム上で PATHWORKS V5 for OpenVMS (LAN Manager) ファイル・サーバを実行するシステムについては、できるだけ次の移行パスに従ってください。

1. V5 ファイル・サーバを PATHWORKS V6 for OpenVMS (Advanced Server) V6.0D 以降にアップグレードします。
2. オペレーティング・システムを OpenVMS V7.3-2 以降にアップグレードします。
3. V6 ファイル・サーバを Advanced Server V7.3B for OpenVMS にアップグレードします。

PATHWORKS for OpenVMS および日本語 Advanced Server for OpenVMS の各バージョンがサポートする OpenVMS のバージョンについては、適切な『ソフトウェア仕様書 (SPD)』を参照してください。

#### 1.1.2.1 LANMAN.INI パラメータの OpenVMS レジストリへの移行

旧バージョンのサーバ・ソフトウェア (たとえば、PATHWORKS for OpenVMS) では、サーバ・パラメータを格納するのに LANMAN.INI ファイルが使用されています。日本語 Advanced Server for OpenVMS は、これらのパラメータを Windows NT レジストリに似た OpenVMS レジストリに格納します。

システムを PATHWORKS V6 for OpenVMS (Advanced Server) から Advanced Server V7.3 for OpenVMS にアップグレードする場合、既存の LANMAN.INI ファイルにあるパラメータと設定は、PWRK\$CONFIG.COM 構成プロシージャを最初に行ったときにレジストリ・パラメータに移行されます。詳細については、「第 3.2 節, LANMAN.INI パラメータの OpenVMS レジストリへの移行」を参照してください。

#### 1.1.2.2 OpenVMS Cluster のアップグレード

日本語 Advanced Server for OpenVMS は、OpenVMS Alpha バージョン 7.3-2 以降を実行するどの OpenVMS Cluster メンバ上にもインストールすることができます。ただし、PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) または日本語 Advanced Server for OpenVMS が現在いずれかのクラスタ・メンバで実行中の場合には、インストールを行う前に停止する必要があります。日本語 Advanced Server for OpenVMS を実行するクラスタ・メンバが共通のシステム・ディスクを共有する場合は、そのシステム・ディスクを共有する任意のクラスタ・メンバでインストールを実行することができます。日本語 Advanced Server for OpenVMS を実行するクラスタ・メンバが別々のシステム・ディスクを使用する場合には、各システムに日本語 Advanced Server for OpenVMS をインストールします。

OpenVMS Cluster に他のシステム・ディスクが含まれている場合 (たとえば、クラスタ内で VAX システムや、OpenVMS Alpha の以前のバージョンを実行するシステムをサポートするため)、これらのディスクには PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) の古いバージョンがインストールされていることがあります。その場合には、日本語 Advanced Server for OpenVMS を OpenVMS Alpha V7.3-2 以降のシステムで実行中に、誤って古いバージョンが起動されないように削除して

おきます。PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) 製品を削除するには、PATHWORKS を削除する予定のシステム・ディスクを使用するクラスタ・メンバからコマンド・プロシージャ SYS\$UPDATE:PWRK\$DEINSTAL を実行します。PWRK\$DEINSTAL.COM の使用方法についての詳細は、『Compaq PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) Server Installation and Configuration Guide』を参照してください。

ただし、外部認証を使用している場合には、クラスタ内のすべてのノードに外部認証ソフトウェアをセットアップするよう推奨します。OpenVMS ファイル・サーバを実行していないノードで外部認証サポートをセットアップする方法については、「第 5.7 節、外部認証のセットアップ」を参照してください。

---

## 1.2 DECprint ソフトウェアのインストール

DECprint Supervisor for OpenVMS (DCPS) は、PostScript プリンタ用のキュー管理と印刷機能を提供する印刷システムです。PostScript プリンタを共有するには、DECnet または TCP/IP を経由してプリンタと通信を行うために、選択した PostScript プリンタは DECprint Supervisor for OpenVMS (DCPS) ソフトウェアの使用を必要とすることがあります。

DECprint Supervisor for OpenVMS を使用しようとする場合、できるだけ Advanced Server をインストールする前にそれをインストールしてください。DECprint ソフトウェアをインストールした後、システムを再起動しなければなりません。起動は、DECprint Supervisor のインストール・プロシージャの一部として行うことも、Advanced Server をインストールした後、それを構成する前に行うこともできます。

---

## 1.3 ライセンスについて

次の各項では、Advanced Server のライセンシング・ソフトウェアとライセンスの必要条件について説明します。

### 1.3.1 ライセンスの必要条件

Advanced Server は、ファイル・サービスおよびプリント・サービスにアクセスするクライアントが適切にライセンスされていることを要します。この必要条件に準拠するには、次のいずれかに該当しなければなりません。

- クライアントは、Advanced Server に接続するたびに、クライアント・ベースのライセンスを取得しなければならない。



- Advanced Server は、Advanced Server のサービスを使用しようとするクライアントがライセンスを持たない場合、それに割り当て可能なサーバ・ベースのライセンスを持っていないなければならない。

いずれの場合も、Advanced Server のサービスへのアクセスに必要なライセンスは、PWLXXXXCA07.03 というクライアント・アクセス・ライセンスです。

PATHWORKS V6 for OpenVMS (Advanced Server) または日本語 Advanced Server for OpenVMS V7.2 からアップグレードする場合、クライアント・ライセンスのアップグレードについての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Guide to Managing Advanced Server Licenses』を参照してください。

### 1.3.2 License Server について

Advanced Server License Server は、OpenVMS システム上で実行して、クライアントにライセンスを付与するオプションのソフトウェア・プログラムです。

License Server は、次のようにインストールできます。

- ファイル・サーバとともにインストールする (Advanced Server のインストールに自動的に含まれます)。
- ファイル・サーバとは別にインストールする (“スタンドアロン License Server” といいます)。

いずれの場合も、License Server が次のプロトコルのどれを使ってクライアントをサポートするようにも構成することができます。

- DECnet
- LAN Manager (NetBEUI)
- TCP/IP

Advanced Server のない指定された OpenVMS システム上に License Server をインストールすることを推奨します。日本語 Advanced Server for OpenVMS キットにより、ファイル・サーバとは別にスタンドアロン License Server をインストールすることができます。また、この代わりに、Advanced Server のある OpenVMS Cluster 上で License Server を実行すれば、クラスタ・フェイルオーバにより信頼性が向上します (クラスタ・フェイルオーバにより、Advanced Server ファイル・サーバの信頼性も向上します)。

LAN はそれぞれ、アクティブな License Server を 1 つだけ必要とします。License Server を実行するシステムにライセンスの Product Authorization Key (PAK) をロードする必要があります。OpenVMS Cluster では、PAK を共有ライセンス・データベースにロードしなければなりません。

必要な情報	参照するマニュアル
ライセンスのロード	『OpenVMS License Management Utility Manual』
License Server の構成	「第 4 章, スタンドアロン License Server の構成と起動」
ライセンスの管理	『HP Advanced Server for OpenVMS Guide to Managing Advanced Server Licenses』

## 1.4 外部認証について

外部認証は、OpenVMS システムのオプション機能で、これにより、システム管理者は OpenVMS セキュリティ以外のセキュリティ・メカニズムに基づくログイン認証に応じてユーザ・アカウントを設定できるようになります。Advanced Server は、Advanced Server または Windows NT 互換のユーザ認証メカニズムを使用して OpenVMS ユーザ・ログインを認証する能力を提供することにより、この機能を利用します。これにより、ユーザは OpenVMS ログイン・プロンプトで Advanced Server のユーザ名とパスワードを使用してログインすることができ、また、ユーザ・アカウントに自動的にパスワードが同期化されます。COM for OpenVMS 製品を使用している場合、外部認証が必要な場合があります。

完全な Advanced Server のインストール時に、外部認証をサポートするために必要なファイルが自動的にインストール・プロセスに含まれます。

Advanced Server を OpenVMS Cluster にインストールするとき、サーバを実行しておらず、同じシステム・ディスクを共有している OpenVMS Cluster メンバ・ノードで外部認証を有効にしようとする場合、(Advanced Server ソフトウェアをインストールしないで) そのディスクにスタンドアロン外部認証ソフトウェアをインストールすることができます。VAX メンバ・ノードでは、外部認証ファイルを、Advanced Server がインストールされている Alpha システムから VAX ノードにコピーする必要があります。外部認証を有効にする方法についての詳細は、「第 5.7 節, 外部認証のセットアップ」を参照してください。

## 1.5 リリース・ノートについて

『日本語 Advanced Server for OpenVMS リリース・ノート』および『HP Advanced Server V7.3B for OpenVMS Release Notes』には、製品をインストールする前に知っておく必要のある重要な情報が含まれています。インストールを開始する前に、リリース・ノートを確認するようにしてください。

### 1.5.1 インストール前にリリース・ノートにアクセスする方法

インストールの前にリリース・ノートを印刷する場合は、次の手順を行ってリリース・ノートをテキスト・ファイルに取り出します。

---

#### 注意

---

キットに含まれているリリース・ノートは、最初に日本語版リリース・ノートのテキスト・ファイルが含まれており、その後に標準版のリリース・ノートが添付されています。

---

- ドライブにインストール・キットをロードします。
- 次の POLYCENTER Software Installation ユーティリティ・コマンドを入力します。 *file\_name.txt* は、ユーザが指定するテキスト・ファイルの名前であり、*directory-path* には、日本語 Advanced Server for OpenVMS キットのあるソース・ドライブのディレクトリ名を指定します。たとえば /SOURCE=DAD\$100:[ASOVMS073] のように指定します。

```
$ PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES ADVANCEDSERVERJA/FILE=file_name.txt-  
_$ /SOURCE=directory-path
```

ファイル名を指定しない場合、リリース・ノートは、現在のディレクトリの DEFAULT.PCSI\$RELEASE\_NOTES というファイルに書き込まれます。ソース修飾子を指定しなければ、POLYCENTER Software Installation ユーティリティは、論理名 PCSI\$SOURCE で定義される位置を検索します。論理名が定義されていない場合は、ユーティリティは現在のデフォルトのディレクトリを検索します。

### 1.5.2 インストール後にリリース・ノートにアクセスする方法

インストールの完了後にリリース・ノートを参照したい場合は、SYS\$HELP:ASOVMS073B.RELEASE\_NOTES からオンラインで読むことも、ファイルを印刷することもできます。

---

## 1.6 インストール・チェックリストの使用

「付録 A, インストールおよびアップグレードのチェックリスト」には、インストール/構成チェックリストが用意されています。このチェックリストを複写し、本書で説明するインストールと構成手順の完了を追跡するために使用することができます。

---

## 1.7 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアをインストールするための必要条件

以降の各項では、日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアのインストール時に必要なハードウェアおよびソフトウェアについて説明します。

### 1.7.1 ハードウェアの必要条件

OpenVMS オペレーティング・システム V7.3-2 でサポートされるすべての Alpha プロセッサは、日本語 Advanced Server for OpenVMS でもサポートされます。サーバがサポートするハードウェアの一覧についての最新情報は、『ソフトウェア仕様書 (SPD)』を参照してください。

### 1.7.2 ソフトウェアの必要条件

日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアを正常にインストールするには、システムに次のソフトウェアを正しくインストールし、構成しなければなりません。

- OpenVMS Alpha V7.3-2 以降

Advanced Server は OpenVMS Alpha V7.3-2 以降のシステム上でのみ稼動し、OpenVMS レジストリ・サービスを必要とします。OpenVMS レジストリについての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』または『COM, Registry, and Events for OpenVMS Developer's Guide』(OpenVMS Documentation CD-ROM に含まれています)を参照してください。

- 他のサーバおよびネットワーク・クライアントが使用するネットワーク・プロトコルをサポートするための適切なトランスポート・ソフトウェア。次のうちの 1 つ以上が含まれます。

- DECnet または DECnet-Plus (オプション)

DECnet または DECnet-Plus は、OpenVMS オペレーティング・システムのインストール時にオプションとしてインストールすることができます。

- TCP/IP (オプション)

TCP/IP Services for OpenVMS またはサポートされるサードパーティの TCP/IP 製品を使用して IP をサポートすることができます。サポートされる TCP/IP 製品の一覧については、日本語 Advanced Server for OpenVMS の『ソフトウェア仕様書 (SPD)』を参照してください。

### 1.7.3 サポートされるクライアント・ソフトウェア

日本語 Advanced Server for OpenVMS は、次のタイプのクライアントからの接続をサポートします。

- Windows NT V4.0
- Windows 2000
- Windows 2000 Professional
- Windows 2003
- Windows XP

### 1.7.4 メモリの必要条件

OpenVMS Alpha システム上で Advanced Server を実行するためには、最低限 64 MB の物理メモリが必要です。

---

## 1.8 インストレーションの準備

表 1-1 にあるチェックリストを使用して、この節で説明するインストレーションの準備を行います。

表 1-1 インストレーション前のチェックリスト

<input type="checkbox"/>	1.	パーツ一覧を確認します。
<input type="checkbox"/>	2.	ネットワーク・ハードウェアがインストールされ、接続されていることを確認します。
<input type="checkbox"/>	3.	SYSTEM アカウント (またはインストレーション・プロシージャを実行するためにすべての特権が有効になった別のアカウント) にログインします。
<input type="checkbox"/>	4.	必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。
<input type="checkbox"/>	5.	OpenVMS レジストリ・サーバを起動します。
<input type="checkbox"/>	6.	リリース・ノートを確認します。
<input type="checkbox"/>	7.	システム・パラメータを確認します。
<input type="checkbox"/>	8.	システム・ディスクをバックアップします。
<input type="checkbox"/>	9.	インストレーションのために十分なディスク容量があることを確認します。
<input type="checkbox"/>	10.	キュー・マネージャを確認します。
<input type="checkbox"/>	11.	タイム・ゾーンの構成を確認します。
<input type="checkbox"/>	12.	DECnet トランスポートを使用しようとする場合は、DECnet または DECnet-Plus が稼動していることを確認します。
<input type="checkbox"/>	13.	TCP/IP トランスポートを使用しようとする場合は、TCP/IP が稼動していることを確認します。
<input type="checkbox"/>	14.	既存の OpenVMS サーバ・イメージとファイルがあるかどうかを確認します。
<input type="checkbox"/>	15.	クラスタ上に Advanced Server をインストールする場合は、OpenVMS Cluster 構成を確認します。

日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアをインストールする前に、次の手順を行います。

---

#### 注意

---

最後の手順を除き、すべての手順はスタンドアロンおよびクラスタ Advanced Server の両方に適用されます。最後の手順は、Advanced Server をクラスタにインストールするために行う必要のある作業を示しています。

---

### 1.8.1 ステップ 1: パーツ一覧の確認

ソフトウェアのパーツ一覧は、入手したキットの内容の明細です。キットの内容をこの情報に照らして確認します。パーツが不足していたり、破損している場合は、弊社の担当者にご連絡ください。

### 1.8.2 ステップ 2: ネットワーク・ハードウェアの確認

日本語 Advanced Server for OpenVMS は、ソフトウェアの必要条件を満足する OpenVMS Alpha システム上で稼動します。PC ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) には次のものがが必要です。

- サーバおよび各クライアントごとに装備されたサポートされるネットワーク・コントローラ
- 各クライアントおよびサーバをネットワークに接続するケーブル

### 1.8.3 ステップ 3: SYSTEM アカウントへのログイン

日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアをインストールする前に、SYSTEM アカウント、またはインストレーション・プロシージャを実行するために十分な特権を持つ別のアカウントにログインします。

SYSTEM アカウントにログインするには、次の手順を行います。

1. Username: プロンプトで SYSTEM と入力します。

Username: SYSTEM

2. Password: プロンプトで SYSTEM アカウントへのパスワードを入力します。入力したパスワードは表示されません。

#### 1.8.4 ステップ 4: 必要なソフトウェアの確認

日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアには、次のものがが必要です。

- OpenVMS Alpha オペレーティング・システム (バージョン 7.3-2 以上)。
- DECnet 経由で DECnet トランスポート、メール・サーバ、または License Server を使用する場合は、DECnet ネットワーク・トランスポート。
- クラスタまたはネットワーク通信に TCP/IP トランスポートを使用しようとする場合は、TCP/IP トランスポート。TCP/IP トランスポートを使用する場合は、『HP Advanced Server V7.3B for OpenVMS Release Notes』に説明するように、TCP/IP トランスポート製品をインストール/構成しなければなりません。

#### 1.8.5 ステップ 5: OpenVMS Registry Server の起動

OpenVMS レジストリは、OpenVMS のインストレーションの一部としてインストールされます。レジストリ・サービスを提供するには、次の手順を行います。

1. Registry Server のファイルが格納されるディスク位置をポイントする SYS\$REGISTRY 論理名を定義します。

たとえば、レジストリ・ファイルをディレクトリ [SYS\$REGISTRY] のデバイス DKA100: に格納するには、次のコマンドを入力します。

```
$ DEFINE/SYSTEM SYS$REGISTRY DKA100:[SYS$REGISTRY]
```

OpenVMS Cluster では、必ずすべてのクラスタ・メンバが利用可能なディスクおよびディレクトリを指定します。

2. Registry Server を起動します。

できるだけシステムのスタートアップとともに Registry Server を自動的に起動するようにします。これにより、レジストリを必要とするあらゆる Advanced Server ユーティリティ (PWRK\$REGUTL や構成マネージャなど) が正しく動作することが保証されます。Registry Server をシステムの起動時に自動的に起動するようにするには、OpenVMS Registry Configuration ユーティリティ (SYS\$MANAGER:REG\$CONFIG) を実行し、REG\$TO\_BE\_STARTED 論理名を必ず TRUE に設定しておきます。OpenVMS Registry Server の起動についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』または『COM, Registry, and Events for OpenVMS Developer's Guide』 (OpenVMS Documentation CD-ROM に含まれています) を参照してください。

Registry Server を手動で起動しなければならない場合は、次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$STARTUP:REG$STARTUP.COM
```

OpenVMS レジストリの管理についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』または『COM, Registry, and Events for OpenVMS Developer's Guide』(OpenVMS Documentation CD-ROM に含まれています)を参照してください。

### 1.8.6 ステップ 6: リリース・ノートの印刷と確認

リリース・ノートをまだ読んでいない場合、ソフトウェアをインストールする前に読む必要があります。「第 1.8.8 項, ステップ 8: システムのバックアップ」で推奨しているように、システムをバックアップする場合には、バックアップ中にリリース・ノートを読むことができます。詳細については、「第 1.5 節, リリース・ノートについて」を参照してください。

### 1.8.7 ステップ 7: システム・パラメータの確認

ほとんどシステムには、日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアを格納するために直ちに利用できる十分なシステム・リソースがあります。ただし、次の OpenVMS のシステム・パラメータが適切に設定されていることを確認してください。必要な変更を MODPARAMS.DAT ファイルに加えたのち、AUTOGEN を実行して、システムをリブートします。このリブートは、システム・ディスクのバックアップに必要な最初にリブートまで遅らせることができます (バックアップは「第 1.8.8 項, ステップ 8: システムのバックアップ」で推奨しています)。

AUTOGEN 実行前および実行中に、システムで稼動する他のすべてのソフトウェアが本当に稼動していることを確認します。PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) または日本語 Advanced Server for OpenVMS がすでに稼動している場合、システムには日本語 Advanced Server for OpenVMS の新しいバージョンをサポートするために十分なリソースがあると考えられます。

---

#### 注意

---

これらのパラメータが正しく設定されていなければ、インストール・プロシージャを完了した後で、サーバを構成することができません。

---

#### 1.8.7.1 GBLPAGES パラメータ

日本語 Advanced Server for OpenVMS では、GBLPAGES パラメータの値は、少なくとも 7500 ページ必要です。

システムに十分な未使用グローバル・ページがあることを確認するには、Advanced Server が実行されていない間に次の手順を行います。

1. 次のコマンドを入力します。

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLPAGES")
```



FREE\_GBLPAGES パラメータの値が表示されます。次に例を示します。

```
143576
```

2. 値が必要な値を下回る場合は、システム・パラメータ・ファイル  
SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT を編集して、次のような行を追加します。

```
ADD_GBLPAGES = 7500
```

#### 1.8.7.2 GBLSECTIONS パラメータ

日本語 Advanced Server for OpenVMS では、GBLSECTIONS パラメータは少なくとも 75 が必要です。

スタンドアロン License Server のみをインストールする場合、最低値は 50 です。

システムに十分な未使用グローバル・セクションがあることを確認するには、Advanced Server が実行されていない間に次の手順を行います。

1. 次のコマンドを入力します。

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLSECTS")
```

GBLSECTIONS パラメータの値が表示されます。次に例を示します。

```
249
```

2. 値が必要な値を下回る場合は、システム・パラメータ・ファイル  
SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT を編集して、次のような行を追加します。

```
ADD_GBLSECTIONS = 75
```

#### 1.8.7.3 PROCSECTCNT パラメータ

Advanced Server をインストールする場合、PROCSECTCNT パラメータの最低値は 40 です。

スタンドアロン License Server のみをインストールする場合、最低値は 32 です。

システム・パラメータ PROCSECTCNT の値が十分であることを確認するには、次の手順を行います。

1. 次のコマンドを入力します。

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("PROCSECTCNT")
```

PROCSECTCNT パラメータの値が表示されます。次に例を示します。

```
20
```

2. 値が必要な値を下回る場合は、システム・パラメータ・ファイル  
SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT を編集して、次のような行を追加します。

```
MIN_PROCSECTCNT = 40
```

#### 1.8.7.4 SCSNODE パラメータ

SCSNODE パラメータは、システムのコンピュータ名に定義します。DECnet を実行している場合、SCSNODE 名は、DECnet ノード名と同じでなければなりません。

次に示すように、SCSNODE パラメータのインストール前の状態は、インストール後の動作に影響します。

SCSNODE の状態	新定義の有無	サーバの動作
未定義	定義せず	起動せず。
定義済み	定義せず	起動する。
未定義	定義する	起動するが、OpenVMS システムは、プリント・キューおよびバッチ・キューの名前に新しいコンピュータ名が含まれるように名前を変更する。したがって、既存のプリント・ジョブまたはバッチ・ジョブを新しいキューに再登録する必要がある。キュー・データベースの再構築が必要になることもある。これらのシステム管理作業についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照。

システム・パラメータ SCSNODE がシステムのコンピュータ名に定義されていることを確認するには、システム・プロンプトで次のコマンドを入力します。

```
$ SCSNODE = F$GETSYI("SCSNODE")
$ SHOW SYMBOL SCSNODE
```

この結果、次のいずれかの状態になります。

- SCSNODE が定義されている場合、コンピュータ名が表示されます。たとえば、システムのコンピュータ名が SPEEDY の場合、次のように表示されます。

```
$ SHOW SYMBOL SCSNODE
SPEEDY
```

- SCSNODE が定義されていない場合、コンピュータ名は表示されません。

SCSNODE が定義されていない場合、SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT を編集して、このパラメータを定義します。たとえば、コンピュータ名が SPEEDY の場合、次の行が含まれるようにファイルを編集します。

```
SCSNODE = "SPEEDY"
```

ファイル SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT を編集する場合、OpenVMS のコマンド・プロシージャである AUTOGEN を実行し、すぐに、またはサーバを構成する前にシステムを再起動します。次に例を示します。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT NOFEEDBACK
```

AUTOGEN ユーティリティの使用についての詳細は、『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』を参照してください。

### 1.8.8 ステップ 8: システムのバックアップ

貴重なデータの損失を防ぐため、レイヤード・プロダクトをインストールする前に、できるだけシステム上のすべてのディスク（または最低限システム・ディスク）をバックアップしてください。

システム・バックアップを行うには、OpenVMS BACKUP コマンドを使用します。BACKUP コマンドについての詳細は、『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』を参照してください。

### 1.8.9 ステップ 9: ディスク容量の必要条件の確認

インストレーションに必要なディスク・ブロック数を決定するには、『HP Advanced Server V7.3B for OpenVMS Release Notes』を参照してください。システム・ディスク上の空きブロック数を確認するには、次のコマンドを入力します。

```
$ SHOW DEVICE SYS$SYSDEVICE
```

OpenVMS システムが、空きブロック数など、システム・ディスクについての情報を表示します。次に例を示します。

Device Name	Device Status	Error Count	Volume Label	Free Blocks	Trans Count	Mnt Cnt
DUA0:	Mounted	0	AXP0732	724856	280	1

### 1.8.10 ステップ 10: キュー・マネージャの確認

インストレーション時にキュー・マネージャを実行する必要はありませんが、サーバを構成するときには実行しておくことをお勧めします。SHOW QUEUE/MANAGER コマンドを入力して、キュー・マネージャが実行されているかどうかを確認することができます。

```
$ SHOW QUEUE/MANAGER
```

キュー・マネージャが実行されている場合、OpenVMS システムは次のように表示します。

```
Queue manager SYS$QUEUE_MANAGER, running, on SPEEDY::
```

キュー・マネージャが実行されていない場合、次のコマンドを使用して起動することができます。

```
$ START/QUEUE/MANAGER
```

OpenVMS DCL コマンドについての詳細は、『OpenVMS DCL デictionary』を参照してください。

### 1.8.11 ステップ 11: タイム・ゾーンおよび TDF の確認

Advanced Server の内部の時間管理では、グリニッジ標準時 (GMT) を使用します。異なるタイム・ゾーンにあるコンピュータ間で共通の時間フォーマットの同期をとるためには、OpenVMS の協定世界時 (UTC) が使用されます。Advanced Server システムは、UTC 標準を使用するデフォルトの日付/時間サポートを実装しています。UTC は実用上 GMT と同じです。UTC 時間標準では、グリニッジ標準時の真夜中に、0 時になります。夏時間により戻ったり進んだりするローカル時間と異なり、UTC は常に一定です。

ローカル時間は、GMT に対して最大 12 時間遅れているか、13 時間進んでいます。

UTC は、タイム・ゾーンに依存していないため、世界中で UTC を使用できます。たとえば、2:00 UTC は、パリでも東京でも同じ瞬間をさします。ローカルのタイム・ゾーンを取り扱うための複雑な変換を行わなくても、パリと東京で UTC 値を使ってタイム・スタンプを押されたデータを調べることができます。

ローカル・サーバ環境で時間を適切に表すには、次の手順に従います。

1. 各ローカル・タイム・ゾーンを UTC に関連付ける、システムの時差係数 (TDF) を決定します。

TDF は、ローカル・システム時間と UTC (協定世界時) との差です。この差は、時間と分で表されます。TDF は、夏時間から標準時間へ変わったときなど、ローカル・システム時間が変わるたびに変わります。一方、UTC は変わりません。

アメリカは UTC に対して負のオフセットを持ち、ヨーロッパ、アフリカ、アジア、およびオーストラリアは正のオフセットを持ちます。たとえば、ニューヨーク (東部標準時) の TDF は -5:00 であり、東オーストラリアの TDF は +10:00 です。夏時間を採用している地域の TDF は、通常その地域の標準時より +1:00 になります。たとえば、夏時間の間のニューヨークの TDF は、-4:00 です。システムの TDF を決定するには、『OpenVMS システム管理者マニュアル』に掲載されているマップを参照してください。

2. OpenVMS コマンド・プロシージャ UTC\$TIME\_SETUP.COM を実行して、システムでタイム・ゾーンと時差係数 (TDF) を設定します (このコマンド・プロシージャは、Advanced Server で必要な時間に関連する論理名を定義します)。SYSTEM アカウントから、次のコマンドを入力して、プロシージャを起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:UTC$TIME_SETUP.COM
```

プロシージャからどの時間パラメータを構成するかについて問い合わせがあります。システムが夏時間を採用している地域にある場合は、夏時間の開始時と終了時には、システム時間および TDF を適切に変更する必要があります。これらの変更を年に 2 回自動的に行うようにするには、コマンド・プロシージャ SYS\$EXAMPLES:DAYLIGHT\_SAVINGS.COM を使用できます。

タイム・ゾーンまたは TDF，あるいはその両方の設定の変更を選択したとき，サーバが OpenVMS Cluster に加わっている場合には，その変更はクラスタ単位で行われます。

タイム・ゾーン情報を変更した場合は，時刻を正確に表示するために，サーバを再起動しなければなりません。

コマンド・プロシージャの実行およびタイム・ゾーンと TDF のリセットについての詳細は，『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。

## 1.8.12 ステップ 12: DECnet の状態の確認

DECnet トランスポートを使用しようとする場合，インストレーション時に DECnet または DECnet-Plus を実行する必要があります。ただし，システムが構成できるようになるには，その前に DECnet または DECnet-Plus をそのシステム上で実行しなければなりません。

サーバ・ソフトウェアをインストールしようとするシステム上で DECnet が実行されているかを確認するには，以降の各項で説明するように，DECnet (フェーズ IV) か DECnet-Plus のいずれがインストールされているかによって適切なコマンドを入力します。

### 1.8.12.1 DECnet (フェーズ IV) の状態の確認

DECnet の状態を確認するには，次のコマンドを入力します。

```
$ MCR NCP SHOW EXECUTOR
```

- DECnet が実行中の場合，SHOW EXECUTOR により次のように表示されます。

```
Node Volatile Summary as of 1-SEP-2000 12:16:36
```

```
Executor node = 9.000 (BRUTUS)
```

```
State          = on
```

```
Identification = DECnet-OSI for OpenVMS
```

- DECnet が実行中でない場合は，次のコマンドを入力して起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:STARTNET
```

### 1.8.12.2 DECnet-Plus の状態の確認

DECnet-Plus の状態を確認するには，次のコマンドを入力します。

```
$ SHOW LOGICAL NET$STARTUP_STATUS
```

- DECnet-Plus が実行中の場合，次のように表示されます。

```
"NET$STARTUP_STATUS" = "RUNNING-ALL" (LNM$SYSTEM_TABLE)
```

- DECnet-Plus が実行中でない場合は，次のコマンドを入力して起動します。

```
$ @SYS$STARTUP:NET$STARTUP
```

詳細については、DECnet 製品のドキュメントを参照してください。

### 1.8.13 ステップ 13: TCP/IP の状態の確認

TCP/IP トランスポートを使用しようとする場合は、TCP/IP が実行され、PWIP ドライバがロードされていることを確認します。プロシージャは、どの TCP/IP 製品を使用しているかによって異なります。詳細については、インストールされている TCP/IP 製品のドキュメントを参照してください。

たとえば、日本語 TCP/IP Services for OpenVMS V5.0 がインストールされている場合、次のコマンドを入力することにより、PWIP ドライバを手動で起動することができます。

```
$ @SYS$STARTUP:TCPIP$PWIP_STARTUP.COM
```

この代わりに、TCP/IP の起動時に PWIP ドライバが自動的に起動するよう、構成プロシージャ TCPIP\$CONFIG.COM を使用して TCP/IP Services for OpenVMS サービスを構成することができます。

インストールの完了後、構成マネージャを使用することにより、TCP/IP を使用するように日本語 Advanced Server for OpenVMS を構成することができます。この処理は、構成プロシージャ (PWRK\$CONFIG) の実行中、またはサーバの構成後に行うことができます。前者の場合には、PWRK\$CONFIG により構成マネージャを起動するオプションが示されます。後者の場合は、DCL プロンプトでADMINISTER/CONFIGコマンドを入力することにより、構成マネージャを起動できます。

### 1.8.14 ステップ 14: 既存の OpenVMS Server のイメージおよびファイルがあるかどうかの確認

次の事項を確認してください。

1. ローカル・システムで実行中の Advanced Server (PATHWORKS Advanced Server および日本語 Advanced Server for OpenVMS) イメージ、または PATHWORKS V5 for OpenVMS (LAN Manager) イメージがない。クラスター内では、PATHWORKS OpenVMS サーバまたは日本語 Advanced Server for OpenVMS の以前のバージョンが実行されてはなりません。
2. PATHWORKS for OpenVMS (NetWare) キットによるファイルがシステム・ディスクにない。そのようなファイルが存在する場合は、SYS\$UPDATE:PWVN\$DEINSTALL.COM (PATHWORKS for OpenVMS (NetWare) キットに含まれる) を使用してそれらのファイルを削除します。
3. PATHWORKS Advanced Server または日本語 Advanced Server for OpenVMS キットによるファイルが SYS\$SPECIFIC ディレクトリ・ツリー内にない。

POLYCENTER Software Installation ユーティリティがこれらの条件のいずれかが存在することを検出し、上記のイメージまたはファイルが見つかったと、ユーザに通知します。

### 1.8.15 ステップ 15: OpenVMS Cluster 構成の確認

Advanced Server は、複数の OpenVMS Alpha Cluster メンバ上で実行することができます。これには、次の手順を行います。

1. TCP/IP トランSPORTを使用しようとする場合は、Advanced Server を実行するすべてのクラスタ・メンバが同じ TCP/IP サブネット内にあることを確認します。
2. PATHWORKS for OpenVMS , PATHWORKS V5 for OpenVMS (LAN Manager) , または日本語 Advanced Server for OpenVMS の以前のバージョンがいずれかのクラスタ・メンバ上で実行されている場合は、そのサーバを停止します。クラスタ内にある Advanced Server の以前のバージョンについての詳細は、「第 1.1.2.2 項, OpenVMS Cluster のアップグレード」を参照してください。

外部認証を提供するために、できるだけ外部認証ソフトウェアをクラスタ内のすべてのノードにセットアップしてください。OpenVMS ファイル・サーバを実行しないノードに外部認証サポートをセットアップするには、「第 5.7 節, 外部認証のセットアップ」を参照してください。

3. Advanced Server をインストールする各システムで、この章で説明したタスクを完了します。

複数のシステム・ディスクを使用するクラスタ構成では、OpenVMS Registry Server が共通レジストリ・データベースを使用するように構成しなければなりません。詳細については、「第 1.8.5 項, ステップ 5: OpenVMS Registry Server の起動」を参照してください。

ファイル・サーバおよびプリント・サーバとして使用するそれぞれのクラスタ・メンバで、「第 3 章, Advanced Server の構成」で説明するように、Advanced Server 構成コマンド・プロシージャ (PWRK\$CONFIG.COM) を実行します。これにより、各ノードで適切なパラメータが設定されサーバを実行するのに十分なリソースを持つようになります。

4. Advanced Server を実行するすべてのクラスタ・メンバは、次の共通のものを共有しなければなりません。
  - システムの利用者登録ファイル (SYSUAF.DAT)
  - ライトリスト・ファイル (RIGHTSLIST.DAT)
  - OpenVMS レジストリ・データベースの位置 (SYS\$REGISTRY:)
  - Advanced Server データ・ディレクトリの位置 (PWRK\$COMMONROOT:)

Advanced Server を OpenVMS Cluster メンバにインストールするとき、次の両方の条件があてはまる場合は、サーバをシャットダウンし、サーバを実行しているシステムをリブートする必要があります。

1. クラスタ内の 2 つ以上のシステム・ディスクに Advanced Server がインストールされている。
2. Advanced Server が、インストレーションが行われているシステム・ディスク以外のシステム・ディスクからブートされた 1 つ以上のクラスタ・メンバですでに実行されている。

---

## 1.9 次のステップ

Advanced Server をインストールするには、「第 2 章, Advanced Server ソフトウェアのインストレーション」の手順に従います。



---

## Advanced Server ソフトウェアのインストール

この章では、POLYCENTER Software Installation (PCSI) ユーティリティを使用した日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアのインストール方法を説明します。旧バージョンのサーバからアップグレードするか、初めてサーバをインストールするかに関わらず、ここで概要を説明するプロシージャに従わなければなりません。

OpenVMS Alpha CD-ROM メニューから直接製品をインストールする方法については、『HP OpenVMS Version 8.3 インストール・ガイド[翻訳版]』を参照してください。

POLYCENTER Software Installation ユーティリティについては、『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。

インストール・プロシージャを開始する前に、「第 1 章, Advanced Server ソフトウェアをインストールする前に」で説明したインストール前のタスクが完了していることを確認します。

この章は、次の節から構成されます。

- 第 2.1 節, インストール・プロシージャ
- 第 2.2 節, インストール時の問題のトラブルシューティング
- 第 2.3 節, 次のステップ

---

### 2.1 インストール・プロシージャ

POLYCENTER Software Installation ユーティリティは、次の処理を行います。

1. インストールが VAX システムで行われるか、Alpha システムで行われるかを判定する。VAX システムの場合、インストールが終了する。Advanced Server が稼動するのは、Alpha システム上のみである。
2. 必要に応じて、システム上に Advanced Server アカウントを作成する。
3. インストール・キットの Advanced Server ファイルをターゲット・ディスクにコピーする。
4. DECnet または DECnet-Plus を実行している場合、DECnet オブジェクトを作成する。

5. OpenVMS DCL コマンド定義ファイルをインストールする。これには ADMINISTER コマンドが含まれており、Advanced Server の管理が容易になる。
6. Advanced Server 論理名定義ファイルをインストールする。
7. 古くなったファイルを削除する。
8. ソフトウェアが正常にインストールされたことを検証する。ソフトウェアをインストールした後に、インストール検証プロシージャが自動的に実行されるように POLYCENTER Software Installation を実行する方法についての詳細は、「第 5.2 節, Advanced Server インストールの検証」を参照する。
9. リブートが必要かどうかを検出し、必要な場合にのみリブートを要求する。たとえば、リブート前に他の設定を構成したり変更したい場合などには、必要なリブートを後で行うようにするオプションも選択できる。

### 2.1.1 インストール・プロシージャを開始する前に

インストール・プロシージャを起動する前に、次の事項を確認します。

#### 1. 製品識別子

製品識別子は、POLYCENTER Software Installation ユーティリティに対し、どの製品をインストールするかを指示します。日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェア・キットの製品識別子は、ADVANCEDSERVERJA です。

#### 2. メディアをマウントするデバイスの名前

デバイス名は、使用するコンピュータとメディアのタイプによって異なります。たとえば、AlphaStation 400 の CD-ROM ドライブに CD-ROM をマウントする場合、デバイス名は DKA400 のようになります。

#### 3. インストールするコンポーネント

- 完全な Advanced Server ソフトウェア
- License Server のみ
- 外部認証イメージのみ
- License Server と外部認証イメージのみ

これらのコンポーネントは、OpenVMS V7.2-1 以降を実行する任意の Alpha システムにインストールすることができます。完全な Advanced Server ソフトウェアまたは License Server ソフトウェアをインストールするときに、PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) がすでにインストールされている場合は、「第 3 章, Advanced Server の構成」で説明するように、サーバの構成中に、サーバ・データ・ファイルが自動的にアップグレードされます。

完全な Advanced Server ソフトウェアをインストールしないことを選択した場合は、他のオプションのいずれか 1 つを選択できます。完全な Advanced Server をインストールすることを選択した場合には、他のオプションは示されません。

システムがスタンドアロン License Server を実行するように指定されている場合は、完全な Advanced Server ソフトウェアの代わりに License Server ソフトウェアをインストールできます。スタンドアロン License Server は、できるだけ指定された License Server システムで実行してください。License Server を実行するかどうかは後で（構成中に）決めることができます。License Server と外部認証イメージは、完全な Advanced Server のインストールでインストールされます。

OpenVMS 7.2-1 以降を実行する Alpha システムを含む OpenVMS Cluster に Advanced Server をインストールして外部認証を有効にしているとき、これらのシステムが Advanced Server をインストールしていないシステム・ディスクからブートされる場合は、そのシステム・ディスクにスタンドアロン外部認証ソフトウェアをインストールすることができます。外部認証のセットアップについての詳細は、「第 5.7 節, 外部認証のセットアップ」を参照してください。

#### 4. 利用者識別コード (UIC) グループ番号

Advanced Server インストール・プロシージャは、OpenVMS のユーザ・アカウント PWRK\$DEFAULT および PWRK\$GUEST がまだ存在しない場合、それらを作成します。インストール・ダイアログに表示されるデフォルトの選択は、次のように決定されます。

インストール時の状態	デフォルトの値
ファイル・サーバを初めてインストールする。	360 から始まる最初に使用可能な未使用の UIC グループ番号
PCFS\$ACCOUNT という名前のアカウントがすでに存在する。	既存のアカウント PCFS\$ACCOUNT に関連づけられたのと同じグループ番号
ファイル・サーバのアカウントがすでに存在する。	既存のアカウントと同じグループ番号

### 2.1.2 サーバのインストール

「第 1 章, Advanced Server ソフトウェアをインストールする前に」に概要を示した推奨するインストール前の作業が完了し、リリース・ノートを読み終えていれば、POLYCENTER Software Installation ユーティリティを使用して日本語 Advanced Server for OpenVMS をインストールする準備ができています（このユーティリティを使用し、システムでソフトウェア製品のインストール、管理、および削除を行う方法についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください）。

製品のアップグレード中、既存の構成ファイルは、ソフトウェアのこのバージョンの構成を行う際に使用したい場合に備えて保存されます。

日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアをインストールするには、次の手順に従います。

1. インストレーション・キット・メディアを利用可能なドライブにロードします。
2. SYSTEM アカウントまたは同等の特権を持つアカウントにログインします。
3. 他のユーザがシステムにログインしていないことを確認します。
4. ソフトウェアの以前のバージョンがシステムにインストールされている場合には、それをシャットダウンします。クラスタでは、すべてのクラスタ・メンバのソフトウェアをシャットダウンします。クラスタでないサーバの場合には、次のように入力します。

```
$ @SYS$STARTUP:PWRK$SHUTDOWN
```

クラスタ・サーバの場合には、次のように入力します。

```
$ @SYS$STARTUP:PWRK$SHUTDOWN CLUSTER
```

5. システムに DECnet を構成していて、インストレーション・プロシージャのログを作成したい場合には、次のコマンドを入力したのち、再度システム・アカウントにログインします。

```
$ SET HOST 0/LOG=file-name
```

このとき、*file-name*には、ログを書き込みたいファイルの名前を指定します。

6. POLYCENTER Software Installation ユーティリティを開始するには、システムに適したソース・ディレクトリ・パスを指定して PRODUCT INSTALL コマンドを入力します。たとえば、次のように入力します。

```
$ PRODUCT INSTALL ADVANCEDSERVERJA /SOURCE=directory-path
```

このとき、*directory-path*には、日本語 Advanced Server for OpenVMS キットのあるソース・ドライブのディスクおよびディレクトリ名を指定します。たとえば、/SOURCE=DAD\$100:[ASOVMS073]のように指定します。

ソース修飾子を指定しない場合、POLYCENTER Software Installation ユーティリティは、論理名 PCSI\$SOURCE で定義された位置を検索します。論理名が定義されていない場合には、ユーティリティは現在のデフォルトのディレクトリを検索します。

ユーティリティは、ソフトウェアを PCSI\$DESTINATION 論理名で定義された位置へインストールします。その論理名が定義されていない場合には、SYS\$COMMON:[VMS\$COMMON]およびその下のディレクトリにソフトウェアをインストールします。

---

#### 警告

---

PCSI を使用して日本語 Advanced Server for OpenVMS をインストールしている場合には、PCSI\$DESTINATION 論理名を再定義したり、/DESTINATION 修飾子を使用したりしないようにしてください。インストー

ル先がデフォルト以外の場合，インストールが失敗して，インストールされたキットが正しく動作しないことがあります。

---

デフォルトでは，インストール・プロシージャで表示されるのは最小限の説明だけです。各プロンプトについての追加情報を取得するには，次の例に示すように，PRODUCT INSTALL コマンドに/HELP 修飾子を指定します。

```
$ PRODUCT INSTALL ADVANCEDSERVERJA /SOURCE=directory-path /HELP
```

7. 対話型のインストール・プロシージャが開始され，情報の入力を求めるプロンプトが表示されます。

「例 2-1, サンプルのインストール・プロシージャ — パート 1」以降には，各項にサンプルのインストール・スクリプトと，それに付随する説明が含まれています。

システムに表示される実際のインストール・スクリプトには，現在の構成により，追加の質問が含まれていることがあります。

---

#### 注意

---

Ctrl/Y を押すと，いつでもインストールを中止することができます。インストール・プロシージャは作成したすべてのファイルを削除して終了します。

---

#### 例 2-1 サンプルのインストール・プロシージャ — パート 1

```
$ PRODUCT INSTALL ADVANCEDSERVERJA/SOURCE=DKA100:[000000]
```

The following product has been selected:

```
CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B          Layered Product
```

Do you want to continue? [YES] Y

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

```
CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B: Advanced Server for OpenVMS
```

```
Copyright 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
```

```
Advanced Server is sold by Hewlett-Packard Development Company.
```

(次ページに続く)

## 例 2-1 (続き) サンプルのインストール・プロシージャーパート 1

```
Advanced Server requires PAK PWLMXXXCA07.03 for each client.  
This installation procedure requires that all the following  
conditions are satisfied:  
1. This procedure is running on an Alpha processor.  
2. The system is running OpenVMS 7.3-2 or later.  
3. All required privileges are currently enabled.  
4. No PATHWORKS or Advanced Server images are running  
   on this node or anywhere in the cluster.  
5. No files from a PATHWORKS (NetWare) kit are present  
   on this system disk.  
6. No files from any Pathworks or Advanced Server kit  
   are in SYS$SPECIFIC on this system disk.  
  
This procedure checks if the conditions are satisfied.  
If they are satisfied, the procedure continues.  
If not, the procedure stops.
```

```
Do you want to continue? [YES] 
```

このインストール例では、インストール担当者がインストールのソースを指定します。“Configuration phase starting ...”というメッセージは、日本語 Advanced Server for OpenVMS 自体の構成ではなく、POLYCENTER Software Installation ユーティリティ・データベースの構成を指しています。

インストール・スクリプトの最初の部分では、インストールしている製品を識別し、インストールを続行する前にプロシージャがチェックする条件をリストしています。これらの条件のうちの 1 つ以上が満足されていない場合には、NO を入力してプロシージャを停止し、条件を満足するのに必要な処理を行います。

これらの条件が満足されている場合には、Return を押してインストール・プロシージャを続行します。続行したときに、プロシージャがこれらの条件のうちの 1 つが満足されていないことを検出した場合は、「第 2.2.1 項, VAX システム上への日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアのインストール」または「第 2.2.2 項, 別の Advanced Server イメージを実行しているシステムへの日本語 Advanced Server for OpenVMS のインストール」に掲載されているようなメッセージが表示されます。満足されていない必須条件を満足してから、プロシージャを再起動します。

プロシージャを続行した (“Do you want to continue?”プロンプトに対して YES と応答した) 場合は、インストールについて次のいずれかの選択を行うように要求するプロンプトが表示されます。

## 例 2-2 サンプルのインストール・プロシージャー パート 2

```
Select one of the numbered options:
1  Install the complete Advanced Server          [default]
2  Install only the License Server
3  Install only the external authentication images
4  Install both the License Server and the
    external authentication images
Option: [1] 
```

スクリプトのこの部分では、完全な日本語 Advanced Server for OpenVMS 製品をインストールするか、またはスタンドアロン License Server のみ、スタンドアロン外部認証イメージのみをインストールするか、あるいはスタンドアロン License Server とスタンドアロン外部認証イメージの両方をインストールするかを選択します。

この例では、完全なインストールが選択されて、プロシージャが続行します。

## 例 2-3 サンプルのインストール・プロシージャー パート 3

```
A PWRK$STREAMSOS_V*.EXE execlet from a previous kit is currently
loaded into memory on this node.
You must reboot this node before starting the product on this node.

For complete information about the reasons a reboot might be
necessary and how to avoid unnecessary reboots, see the Installation
and Configuration Guide.

Select an option:
1. Delay reboot as long as possible on all nodes. [default]
2. Prevent PWRK$CONFIG configuration on any node using this system
   disk until after reboot.
3. Prevent PWRK$CONFIG configuration on all nodes until after reboot.
4. Prevent startup on any node using this system disk until after
   after reboot.
5. Prevent startup on all nodes until after reboot.
Option: [1] 
```

インストール・プロシージャは、システムのリブートが必要な状況をチェックします。次のような場合にリブートが必要になります。

- サーバ・ドライバ (PCF または PCI) または execlet (PWRK\$STREAMSOS\_V\*.EXE) の以前のバージョンがメモリ内で検出された場合。以前のバージョンは、日本語 Advanced Server for OpenVMS または PATHWORKS for OpenVMS 製品のいずれかのものです (Advanced Server を開始する前にリブートする必要があります)。
- システム・パラメータ (MODPARAMS.DAT 内) が変更されたか、システム・パラメータに影響を与えるようなサーバ・パラメータが変更された場合 (「第 1 章, Advanced Server ソフトウェアをインストールする前に」に示すように、Advanced Server を構成する前にリブートが必要です)。

PATHWORKS for OpenVMS または日本語 Advanced Server for OpenVMS 製品が以前にインストールされていて起動されていた場合は、その製品が停止または削除された後もシステムに残っているイメージがあります。このため、Advanced Server for OpenVMS が起動できるようにするには、システムをリブートして古いイメージを削除する必要があります。

ダウン時間を最小限にするため、インストレーション・プロシージャは必要な場合にのみリブートするように要求します。インストレーション後にはリブートを強制されることはありません。

「例 2-3, サンプルのインストレーション・プロシージャ — パート 3」では、以前の製品のインストレーションからのソフトウェアが検出されました（この場合、PWRK\$STREAMSOS\_V\*.EXE ファイル、つまり、PATHWORKS for OpenVMS からの PWRK\$STREAMSOS\_V6.EXE または、日本語 Advanced Server for OpenVMS からの PWRK\$STREAMSOS\_V7.EXE のいずれか）。このシステムで日本語 Advanced Server for OpenVMS を実行する予定がない場合にかぎり、リブートが必要です。

必要なリブートを遅らせて、インストレーションや構成プロセスをリブート前に終わらせるようにするオプションがあります。たとえば、OpenVMS Cluster にサーバをインストールしている場合は、クラスタのすべてのノードへのサーバ・インストレーションを終えてからリブートを行いたいと思うでしょう。リブートは、無期限に遅らせて、回避することも可能です。

また、インストール済みのサーバで次の処理を行わないようにするオプションもあります。

- このシステム・ディスク（サーバをインストールしているディスク）を使用するノードでの構成をリブート後まで行わないようにする。
- すべてのクラスタ・ノードでの構成をリブート後まで行わないようにする。
- このシステム・ディスクを使用するノードでの起動をリブート後まで行わないようにする。
- すべてのクラスタ・ノードでの起動をリブート後まで行わないようにする。

これらのオプションは、サーバを共通ディスクにインストールしている場合に、クラスタ上などでの不必要なリブートを防ぐことができるようにします。サーバを 1 つのノードにインストールする場合に、これらのオプションを使用すると、サーバを起動する前に、他のクラスタ・ノード上でのインストレーションおよび構成を完了することができます。システムは 1 度だけリブートする必要があります。



## 例 2-4 サンプルのインストール・プロシージャー パート 4

### User Accounts and User Identification Codes (UICs)

-----

The Advanced Server V7.3B for OpenVMS installation creates two OpenVMS accounts: a default account, PWRK\$DEFAULT, and a guest account, PWRK\$GUEST. The default UIC group number for both these new accounts depends on the following:

- o If you are installing the server for the first time, the default is the first unused UIC group number, starting with 360.
- o If a PCFS\$ACCOUNT already exists, the default is the UIC group number associated with PCFS\$ACCOUNT.
- o If a PWRK\$DEFAULT or PWRK\$GUEST account already exists, the default is the UIC group number associated with PWRK\$DEFAULT or PWRK\$GUEST, in preference to PCFS\$ACCOUNT. However, the default UIC group number will not be used to change the UIC of any existing accounts.

For more information about UIC group numbers, see the OpenVMS System Manager's Manual.

Enter default UIC group number for  
PWRK\$DEFAULT and PWRK\$GUEST

Group: [360]

Creating OpenVMS accounts for PWRK\$DEFAULT and PWRK\$GUEST

PWRK\$DEFAULT account already exists

PWRK\$GUEST account already exists

完全な日本語 Advanced Server for OpenVMS 製品をインストールしている場合に  
かぎり、デフォルトの UIC グループ番号の入力を要求されます。新しく作成した  
OpenVMS アカウントの PWRK\$DEFAULT および PWRK\$GUEST をデフォルトの  
ユーザ識別コード (UIC) グループ番号と関連付けたくない場合には、別の 3 桁の UIC  
グループ番号を指定します。

## 例 2-5 サンプルのインストール・プロシージャー パート 5

\* This product does not have any configuration options.

構成の選択はすでにプロシージャの実行中に行われています。

プロシージャは次のように続行されます。

## 例 2-6 サンプルのインストール・プロシージャ — パート 6

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B           DISK\$AXP0732:[VMS\$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...70%...90%

To automatically start Advanced Server V7.3B for OpenVMS at system startup, you should add the following line to the SYS\$MANAGER:SYSTARTUP\_VMS.COM file.

```
$ @SYS$STARTUP:PWRK$STARTUP
```

Note: Add this line after the lines that start all the network transports, such as DECnet.

Before starting Advanced Server V7.3B for OpenVMS on this node, be sure to configure the product (@SYS\$UPDATE:PWRK\$CONFIG) on each node in the cluster where the product will run.

...100%

The following product has been installed:

CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B           Layered Product

インストールの実行フェーズの進行中、各部分が完了するごとにスクリプトから通知があります(どれくらい完了したかがパーセントで示されます)。その後、システムの起動時に自動的にサーバが起動する方法について説明するとともに、サーバを起動する前に構成プロシージャを実行することを通知します(外部認証イメージのみのインストールでは、起動および構成はオプションではありません)。

## 例 2-7 サンプルのインストール・プロシージャ — パート 7

```
%PCSI-I-IVPEXECUTE, executing test procedure for CPQ AXPVMS  
ADVANCEDSERVERJA V7.3-B ...
```

Copyright 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

```
Starting Installation Verification Procedure  
for Advanced Server V7.3B for OpenVMS
```

```
%PWRK-I-NORMAL, IVP completed successfully  
%PCSI-I-IVPSUCCESS, test procedure completed successfully  
$
```

プロシージャはインストールの検証を行ったのち、終了します。

### 2.1.3 インストール完了後の作業

外部認証イメージのみをインストールした場合は、「第 5.7 節, 外部認証のセットアップ」で説明している外部認証を有効にする処理へ進むことができます。他のインストールでは、インストールの完了後、次の処理を行います。

1. システムで日本語 Advanced Server for OpenVMS の以前のバージョンを実行していた場合には、必要であれば、Advanced Server を起動する前にシステムをリブートします。リブートが必要な状況については、「例 2-3, サンプルのインストール・プロシージャ — パート 3」の後の説明を参照してください。
2. 第 3 章に進んで日本語 Advanced Server for OpenVMS を構成します。

インストールが完了した後、次のコマンドを入力すると、インストールされた日本語 Advanced Server for OpenVMS ファイルの一覧を表示することができます。

```
$ PRODUCT LIST ADVANCEDSERVERJA /SOURCE=directory-path
```

このとき、*directory-path*には、日本語 Advanced Server for OpenVMS キットが入っているソース・ドライブのディスクおよびディレクトリ名を指定します。たとえば、/SOURCE=DAD\$100:[ASOVMS073]のように指定します。ソース修飾子を指定しなければ、POLYCENTER Software Installation ユーティリティは、論理名 PCSI\$SOURCE で定義される位置を検索します。論理名が定義されていない場合、ユーティリティは現在のデフォルトのディレクトリを検索します。

---

## 2.2 インストール時の問題のトラブルシューティング

以降の各項では、日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアを適切でない環境にインストールした場合に発生する可能性のある問題をいくつか説明します。

### 2.2.1 VAX システム上への日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアのインストール

Advanced Server は、OpenVMS VAX システム上では稼動しません。Advanced Server を VAX システムにインストールしようとするとき、POLYCENTER Software Installation ユーティリティが次のエラー・メッセージを表示して、インストールを終了します。

```
Advanced Server V7.3B for OpenVMS does not run on OpenVMS VAX
systems.
You can install this product on OpenVMS Alpha systems only.
```

### 2.2.2 別の Advanced Server イメージを実行しているシステムへの日本語 Advanced Server for OpenVMS のインストール

日本語 Advanced Server for OpenVMS を、PATHWORKS for OpenVMS または日本語 Advanced Server for OpenVMS イメージを実行中のシステム（またはクラスタ内のノード）にインストールしようとするとき、インストール・プロシージャは次のようなメッセージを表示します。

```
Advanced Server V7.3B for OpenVMS cannot be installed while
any Pathworks or Advanced Server processes are running.
If this node is part of a cluster, no node of the cluster
can be running any of those images.
```

At least one of the preconditions for installation have not been met.

See the Installation Guide for more information

```
%PCSI-E-S_OPFAIL, operation failed
```

```
%PCSIUI-E-ABORT, operation terminated due to an unrecoverable error condition
```

これらのサーバ・イメージの実行を停止した後、インストール・プロシージャを再起動します。

### 2.2.3 システム・ディスクの制限事項

インストール・プロシージャが PATHWORKS (NetWare) ファイルを検出すると、プロシージャはユーザに通知し、それらのファイルを削除してインストール・プロシージャを再起動するように要求します。インストール・プロシージャが SYS\$SPECIFIC: ディレクトリで PATHWORKS for OpenVMS ファイルまたはいずれかの Advanced Server ファイルを検出した場合も同様です。システム・メモリでイメージ（「例 2-3, サンプルのインストール・プロシージャ — パート 3」にあるような PWRK\$STREAMSOS\_V\*.EXE ファイルなど）が検出された場合には、プロシージャは続行し、日本語 Advanced Server for OpenVMS を起動する前にリポートする必要があることを通知します。

### 2.2.4 PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) V6.0A 以前のバージョンのあるシステムへの日本語 Advanced Server for OpenVMS のインストール

システムに V6.0A 以前のバージョンの PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) がインストールされている場合、インストール・プロシージャは次のメッセージを表示します。

```
The migration path from PATHWORKS V6.0 to the Advanced
Server is valid, but not recommended. Do you want to
continue with the installation? [YES]:
```

できるだけ PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) V 6.0C 以降から Advanced Server V7.3B for OpenVMS にアップグレードするようにしてください。サーバの以前のバージョンからアップグレードするには、Advanced Server V7.3B for OpenVMS をインストールする前に、「第 1.1.2 項, 日本語 Advanced Server for OpenVMS にアップグレードする場合」で説明する移行パスに従います。

---

## 2.3 次のステップ

続行する場合は、インストールしているサーバに応じて、次のいずれかを行います。

インストールしているサーバ	参照する章
完全な Advanced Server	第 3 章, Advanced Server の構成
スタンドアロン License Server	第 4 章, スタンドアロン License Server の構成と起動
スタンドアロン外部認証ソフトウェア	第 5.7 節, 外部認証のセットアップおよび『OpenVMS システム・セキュリティ・ガイド』を参照

---



---

## Advanced Server の構成

この章では、Advanced Server の構成方法について説明します。この章は、次の節から構成されます。

- 第 3.1 節, Advanced Server の構成プロシージャについて
- 第 3.2 節, LANMAN.INI パラメータの OpenVMS レジストリへの移行
- 第 3.3 節, Advanced Server 構成プロシージャを起動する前に
- 第 3.4 節, Advanced Server 構成プロシージャの起動方法
- 第 3.5 節, Advanced Server 構成プロンプトへの応答方法
- 第 3.6 節, サーバ構成設定の変更方法
- 第 3.7 節, Advanced Server のドメインの役割の構成
- 第 3.8 節, サーバの言語の構成
- 第 3.9 節, Windows NT プリンタ管理の構成
- 第 3.10 節, 構成プロシージャの問題のトラブルシューティング
- 第 3.11 節, Advanced Server のネットワーク・アダプタ
- 第 3.12 節, 次のステップ

---

### 3.1 Advanced Server の構成プロシージャについて

Advanced Server の初期構成プロシージャ PWRK\$CONFIG.COM は、日本語 Advanced Server for OpenVMS のインストレーション・プロシージャによってインストールされます。

インストレーション・プロシージャと同様、構成プロシージャも(プロンプトを表示することにより)一連の質問を行います。プロシージャは、入力された答えを使用して Advanced Server を構成します。

PWRK\$CONFIG プロシージャを使用して、あとでいつでもサーバを構成することができます。スクリプトの内容は、最初の構成の後、変更されることに注意してください。

### 3.1.1 構成プロシージャの動作

PWRK\$CONFIG は、次のことを行うコマンド・プロシージャです。

- Advanced Server のオンディスク構造（「第 E.2 節, Advanced Server オンディスク構造」を参照）を作成する。
- サーバを以前のバージョンからアップグレードする場合や、現在構成されている言語が既存のファイル・サーバで使用されていた言語と互換性がない場合などに、既存のファイル・サーバのユーザ・アカウントおよび共有データベースをアップグレードする。
- 以前に構成されていたサーバを構成している場合は、元のアカунト・データベースを特別に作成したディレクトリに保存する（詳細については、「第 3.10.3 項, Advanced Server の再構成中に問題が発生した場合」を参照）。
- まだ実行されていない場合は、レジストリ・サーバを起動する。
- PATHWORKS for OpenVMS サーバから日本語 Advanced Server for OpenVMS へアップグレードしている場合は、サーバ構成パラメータを PATHWORKS for OpenVMS の LANMAN.INI ファイルから OpenVMS レジストリに移行する（詳細については、「第 3.2 節, LANMAN.INI パラメータの OpenVMS レジストリへの移行」を参照）。
- PWUTIL, PWLIC, PWLICENSE 共有にある PC ファイルをインストールするオプションを提供する。
- クライアント・ライセンス・チェックを無効にするオプションを提供する。
- 構成マネージャに入って、システム環境に影響を及ぼすシステム構成パラメータを変更できるようにする。また利用可能なシステム・リソースに対する構成の設定の確認を可能にする。たとえば、サーバが実行するトランスポートや、サーバに同時に接続できるクライアントの最大数を指定することができる。

構成マネージャについての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照。

- サーバの役割、ドメイン名、および有効にするサービスなど、サーバ構成のデフォルトの変更を可能にする。
- プライマリ・ドメイン・コントローラまたはメンバ・サーバとして実行するサーバ上で、Administrator アカунト・パスワードを指定できるようにする。
- サーバを起動するオプションを提供する。

サーバをインストールした後、サーバを起動できるようにするには、PWRK\$CONFIG 構成プロシージャを実行する必要があります。OpenVMS Cluster では、いずれかのノードでサーバを起動する前に、サーバを実行しようとする各ノードで、PWRK\$CONFIG を実行しなければなりません。OpenVMS Cluster のノードは、ドメインにおいて 1 つの単位として機能しますが、構成のためにはそれらを個別の単位として扱います。



---

## 3.2 LANMAN.INI パラメータの OpenVMS レジストリへの移行

PATHWORKS for OpenVMS と日本語 Advanced Server for OpenVMS サーバは、サーバ・パラメータを異なる位置に保存します。PATHWORKS for OpenVMS サーバは、LANMAN.INI ファイルを使用してサーバ構成パラメータを保存します。日本語 Advanced Server for OpenVMS は、Windows NT レジストリに似た OpenVMS レジストリを使用します。OpenVMS レジストリにおけるサーバ構成パラメータの管理についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

PATHWORKS for OpenVMS から日本語 Advanced Server for OpenVMS にシステムをアップグレードする場合、インストールの後で PWRK\$CONFIG.COM 構成プロシージャを初めて実行したときに、既存の LANMAN.INI ファイルにあるパラメータや設定が OpenVMS レジストリに移行されます (日本語 Advanced Server for OpenVMS は、パラメータ設定を LANMAN.INI ファイルからは読み込みません)。パラメータは OpenVMS レジストリに移行された後、レジストリで管理することができます。それ以降、システムが PATHWORKS for OpenVMS を再度実行した場合、LANMAN.INI ファイルが保持されます。

PWRK\$CONFIG.COM 構成プロシージャは、パラメータの 1 度限りの移行を実行します。パラメータがレジストリに移行されるとき、PWRK\$CONFIG プロシージャが LanmanIniMigrated 値に関連づけられているデータを OpenVMS レジストリに設定します。この値が存在し、それに関連づけられたデータを持つ場合、PWRK\$CONFIG プロシージャは、パラメータ移行プロセスを省略します。

次のコマンドを使用して、OpenVMS レジストリにある値とそれに関連づけられたデータを表示することができます。

```
$ REGUTL := $SYS$SYSTEM:PWRK$REGUTL.EXE
$ REGUTL SHOW VALUE * LANMANINIMIGRATED
```

次の例では、LanmanIniMigrated 値について表示されているデータは、パラメータが 2000 年 10 月 29 日に移行されたことを示しています。

```
Key: SYSTEM\CurrentControlSet\Services\AdvancedServer\Parameters
Value: LanmanIniMigrated
Type: String
Current Data: LANMAN.INI migrated on 29-OCT-2000 15:31:48.90
```

次の例は、PATHWORKS for OpenVMS を構成したことがないシステムに日本語 Advanced Server for OpenVMS を構成している場合 (つまり、PATHWORKS for OpenVMS からアップグレードしているのではない場合)、LanmanIniMigrated 値について表示されるデータを示しています。

```
REGUTL> SHOW VALUE * LANMANINIMIGRATED  
Key: SYSTEM\CurrentControlSet\Services\AdvancedServer\Parameters  
Value: LanmanIniMigrated  
Type: String  
Current Data: No LANMAN.INI to migrate on 29-OCT-2000 15:31:48.90
```

PWRK\$REGUTL ユーティリティを使用して OpenVMS レジストリにあるサーバ構成パラメータを管理する方法についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

---

### 3.3 Advanced Server 構成プロシージャを起動する前に

PWRK\$CONFIG.COM コマンド・プロシージャを起動する前に、第 1.8.7 項、ステップ 7: システム・パラメータの確認で説明するシステム・パラメータが正しく設定されていることを確認します。

PWRK\$CONFIG コマンド・プロシージャを起動する前に、次の事項を確認します。

#### 3.3.1 どの OpenVMS ディスク・デバイスに Advanced Server データ・ファイルを格納するか？

データ・ファイルには、次のものがあります。

- 構成パラメータ・ファイル
- License Server のデータ・ファイル
- ログ・ファイル
- プリンタ・スプール・ファイル
- サーバ・データ・ファイル
- Security Account Manager (SAM) データベース・ファイル
- クライアント・ベースのサーバ管理ツールおよびライセンス・キット
- 仮想メモリ・セクション・ファイル

デフォルトでは、構成プロシージャは、データ・ファイルをシステム・デバイス (SYS\$SYSDEVICE) にコピーします。ただし、指定できるのは、未使用ブロックが最低 85,000 あるディスク領域を持つ既存の OpenVMS ディスク・デバイスです。必要な容量はインストールするコンポーネントによって異なります。

Advanced Server データ・ファイルのディスクを選択する場合、次のことに注意してください。

- Advanced Server は、指定されたディスク・デバイスにコピーされたデータ・ファイルに頻繁にアクセスし、これによりディスク入出力が発生します。このような動作がシステム・ディスクで生じると、OpenVMS システムと Advanced

Server の両方のパフォーマンスが低下する可能性があります。できるだけシステム・ディスク以外のディスク・デバイスを指定してください。

- 複数のシステム・ディスクがある OpenVMS Cluster では、Advanced Server を実行する予定のノード全部が同じディスク・デバイスを使用して、Advanced Server データ・ファイルを格納し、アクセスしなければなりません。別々のクラスタ・メンバで別々のディスクを使用することは、禁止されています。
- Advanced Server データ・ファイルを格納するディスク・デバイスは、PWKR\$CONFIG コマンド・プロシージャを実行して、随時、変更することができます。PWKR\$CONFIG は、自動的にデータ・ファイルを新しい位置にコピーして、現在の位置からデータ・ファイルを削除します。

### 3.3.2 Windows クライアント・ユーティリティをインストールするか？

Advanced Server V7.3B より前のバージョンでは、PWKR\$CONFIG によって PWUTIL という名前の共有が常に作成され、Windows クライアントから Advanced Server を管理するのに使用されるドメインのユーザ・マネージャやサーバ・マネージャなどの Windows ユーティリティで使用されていました。Advanced Server V7.3B では次のようなプロンプトを追加して、PWUTIL 共有はオプションとしています。

*Do you want to install Windows client utilities, such as User Manager for Domains and Server Manager, which can be used to manage Advanced Server from a Windows client [N]?*

Yes と応答すると、このサーバから (PWUTIL 共有にある) Windows ユーティリティが利用できるようになります。デフォルトのオプションを選択するか No と応答すると、PWUTIL 共有は作成されません。PWUTIL 共有が既に存在する場合、この共有と関連ファイルを削除してよいか PWKR\$CONFIG がプロンプトを表示します。

The Windows client utilities files currently exist on this server and are accessible from the share named PWUTIL

*Do you want to remove this share [Y]?*

この共有を削除することを選択した場合、次のようなメッセージが表示されます。

If necessary, the Windows client utilities and PWUTIL share may be installed at any time by executing the command procedure:

```
$ @SYS$UPDATE:PWKR$PWUTIL.COM
```

PWUTIL 共有を削除しないことを選択した場合は、次のようなメッセージが表示されます。

If necessary, the Windows client utilities and PWUTIL share may be removed at any time by executing the command procedure:

```
$ @SYS$UPDATE:PWKR$PWUTIL.COM
```

### 3.3.3 このサーバでクライアント・ベースのライセンス・ソフトウェアを共有するか?

Advanced Server V7.3B より前のバージョンでは、PWLIC および PWLICENSE 共有が PWKR\$CONFIG によって常に作成されていました。PWLIC 共有と PWLICENSE 共有はどちらも、クライアント・ベースのライセンス機能を実装するのに必要となる Windows クライアント・ソフトウェアのコピーを含んだ同じディレクトリを指していました。カスタマーがサーバ・ベースのライセンシングのみを選ぶ場合、この機能は必要ありません。クライアント・ベースのライセンシング・ソフトウェアは、PATHWORKS32 for Windows でも提供されます。

クライアント・ベースのライセンシング・ソフトウェアはすべての環境で必要になるわけではないため、Advanced Server V7.3B ではこの機能はオプションとなっています。PWKR\$CONFIG の実行中に次のようなプロンプトが表示されます。

*Do you want this server to share the client-based license software [N]*

Yes と応答すると、このサーバでクライアント・ベースのライセンシング・ソフトウェアが利用できます。デフォルトのオプションを選択するか No と応答した場合、PWLIC 共有および PWLICENSE 共有は作成されません。PWLIC および PWLICENSE 共有が既に存在する場合、PWKR\$CONFIG は次のようなプロンプトが表示され、それらの共有および関連ファイルを削除することができます。

The client-based license software is currently available for download from the server in the shares named PWLIC and PWLICENSE.

*Do you want to remove these shares [Y]?*

共有を削除することを選択した場合、次のようなメッセージが表示されます。

If necessary, the client-based license software can be shared from this server at any time by executing the command procedure:

```
$ @SYS$UPDATE:PWKR$PWLIC.COM
```

既存の共有を削除しないことを選択した場合、次のようなメッセージが表示されます。

If necessary, the client-based license software can be removed from this server at any time by executing the command procedure:

---

注意

---

第 3.3.2 項および第 3.3.3 項の説明に関しては、PWRK\$PWUTIL.COM あるいは PWRK\$PWLIC.COM を実行した時に Advanced Server が稼働中の場合は、ユーザ名とパスワードを入力するためのプロンプトが表示されます。Advanced Server が稼働中でない場合は、これらのプロンプトは表示されません。

Advanced Server が PDC あるいは BDC として構成されている場合、正しくファイルおよび共有の追加/削除が行なわれるようにプロンプトに対して特権付きドメイン・ユーザのユーザ名とパスワードを入力してください。

Advanced Server がメンバ・サーバとして構成されている場合は、ローカル・メンバ・サーバの管理者アカウントあるいは適当な特権付きメンバ・サーバ・ローカル・アカウントの情報を入力してください。Advanced Server がメンバ・サーバとして構成されている場合にドメイン・ユーザの情報を入力すると、共有の追加あるいは削除が失敗します。

---

### 3.3.4 クライアント・ベース・ライセンス・チェックを無効にするか?

デフォルトでは、ドライブあるいはプリンタのマッピングのためにクライアントが Advanced Server に対するセッションを確立した場合、そのクライアントにクライアント・ベース・ライセンスがインストールされているかどうかを確認するために、サーバがクライアントに対して別のセッションを確立します。このライセンス・チェックは、クライアントあるいはネットワークが TCP ポート 139 の着信トラフィックをブロックするファイアウォールを使用する場合、大きな遅延の原因となります。この遅延は、ドライブをマップしようとしてタイムアウトや処理の失敗が発生する原因となります。クライアントでクライアント・ベースのライセンスを使用しない場合は（その代わりにサーバ・ベースのライセンスがサーバに存在する場合のみ応答する）、次のようなプロンプトで Yes と応答することにより、サーバがクライアントにライセンスを照会しないように設定することができます。

*Do you have PATHWORKS client license components installed on any client in your network? If not, do you wish to disable client-based license checks (enter ? for more information)? [Y]*

### 3.3.5 今すぐシステム構成パラメータを変更するか?

システム構成パラメータを変更するためのプロンプトに“YES”と答えると、構成マネージャが起動します。構成マネージャは、サーバに同時に接続できるクライアントの最大数やサーバが使用できる物理メモリの割合、およびサーバが使用するネットワーク・トランスポートなどのシステム環境構成パラメータの設定を変更したり確認したりするためのユーティリティです。

Advanced Server の起動後も、構成マネージャを使用してシステム構成パラメータの設定を変更することができます (構成マネージャは DCL プロンプトで ADMINISTER /CONFIGURATION コマンドを入力して起動します)。詳細については、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。「第 B.2 節, Advanced Server 構成プロシージャの例」には、PWRK\$CONFIG の実行中にシステム構成パラメータの設定を変更する場合に表示される基本的な構成マネージャの画面を示しています。

#### 3.3.5.1 バックアップ・ドメイン・コントローラまたはメンバ・サーバ用のトランスポートの構成

サーバをバックアップ・ドメイン・コントローラ (BDC) またはメンバ・サーバとして構成する場合、プライマリ・ドメイン・コントローラ (PDC) でも実行されるトランスポートを最低 1 つ選択する必要があります。そうでなければ、構成が失敗します。

トランスポートがワイド・エリア・ネットワークの中のサーバ上で動作するよう選択する場合、次の事項に注意してください。

- ワイド・エリア・ネットワークでは、TCP/IP トランスポートは必須です (DECnet もワイド・エリア・ネットワークをサポートしていますが、提供する機能は、TCP/IP ほど広範囲に渡るものではありません)。クラスタでは、すべての Advanced Server メンバは同じサブネット内に存在していなければなりません。
- BDC またはメンバ・サーバを構成する場合、PDC があるのとは別の TCP/IP サブネットの既存のドメインに加えるには、構成しているサーバと PDC の両方が TCP/IP トランスポートを使用するように構成するとともに、「第 6 章, ワイド・エリア・ネットワークの実装」に説明するように、NetBIOS 名の解決に WINS (Windows インターネット・ネーム・サービス) サーバ、Domain Name System (DNS) サーバ、または LMHOSTS ファイルのいずれかを使用して、ワイド・エリア・ネットワークをセットアップしなければなりません (名前の解決には、これらの方法のうちの 1 つ、2 つ、または 3 つすべてを選択することができます)。
- ネットワーク名の解決に WINS を使用する場合、PDC と BDC の両方とメンバ・サーバが WINS サーバを使用して NetBIOS 名の解決を行わなければなりません。

Advanced Server を OpenVMS Cluster で実行する場合、ロード・バランシングおよびフェイルオーバーの恩恵を受けるには、クライアントは Advanced Server クラスタ・エイリアスを使用して Advanced Server に接続する必要があります。ただし、Advanced Server は、Advanced Server クラスタ・エイリアスを WINS サーバに動的には登録しません。そのため、Advanced Server エイリアス用の静的なマルチホーム・エントリを WINS データベースに定義しておきます。詳細については、「第 6.3.1 項, OpenVMS クラスタのための WINS のセットアップ」を参照してください。NetBIOS 名の解決に DNS を使用する予定の場合には、この静的なマルチホーム・エントリを WINS データベースから削除する必要があります (NetBIOS 名の解決のために、Windows 95、Windows 98、あるいは

Windows NT クライアントが WINS および DNS の両方を使用するように構成されている場合には、まず、WINS サーバを照会して名前を解決します)。

- LMHOSTS ファイルを使用する場合、PDC、BDC およびメンバ・サーバにそれをセットアップしなければなりません。PDC と同じサブネット上にない BDC またはメンバ・サーバを構成する前に、PDC 用の特別な NetBIOS 名エントリが BDC またはメンバ・サーバ上の LMHOSTS ファイルにあることを確認します。このエントリがない場合、BDC またはメンバ・サーバは PDC を見つけることができず、既存のドメインへの参加に失敗します。この NetBIOS 名エントリは、ドメイン名と同じでなければならず、15 文字まで空白を詰め、それに 16 進数の制御文字 1B を付加したものです。PDC の IP アドレスをこの特殊名にマップします。たとえば、ドメイン名が LANGROUP で、LANGROUP の PDC が IP アドレス 10.20.30.40 の DOMPDC のとき、BDC およびメンバ・サーバは次の行を LMHOSTS ファイルに追加する必要があります。

```
10.20.30.40  DOMPDC  #PRE  #DOM:LANGROUP
10.20.30.40  "LANGROUP  \0x1B"  #PRE
```

引用符内の文字の総数は常に 20 文字 (空白詰めして 15 文字にしたドメイン名に 16 進数の制御文字 (\0x1B) に必要な 5 文字を加えたもの) であることに注意してください。

詳細については、「第 6 章, ワイド・エリア・ネットワークの実装」を参照してください。

Advanced Server を OpenVMS Cluster 内で実行する場合、Advanced Server クラスタと同じサブネットにない他のドメイン・コントローラ (PDC を含む) は、Advanced Server クラスタ・エイリアス用のエントリを LMHOSTS ファイルに追加する必要があります。これにより、NetBIOS 名の解決に他の方法 (WINS または DNS) が使用されないことが想定されます。ドメインの操作については、クラスタ内のすべてのドメイン・コントローラは、個々のクラスタ・メンバの固有のコンピュータ名ではなく、Advanced Server クラスタ・エイリアス名で識別される単一のドメイン・コントローラとして動作します。ただし、LMHOSTS ファイルでは、複数の IP アドレスを単一の NetBIOS 名にマッピングする方法を提供していないため、Advanced Server クラスタ・エイリアスのエントリは、1 つの特定のサーバ・クラスタ・メンバの IP アドレスにマップしていなければなりません。Advanced Server がそのクラスタ・メンバで停止された場合は、Advanced Server がまだ実行されているクラスタ・メンバの IP アドレスにクラスタ・エイリアス名をマップするようにすべてのクライアントおよびサーバで LMHOSTS ファイルを変更する必要があります。Microsoft Windows オペレーティング・システムを実行しているシステムでは、NetBIOS 名キャッシュもコマンド NBTSTAT -R (R は大文字) を使用して再ロードする必要があります。

上述した LMHOSTS の制限のために、LMHOSTS ファイルを使用して、ロード・バランシングおよびフェイルオーバーの恩恵を受けることは困難 (そして、おそらく管理不能) です。

- OpenVMS Cluster 内で Advanced Server を実行し、DNS を使用してクラスタのロード・バランシングをセットアップしている場合には、すべてのサーバおよびクライアント上で NetBIOS 名の解決のために DNS の使用を可能にします。LMHOSTS ファイルおよび WINS データベースから Advanced Server クラスタ・エイリアス用のエントリを削除します。Advanced Server クラスタ・エイリアスは TCP/IP クラスタ・エイリアス (TCP/IP クラスタ・インパーソネータ名と呼ぶ) と同じにしないように強く推奨します。ロード・バランシングのセットアップ方法については、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

いずれかのワイド・エリア・ネットワークの実装を有効にするには、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』に説明するように、構成マネージャを使用してそれらを選択します。

### 3.3.6 サーバ構成設定のいずれかを変更するか?

サーバ構成設定によって、次の事項が決定されます。

- License Server を実行するかどうか。

License Server は、クライアントごとのライセンスを付与するために OpenVMS システム上で実行することができるソフトウェア・プログラムです。サーバのリソースを使用しようとするクライアントはすべて、有効なライセンスが必要です。ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) のそれぞれにつき、License Server が 1 つだけ必要です。クライアントのライセンスの Product Authorization Key (PAK) は、License Server を実行するシステム上にロードしなければなりません。

OpenVMS Cluster では、クラスタ・メンバすべてが利用可能な共有ライセンス・データベースに PAK をロードする必要があります。

License Server は、構成プロシージャで有効にした場合のみ実行されます。

- クライアントごとのライセンスを使用する場合、License Server を実行する必要があります。License Server はできるだけ Advanced Server とは異なるシステム上で実行してください。詳細については、「第 1.3 節, ライセンスについて」を参照してください。
- サーバごとのライセンスを使用する場合は、License Server を実行する必要がありません。

デフォルトでは、License Server は実行されません。

- Timesource サービスを実行するかどうか。

Timesource サービスを実行すると、サーバがタイム・サーバとして動作できるようになります。ネットワーク上の他のサーバは、このタイム・サーバと同期化してネットワーク・イベントを同調させることができます (たとえば、毎日同じ時間



にすべてのコンピュータでバッチ・プログラムを実行する)。タイム・サーバは、各 LAN に 1 つだけ必要です。

デフォルトでは、Timesource サービスは実行されません。

- Alerter サービスを実行するかどうか。

Alerter サービスは、警告 (アラート) と呼ばれるメッセージを Messenger サービスを実行するサーバおよびクライアントに送信します。

デフォルトでは、Alerter サービスが実行されます。

- 警告メッセージを受信するユーザの名前

デフォルトでは、警告メッセージが Administrator アカウントに送信されます。

- Netlogon サービスを有効にするかどうか。

ドメインでは、Netlogon サービスが、ドメイン単位のユーザ・アカウント・データベースを、Netlogon を実行しているすべてのドメイン・コントローラに配布します。このサービスにより、ドメイン単位のシングル・ログオンが可能になります。ユーザはドメイン内の任意のサーバのリソースにアクセスできるようになります。Netlogon サービスは、ドメインの円滑な操作のために必要です。このため、メンバ・サーバであっても、NetLogon サービスは必ず有効にしておくように推奨します。

デフォルトでは、Netlogon サービスが実行されます。

- ドメイン名

これは、サーバが置かれるドメインです。ドメインとは、ネットワーク上のクライアントおよびサーバの一部分です。ドメインについての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Concepts and Planning Guide』および『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

デフォルトのドメイン名は LANGROUP です。自分の会社やグループを示す名前を指定することができます。

- サーバの役割

これは、ドメインにおけるサーバの役割です。Advanced Server は、プライマリ・ドメイン・コントローラ (PDC)、バックアップ・ドメイン・コントローラ (BDC)、またはメンバ・サーバとして指定することができます。Advanced Server を新しいドメインにインストールすると、デフォルトにより、新しいサーバは PDC になります。OpenVMS Cluster では、クラスタ上のすべてのノードは同じ役割でなければなりません。つまり、1 つのノードの役割を変更すると、その変更はクラスタ上のすべてのサーバに適用されます。

サーバ・ドメインの役割の構成についての詳細は、「第 3.7 節, Advanced Server のドメインの役割の構成」を参照してください。

- コンピュータ名

この一意の名前がドメイン内でサーバを識別します。構成プロシージャの実行時には、この名前を定義するか、デフォルトの値をそのまま使用します。

PWRK\$CONFIG プロシージャは、別のノードまたはクラスタがすでに定義され、それが PDC として実行されていても、同じ名前の PDC を指定することができなくはありません。しかし、新しい(重複した) PDC では、Netlogon サービスが起動されません。PDC は、ドメインで一意でなければなりません。

デフォルトのコンピュータ名は、サーバの SCSNODE 名と同じです。

- Advanced Server のクラスタ・エイリアス

サーバが OpenVMS Cluster のメンバである場合、これは、クラスタにあるすべてのサーバが共有する名前です。エイリアスを使用すると、リモート・ノード(クライアントを含めた)がクラスタ内のすべてのサーバ・メンバを、あたかも 1 つのサーバであるかのように扱うことができます。たとえば、クライアント・ユーザは、Advanced Server クラスタ・エイリアスを指定して、クラスタの任意のサーバに接続することができ、ユーザは、クラスタの中でそれが接続される特定のノードを知る必要がありません。

DECnet がクラスタで実行されるよう構成されている場合、Advanced Server のデフォルトのエイリアスは、DECnet のクラスタ・エイリアスと同じです。DECnet のエイリアスが定義されていない場合、Advanced Server のデフォルトのクラスタ・エイリアスは、*nodename\_ALIAS* であり、このとき *nodename* は、最初に PWRK\$CONFIG を実行するクラスタ・メンバの SCSNODE 名です。

---

注意

---

Advanced Server のクラスタ・エイリアスと TCP/IP のクラスタ・エイリアス (TCP/IP インパーソネータ・クラスタ名と呼ばれる) は同じにしないように強く推奨します。

ドメイン名を Advanced Server のクラスタ・エイリアスとして使用してはなりません。それらが同じ場合、NetLogon は起動に失敗します。

---

- サーバ・アナウンス・コメント

これは、Advanced Server がネットワーク上に存在することを自らアナウンスするとき、および利用できるサーバのリストを表示するときに表示されるテキストです。

デフォルトのサーバ・アナウンス・コメントは“Advanced Server V7.3B for OpenVMS”です。

- Advanced Server の言語

これは、Advanced Server が、ファイルや共有名、ユーザ名、記述文字列、および ADMINISTER コマンド表示の内容などの、テキストのエンコーディングに使用する言語と関連する文字セット (ISO-8859 文字セットのうちの 1 つ) を決定します。言語の設定は 44) Japanese を選択してください。

---

## 注意

---

ドメイン内のすべてのサーバは同じ言語を使用しなければなりません。そのサーバにアクセスするすべてのクライアントも同じ言語を使用するように構成することを推奨します。そうでない場合、サーバの言語でサポートされていない文字を含む名前は、クライアントが期待するように表示されません。

---

ディスク・デバイスに ODS-2 ファイル名 (具体的には、エスケープ・コード化文字を含む \_XX という形式のファイル名) が含まれる場合は、「第 5.8 節, 日本語ファイル名の ODS-2 から ODS-5 への変換」で説明するように、まず、そのファイル名を ODS-5 ファイル名に変換する必要があります。「第 3.8 節, サーバの言語の構成」で、Advanced Server の言語を構成する方法について説明しています。言語、文字セット、および Unicode についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

- NT スタイルの印刷を有効にする

これにより、共有プリンタの管理を、リモート Windows NT コンピュータから行うか、またはサーバで ADMINISTER コマンド・インタフェースを使用してローカルに行うかを選択することができます。これが有効な場合、管理者はプリンタ用の最新のドライバを Advanced Server に保存することができます。新しいドライバが配布されると、管理者は 1 つの場所だけをアップデートする必要があります。クライアントのユーザがワークステーションから使用するようにプリンタをセットアップすると、適切なプリンタ・ドライバを自動的にダウンロードすることができます。

デフォルトは、ADMINISTER コマンドを使用した、共有プリンタのローカル管理です。Windows NT プリンタ管理を有効にすると、ADMINISTER インタフェースを使用したプリンタの管理について限られた機能のみを使用することができます。Windows NT スタイルのプリンタ管理を構成する前に、「第 3.9.1 項, Windows NT プリンタ管理に関する考慮事項」に記載されている考慮事項と制限事項を参照してください。「第 3.9.2 項, Windows NT プリンタ管理の構成例」には、Windows NT スタイルのプリンタ管理の構成方法を示すサンプルの構成スクリプトが示されています。

Advanced Server プリント共有の管理についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

構成設定の変更についての詳細は、「第 3.6 節, サーバ構成設定の変更方法」を参照してください。

サーバ構成の各設定についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

### 3.3.7 Administrator アカウントのパスワードは何にするか?

PDC を構成している場合、構成プロシージャは、ドメインの Administrator アカウント用のパスワードを指定するよう求めます。メンバ・サーバを構成している場合には、構成プロシージャは、メンバ・サーバのローカル Administrator アカウントのパスワードを設定するよう求めるプロンプトを表示します。メンバ・サーバのローカル Administrator アカウントのパスワードでメンバ・サーバのローカル・セキュリティ・アカウント・データベースにアクセスすることができます。Windows NT のように、ドメイン全体を管理する権限を与えないで、特定のユーザがメンバ・サーバのローカル・データベースを管理できるようにしたい場合があります。

パスワードでは、大文字小文字が区別され、14 文字以下で、英数字と次の特殊文字を含めることができます。

! # \$ % & ( ) - . ^ \_ ' { } ~

### 3.3.8 アカウント/パスワード情報を提供するか?

既存のドメインに (BDC またはメンバ・サーバとして) 参加するようにサーバを構成している場合には、次のいずれかを行うことができます。

- ドメイン管理者がコンピュータを手動でドメインに追加する
- 構成プロシージャの実行中に、管理者アカウントのユーザ名とパスワードを提供することにより、コンピュータを追加する

最初のオプションは、ドメイン管理者が、このサーバをドメインに参加するように構成しているユーザに、ドメインの Administrator アカウントのユーザ名とパスワードを教えたくない場合に便利です。ドメイン管理者は、ADMINISTER ADD COMPUTER コマンドまたは Windows NT Server Manager を使用して、コンピュータをドメインに追加することができます。この場合は、このプロンプトに対して NO と応答すると、アカウント/パスワード情報の入力を求めるプロンプトが表示されません。

2 番目のオプションでは、構成プロシージャはドメインの PDC にコンピュータをドメインに追加するように要求します。「第 3.3.9 項, ドメイン管理者のパスワードは?」で説明するように、ドメイン管理者アカウントのユーザ名とパスワードを入力するよう求めるプロンプトが表示されます。

### 3.3.9 ドメイン管理者のパスワードは?

構成プロシージャによりコンピュータを自動的に追加することを選択した場合には、ドメイン管理者アカウントのユーザ名とパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。「第 3.3.8 項, アカウント/パスワード情報を提供するか?」に記述したように、PDC はコンピュータをドメインに追加するように要求されます。PDC は、構

成プロシージャの代わりに、アカウントのユーザ名とパスワードを認証します。「第 3.3.7 項, Administrator アカウントのパスワードは何にするか?」で説明されている規則に従って、パスワードを入力します。

### 3.3.10 新しい管理者アカウントのパスワードを入力するか?

場合によっては、新しい Administrator のパスワードを入力するかどうかの問い合わせがあります。これにより、パスワードを変更することができます。

### 3.3.11 サーバを起動するかどうか?

構成プロシージャは、Advanced Server を起動するかどうかを尋ねます。この時点で Advanced Server を起動しなくても、構成プロシージャが完了した後で、コマンド行から起動することができます。

OpenVMS Cluster メンバでサーバを起動する場合は、できるだけその前にサーバとして使用するクラスタ・メンバのそれぞれで Advanced Server を構成してください。各クラスタ・メンバ上で個別にサーバを起動することにする場合、必ず各サーバ・ノードの SYSTEM アカウント (または同様のアカウント) から起動します。詳細については、「第 5.4.3 項, OpenVMS Cluster で Advanced Server を起動する方法」を参照してください。

---

## 3.4 Advanced Server 構成プロシージャの起動方法

インストレーション・プロシージャが完了すると、OpenVMS システムのプロンプトである (\$) が表示されます。

1. SYSTEM アカウントにログインしていることを確認します。
2. 次のコマンドを入力して、構成プロシージャを起動します。

```
$ @SYS$UPDATE:PWRK$CONFIG
```

---

## 3.5 Advanced Server 構成プロンプトへの応答方法

「表 3-1, Advanced Server 構成プロンプト」に、PWRK\$CONFIG が表示するプロンプトに対する応答方法を示します。

---

### 注意

表 3-1 には、PWRK\$CONFIG が表示するプロンプトだけを示し、情報メッセージは表示しません。構成スクリプトの完全な例については、「付録 B, Advanced Server のインストレーションおよび構成の例」を参照してください。

---

表 3-1 Advanced Server 構成プロンプト

プロンプト	行いたい操作	入力
Do you want to install Windows client utilities[N]	Windows クライアント・ユーティリティをインストールしない  Windows クライアントから Advanced Server をマッピングする Windows クライアント・ユーティリティをインストールする。	Return キーを押す 詳細は第 3.3.2 項を参照。  YES
Do you want this server to share the client-based license software [N]?	このサーバからクライアント・ベースのライセンス・ソフトウェアを提供しない。  このサーバからのクライアント・ベースのライセンス・ソフトウェアを共有する。	Return キーを押す 詳細は第 3.3.3 項を参照。  YES
Do you wish to disable client-based license checks (enter ? for more information)? [Y]	サーバによるクライアント・ベースのライセンス・チェックを無効にする。  クライアント・ベース・ライセンシングのチェックを有効にする。	Return キーを押す 詳細は第 3.3.4 項を参照。  NO
Do you want to continue with configuration [YES]: <sup>1</sup>	サーバ、または構成中のサーバが OpenVMS Cluster の一部である場合はクラスタの中のすべてのサーバをシャットダウンする。  構成プロシージャを強制終了する。	Return キーを押す  NO
Enter disk device name where Advanced Server data files will be stored [default_device]:	Advanced Server のオンディスク構成を、表示されたデフォルトの OpenVMS ディスク・デバイスにコピーする。  これまでに PWRK\$CONFIG を実行している場合、デフォルトのディスク・デバイスは、サーバを最後に構成したときに指定したデバイスである。実行したことがない場合、デフォルトのデバイスは、SYS\$SYSDEVICE である。  Advanced Server のオンディスク構成を、表示されたデフォルトのディスク・デバイス以外の OpenVMS ディスク・デバイスにコピーする。	Return キーを押す     <i>device_name</i>
Do you want to change the server configuration parameters now? [YES]:	構成マネージャ・ツールにアクセスして、サーバのシステム環境に影響を及ぼすパラメータを変更する。  構成マネージャに入らずに構成を終了する。	Return キーを押す 構成マネージャの使用についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照。  NO

<sup>1</sup>このプロンプトはサーバが実行されている場合のみ表示される。

(次ページに続く)

表 3-1 (続き) Advanced Server 構成プロンプト

プロンプト	行いたい操作	入力
Enter item number, or RETURN to use these values [DONE]:	表示されたサーバ構成パラメータを使用する (これは、サーバのソフトウェア構成に直接影響を及ぼしたり、定義したりする 10 くらいのパラメータ)。  表示された構成設定を変更する。	Return キーを押す  変更する設定の番号。  デフォルトの構成設定の変更についての詳細は、「第 3.6 節, サーバ構成設定の変更方法」を参照。
Are you going to supply account/password information? [YES]: <sup>4</sup>	PWRK\$CONFIG によりコンピュータを自動的に追加する。ドメイン管理者アカウントのユーザ名とパスワードの入力を求めるプロンプトが表示される。  ドメイン管理者のパスワードを教えなくて済むように、コンピュータを手動で (たとえばドメイン管理者により) 追加する。	Return キーを押す  NO
Enter the name of the primary domain controller for domain <i>domain-name</i> <sup>4</sup>	サーバが加わろうとしているドメインのプライマリ・ドメイン・コントローラ (PDC) の名前を入力する。	<i>PDC-name</i>
Enter Administrator account password: <sup>3</sup>	パスワードを Administrator アカウントに関連づける。	<i>password</i>  ドメインの既存の Administrator アカウントへのパスワードを入力する。
Do you want to enter a new Administrator account password [NO]: <sup>2,3</sup>	既存の Administrator アカウントのパスワードを継続して使用する。  新しい Administrator アカウントのパスワードを入力するためのプロンプトを表示させる。	Return キーを押す  YES
Re-enter to verify password <sup>3,4,5</sup> :		<i>password</i>
Enter a password for this member server's local Administrator account: <sup>5</sup>	パスワードをメンバ・サーバのローカル Administrator アカウントに関連付ける。	<i>password</i>  メンバ・サーバのローカルの Administrator アカウントへのパスワードを入力する。
Enter the account password in the required case <sup>4</sup>		<i>password</i>  現在のドメイン・アカウントのパスワードに一致するように、大文字/小文字を区別してパスワードを入力する。

<sup>2</sup>このプロンプトは、PWRK\$CONFIG がこれ以前に実行された場合に表示される。

<sup>3</sup>このプロンプトは、PDC を構成している場合にのみ表示される。

<sup>4</sup>このプロンプトは、BDC またはメンバ・サーバを構成している (既存のドメインに参加している) 場合にのみ表示される。

<sup>5</sup>このプロンプトは、メンバ・サーバを構成している場合のみ表示される。

(次ページに続く)

表 3-1 (続き) Advanced Server 構成プロンプト

プロンプト	行いたい操作	入力
Do you want to start the Advanced Server V7.3B for OpenVMS on node <i>node_name</i> now [YES]: <sup>6</sup>	構成プロシージャ完了後にサーバを自動起動する。	Return キーを押す
	サーバを起動しない。	NO

<sup>6</sup>このプロンプトは、最初に AUTOGEN を実行したり、システムをリポートすることなく、Advanced Server を起動できる場合にのみ表示される。

## 3.6 サーバ構成設定の変更方法

構成マネージャの終了後、構成プロシージャは、サーバ構成設定のリストを表示し、それらが変更できるようプロンプトを表示します。次に例を示します。

Advanced Server for OpenVMS is presently configured to  
run as follows:

```

1. Run the License Server:          NO
2. Enable Timesource service:      NO
3. Enable Alerter service:         YES
3a. Alert user names:              Administrator
4. Enable Netlogon service:        YES
5. Advanced Server domain:         LANGROUP
6. Advanced Server role:           PRIMARY
7. Advanced Server computer name:  COBRAZ
7a. Advanced Server OpenVMS Cluster alias: COBRAZ_ALIAS
8. Server announce comment:        Advanced Server V7.3B for OpenVMS
9. Advanced Server language:       English (USA)
10. Enable NT style printing:      NO

```

Enter item number, or RETURN to use these values [DONE]:

- サーバの構成設定を変更するには、変更する設定の番号を入力します。設定を変更できるよう、プロンプトが表示されます。「表 3-2, 構成設定」に、各設定が取りうる値を示します。
- 変更が終わって設定を保存する場合や、表示された設定を使用する場合は、Return キーを押して、デフォルトの答えである DONE を使用します。サーバ構成についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。



表 3-2 構成設定

設定	取りうる値
1. Run the License Server:	YES—License Server を実行する場合 NO—デフォルトの値を使用し、License Server を実行しない場合
2. Enable Timesource service:	YES—Timesource サービスを有効にする場合 NO—Timesource サービスを有効にしない場合
3. Enable Alerter service:	YES—デフォルトの値を使用し、Alerter サービスを有効にする場合 NO—Alerter サービスを無効にする場合
3a. Alert user names: <sup>1</sup>	警告メッセージを受け取れるユーザーの名前 (各ユーザ名は最大 20 文字) が、カンマで区切られて記載されているリスト
4. Enable Netlogon service: <sup>2</sup>	YES—デフォルトの値を使用し、Netlogon サービスを有効にする場合 NO—Netlogon サービスを無効にする場合
5. Advanced Server domain:	最大 15 文字のドメイン名。 Return キーを押してデフォルトの値を使用する。デフォルトのドメイン名は、LANGROUP である。会社やグループの名前を付けることができる。
6. Advanced Server role:	PRIMARY—サーバを PDC として指定する場合 BACKUP—サーバを BDC として指定する場合 MEMBER—サーバをメンバ・サーバとして指定する場合 ドメインの役割を構成する方法についての詳細は、「第 3.7 節, Advanced Server のドメインの役割の構成」を参照。
7. Advanced Server computer name:	最大 15 文字のコンピュータ名。 デフォルトの値を使用するには、Return キーを押す。構成プロセスを実行するのが初めての場合、デフォルトの値は、システムの SCSNODE 名である。
7a. Advanced Server for OpenVMS Cluster alias: <sup>3</sup>	サーバが属する OpenVMS Cluster についての、Advanced Server のクラスタ・エイリアス。 デフォルトの値を使用するには、Return キーを押す。DECnet が実行されるよう構成する場合、デフォルトの値は、DECnet のクラスタ・エイリアスである。DECnet が実行されるよう構成しない場合、デフォルトの値は、nodename_ALIAS である。
8. Server announce comment:	サーバがネットワーク上でその存在をアナウンスするために使用する最大 48 文字のテキスト文字列。 デフォルトの値を使用するには、Return キーを押す。
9. Advanced Server language:	Advanced Server が使用する言語のオプション番号。デフォルトは英語 (USA)。 デフォルトを使用するには、Return キーを押す。 サーバの言語を構成する方法についての詳細は、「第 3.8 節, サーバの言語の構成」を参照。
10. Enable NT style printing:	YES—Windows NT からのサーバ・プリンタのリモート管理を有効にする NO—デフォルトを使用する。つまり、ADMINISTER コマンド・インタフェースを使用して、サーバ・プリンタをローカルに管理する。 Windows NT のプリンタ管理を構成する方法についての詳細は、「第 3.9 節, Windows NT プリンタ管理の構成」を参照。

<sup>1</sup>Alerter サービスが有効な場合のみ表示される。<sup>2</sup>メンバ・サーバ上でも、NetLogon サービスを常に有効にしておくように推奨する。<sup>3</sup>OpenVMS Cluster でのみ表示される。

---

### 3.7 Advanced Server のドメインの役割の構成

ドメインのタイプにより，Advanced Server は，PDC，BDC，またはメンバ・サーバのいずれかとしてドメインに加わることができます。

Advanced Server が加わるドメインには，次の 3 つの種類があります。

- Windows NT ドメイン。このドメインには，Advanced Server は PDC，BDC，またはメンバ・サーバとして加わることができます。
- Windows 2000 混在モード・ドメイン。これは，Windows 2000 ドメイン・コントローラおよび Windows NT または Advanced Server ドメイン・コントローラの両方を含むドメインであり，Advanced Server は BDC およびメンバ・サーバとして加わることができます。
- Windows 2000 ネイティブ・モード (またはピュア Windows 2000 ドメインとも呼ぶ)。これは，すべてのドメイン・コントローラが Windows 2000 システムのドメインであり，Advanced Server はメンバ・サーバとしてのみ加わることができます。
- Windows 2003 暫定ドメイン。このドメインには，Windows 2003 ドメイン・コントローラおよび Windows NT あるいは HP Advanced Server ドメイン・コントローラが加わることができます。Advanced Server は BDC およびメンバ・サーバとして加わることができます。
- Windows 2003 ドメイン。すべてのドメイン・コントローラが Windows 2003 システムです。Advanced Server は，メンバ・システムとしてのみ加わることができます。Windows 2003 ドメインには少なくとも 1 つのドメイン・コントローラが必要です。

「表 3-3, 各ドメインのタイプにおけるサーバの役割」に，各ドメインのタイプについてサーバがとることができる役割をリストします。

表 3-3 各ドメインのタイプにおけるサーバの役割

ドメイン・タイプ	Advanced Server がとることができる役割		
	PDC	BDC	メンバ・サーバ
Windows NT			
Windows 2000 混在モード			
Windows 2000 ネイティブ・モード			
Windows 2003 暫定			
Windows 2003			

各 Windows NT ドメインには 1 つの PDC がなければなりません。PDC はセキュリティ・アカウント・データベースのドメインのマスタ・コピーを保存します。

Advanced Server をインストールして新しい Windows NT ドメインを作成する場合、その新しいサーバはデフォルトの設定により PDC になります。サーバ・ソフトウェアをインストールし、既存のドメイン名を指定した場合、サーバは既存のドメインに BDC またはメンバ・サーバとしてのみ加わることができます。

ドメインには BDC がなくてもかまいませんが、1 つ以上の BDC を持つことを推奨します。BDC は、ドメインのマスタ・セキュリティ・アカウント・データベースのコピーを保持します。BDC に保持されているセキュリティ・アカウント・データベースのコピーは、PDC のマスタ・データベースと同期がとられます。PDC および BDC は、ドメイン内のログオン要求を認証します。

メンバ・サーバは、ドメインのセキュリティ・アカウント・データベースのコピーを保持せず、ログオン要求を認証しません。メンバ・サーバは、ドメイン・コントローラに依存して、メンバ・サーバ共有へのアクセスを要求するユーザのクレデンシャルを認証します。Advanced Server をメンバ・サーバとして構成することの利点を「第 3.7.1 項, Advanced Server のメンバ・サーバとしての構成」にリストしています。

OpenVMS Cluster では、クラスタ上のすべてのノードは同じ役割を持たなくてはなりません。1 つのノードの役割を変更すると、他のノードも自動的に同じ役割に変更されます。

Advanced Server を始めて構成する場合、サーバがドメイン内で実行する役割を選択します。何度かサーバの役割を変更する必要があるかもしれません。サーバを変更する方法は、サーバの現在の役割と変更したい役割によって異なります。BDC から PDC へ、またはその逆へサーバの役割を変更するには、ADMINISTER SET COMPUTER/ROLE コマンドを使用します。サーバを BDC からメンバ・サーバに変更するには、「第 3.7.1 項, Advanced Server のメンバ・サーバとしての構成」で説明している PWRK\$CONFIG を使用する必要があります。PDC からメンバ・サーバに変更するには、まず、別の BDC を PDC に昇格します。すると、元 PDC が自動的に BDC に降格され、その後、PWRK\$CONFIG を使用してそれをメンバ・サーバに変更することができます。メンバ・サーバを BDC に変更する場合にも PWRK\$CONFIG を使用します(この制限は、Windows NT の制限に似ています。Windows NT では、ドメイン・コントローラをメンバ・サーバに変更したり、その逆を行う場合、オペレーティング・システムを再インストールする必要があります)。サーバを BDC から PDC へ変更したり、その逆の変更を行う方法についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。「表 3-4, サーバの役割を変更する方法」に、PWRK\$CONFIG で許可されている役割の変更と許可されていない役割の変更を示します。

表 3-4 サーバの役割を変更する方法

変更前	変更後	方法
BDC	PDC	ADMINISTER SET COMPUTER/ROLE コマンドを使用して BDC を PDC へ昇格する
BDC	メンバ	PWRK\$CONFIG を使用する
メンバ	PDC	PWRK\$CONFIG を使用してこのサーバを BDC へ変更したのち、ADMINISTER SET COMPUTER/ROLE コマンドを使用して BDC を PDC へ昇格する
メンバ	BDC	PWRK\$CONFIG を使用する
PDC	BDC	ADMINISTER SET COMPUTER/ROLE を使用して、ドメイン内の BDC を PDC に昇格すると、この昇格により、元の PDC が BDC に降格される
PDC	メンバ	ADMINISTER SET COMPUTER/ROLE を使用して、既存の BDC を PDC に昇格すると、この昇格により、PDC が BDC に降格され、PWRK\$CONFIG を使用して、それをメンバ・サーバに変更することができる

#### 警告

BDC をメンバ・サーバとして再構成すると、PWRK\$CONFIG はドメイン・コントローラのドメイン・ユーザ・アカウント・データベースを自動的に削除します。

メンバ・サーバを BDC に再構成すると、PWRK\$CONFIG はメンバ・サーバのローカル・ユーザ・アカウント・データベースを自動的に削除します。

どちらの場合も、ローカル・グループ情報が失われるため、リソースへのアクセスに影響を及ぼします。リソースの許可がローカル・グループを使用して設定されている場合、これらの許可を再設定する必要があります。リソースの許可がグローバル・グループまたはグローバル・ユーザ・アカウントを使用して設定されている場合には、これらの許可は役割を変更しても有効なままです。

### 3.7.1 Advanced Server のメンバ・サーバとしての構成

Advanced Server を構成して、ドメインにメンバ・サーバとして加わるようにするには、PWRK\$CONFIG.COM 構成プロシージャを使用します。ADMINISTER SET COMPUTER/ROLE コマンドを使用して、日本語 Advanced Server for OpenVMS ドメイン・コントローラをメンバ・サーバの役割に変更したり、メンバ・サーバをドメイン・コントローラの役割に変更したりすることはできません。

Advanced Server が、動作中の PDC のある既存のドメインに加わっている場合、それをメンバ・サーバとして構成することができます。ドメインがネイティブ・モードの Windows 2000 環境 (ピュア Windows 2000 ドメインとも呼ばれ、すべてのドメイン・コントローラが Windows 2000 システムであるドメイン) あるいは Windows 2003 ドメインの場合、すなわちすべてのドメイン・コントローラが Windows 2000 システムあるいは Windows 2003 システムであるドメインでは、まず、ドメインに

少なくとも 1 つのドメイン・コントローラが含まれるようにする必要があり、その後 Advanced Server をメンバ・サーバとして構成できます。

次のような理由により、日本語 Advanced Server for OpenVMS を BDC (または PDC) ではなく、メンバ・サーバとして構成したいことがあります。

- メンバ・サーバはログオン要求の認証に時間を費やすことはありません。このため、この役割は、作業負荷の重いサーバや、非常に時間的制約の厳しいタスクを実行するサーバにとっては良い選択です。
- さらに重要なことは、1 つ以上のサーバをドメイン・コントローラではなくメンバ・サーバとして構成すると、ドメイン・コントローラがユーザ・データベースの複製を行ったり、ログオン要求の認証を行ったりすることにより通常生成されるネットワーク・トラフィックが排除されるため、ネットワーク負荷を削減するのに役立ちます。クライアントが要求を認証するログオン・サーバを見つけようとすると、すべてのドメイン・コントローラが要求に応答します。環境によっては、これがネットワーク上で深刻な負荷を生成することがあります。
- 日本語 Advanced Server for OpenVMS をメンバ・サーバとして構成すると、日本語 Advanced Server for OpenVMS はネイティブ・モードの Windows 2000 あるいは Windows 2003 環境を中断することなく、その環境に加わることができます。
- 将来、日本語 Advanced Server for OpenVMS サーバを異なるドメインに移動する場合、それをメンバ・サーバとしてドメインから別のドメインに移動する方が簡単です。

以降の項で、Advanced Server をメンバ・サーバとして構成する方法について説明します。

#### 3.7.1.1 Advanced Server をメンバ・サーバとして構成するタイミングに関する検討

Advanced Server をアクティブ・ディレクトリでメンバ・サーバとして構成する場合は、次のような項目を検討する必要があります。

- どのコンピュータを PDC エミュレータとして機能させるかを判断します。はっきりしない場合は次のような手順で決定します。
  - a. Active Directory Users and Computersを起動して、ドメイン名を右クリックし、Operations Mastersを選択します。
  - b. PDC タブを選択して、どのドメイン・コントローラが PDC エミュレータであるか確認します。
  - c. Advanced Server 構成プロシージャが PDC の名前についてのプロンプトを表示したら、PDC エミュレータの NetBIOS 名 (pre-Windows 2000 名とも呼ばれます) を入力します。
- 構成中にユーザ名とパスワードを提供することを管理者が選択する限りは、Advanced Server は正しくドメインに参加できます。しかし、認証情報を提供しないことを管理者が選択した場合 (たとえば既にそのコンピュータ・アカウントが

存在する場合など), 処理が失敗する可能性があります。この場合は, 以下のセキュリティ・ポリシーが Windows Server 2003 PDC エミュレータで有効であること (デフォルトは無効) を確認してください (このポリシーは Windows 2000 には存在しません)。

Network access: Allow anonymous SID/Name translation

PDC エミュレータでこのポリシーが無効になっている場合は, ドメインに参加する際 Advanced Server は SAM データベース・ファイルの作成に失敗します。構成中に次のようなエラーが表示されます。

```
Creating SAM datafiles...
%PWRK-F-SAMCHECK, error creating SAM databases
PWRK-I-RESTORE, restoring original settings

@SYS$UPDATE:PWRK$CONFIG must be executed again.
The Advanced Server configuration is incomplete and cannot continue.
```

- PDC エミュレータのセキュリティ・ポリシー "Network security: LAN Manager authentication level" の現在の設定を確認します。

このポリシーはレジストリ値 LmCompatibilityLevel の設定 (HKEY\_LOCAL\_MACHINE\System\CurrentControlSet\Control\Lsa の下のキー) を制御します

LmCompatibilityLevel の設定は, 可能な限りすべてのシステムで同じであるべきです。Windows セキュリティ・ポリシーの設定 "Network security: LAN Manager authentication level" はレジストリ値 LmCompatibilityLevel に次のようにマップされます。

Network security: LAN Manager authentication level	LmCompatibilityLevel
Send LM & NTLM responses	0
Send LM & NTLM	1
Send NTLM response only	2
Send NTLMv2 response only	3
Send NTLMv2 response only/refuse LM	4
Send NTLMv2 response only/refuse LM & NTLM	5

デフォルトでは, LmCompatibilityLevel レジストリ・パラメータは Advanced Server for OpenVMS のレジストリには存在しません。デフォルトは LmCompatibilityLevel = 0 (Send LM & NTLM responses) となります。Advanced Server で LmCompatibilityLevel が 0, 1, あるいは 2 と定義されている場合, セキュリティ・ポリシー "Network security: LAN Manager authentication level" が PDC エミュレータで "Send NTLMv2 response only\Refuse LM and NTLM" と定義されていないことを確認してください。

PDC エミュレータでセキュリティ・ポリシーが "Send NTLMv2 response only\Refuse LM and NTLM" に設定されている場合, Advanced Server でレジストリ・パラメータ LmCompatibilityLevel を 3, 4, あるいは 5 に修正してください。この修正は, Advanced Server for OpenVMS サーバをドメインに参加させる前に実行する必要があります。

Advanced Server で LmCompatibilityLevel の設定を最初に変更するためには、最初に次のように作成しておく必要があります。

```
$ regutl := $sys$system:pwk$regutl.exe
$ regutl set parameter lsa LmCompatibilityLevel <desired level> /create
```

最初にこのように設定したら、設定の修正に/create 修飾子を使用する必要はありません。

- すべての Windows 2000 ドメイン・コントローラで、セキュリティ・ポリシー "Additional restrictions for anonymous connections"が "No access without explicit anonymous permissions"に設定されていないことを確認してください。その他の設定であれば問題ありません。この要件は Windows Server 2003 ドメイン・コントローラには適用されません。設定が変更されたらシステムのリブートが必要です。ただし、リブートの前にポリシーのリフレッシュが行なわれるまで待ってください。そうしないと再度リブートが必要になります。ドメイン・コントローラは、デフォルトでは、5 分毎にポリシーをリフレッシュします。次のコマンドを使用すると、強制的にポリシーをリフレッシュすることができます。

```
SECDIT /REFRESHPOLICY MACHINE_POLICY /ENFORCE
```

このポリシーが "No access without explicit anonymous permissions"に設定されている場合、ドメインに参加しようとしたときに認証情報が提供されていないと Advanced Server の構成プロシージャは処理に失敗します。ドメインに参加しようとしたときに認証情報が提供されている場合は、構成プロシージャは正しく処理を行います。しかし Advanced Server はその後の NETLOGON サービスの起動に失敗し、システム・イベント・ログに次のようなメッセージを送ります (\$ADMIN SHOW EVENTS)。

Events in System Event Log on server "MYSRV":

T	Date	Time	Source	Category	Event	User	Computer
E	01/31/06	11:00:57 AM	NETLOGON	None	3210	N/A	MYSRV

Failed to authenticate with W2KDC, a domain controller for domain MYDOM.  
Data:0000: 22 00 00 c0 00 00 00 00 "...?...."

さらに、NETLOGON サービスを起動しようとすると次のようなエラーが表示されます。

```
$ ADMIN START SERVICE NETLOGON
%PWRK-I-SVCOPWAIT, attempting to start the "NETLOGON" service on
"MYSRV"%PWRK-E-SVCOPFAILED, start of service "NETLOGON" on "MYSRV"
failed-LM-E-UIC_INTERNAL, an internal error occurred
```

このエラーにより、システム・イベント・ログに次のようなメッセージが出力されます。

T Date	Time	Source	Category	Event	User	Computer
W 02/02/06	10:31:57 AM	NETLOGON	None	5701	N/A	MYSRV

The Netlogon service failed to update the domain trust list.  
The following error occurred:  
%5 Data:0000: 22 00 00 c0 00 00 00 00 "...?....

ネットワーク・トレースは、Advanced Server が IPC\$ 共有に匿名接続を試みて拒否されたことを示します (0xC0000022)。

- Advanced Server コンピュータのアカウント名とそのアカウントの作成方法を決定します。前述したように、Advanced Server を OpenVMS Cluster 環境で実行している場合、クラスタ全体で単一のコンピュータ・アカウントが使用されます。このコンピュータ・アカウントは、Advanced Server クラスタ別名と同一でなければなりません。Advanced Server クラスタ別名は、Advanced Server の構成時に設定できます。

Advanced Server システムが OpenVMS Cluster のメンバでない場合、そのコンピュータ・アカウント名は Advanced Server のコンピュータ名と同一でなければなりません。デフォルトでは、そのコンピュータ名は SYSGEN SCSNODE パラメータと同一ですが、Advanced Server の構成時に変更されているかもしれません。コンピュータ・アカウントは、次のように Advanced Server の構成前あるいは構成時に作成できます。

#### – Advanced Server の構成前

Active Directory Users and Computers でアカウントを作成します。

#### 注意

このアカウントは pre-Windows 2000 コンピュータを指定したものでなければなりません。

Windows 2000 Active Directory Users and Computers で、Allow pre-Windows 2000 computers オプションを選択してアカウントを作成します。Windows Server 2003 Active Directory Users and Computers では、Assign this computer account as a pre-Windows 2000 computer オプションを選択します。

アカウントは Organizational Unit (OU) あるいは Computers コンテナに作成されます。

#### – Advanced Server の構成時

管理者アカウントのユーザ名とパスワードを使用します。構成プロシージャは、Computers コンテナにコンピュータ・アカウントを作成します。作成したアカウントは必要に応じて OU に移動することができます。



### 3.7.1.2 新しい日本語 Advanced Server for OpenVMS のメンバ・サーバとしての構成

新しい日本語 Advanced Server for OpenVMS を既存のドメインにインストールしている場合、PWRK\$CONFIG.COM 構成プロシージャの実行中にそれをメンバ・サーバとして構成することができます。ドメインには 1 つのアクティブな PDC を含んでいる必要があります。つまり、ネイティブ・モードの Windows 2000 ドメインあるいは Windows 2003 ドメインには、少なくとも 1 つのドメイン・コントローラがなければなりません。

次の PWRK\$CONFIG.COM 出力は、日本語 Advanced Server for OpenVMS サーバをメンバ・サーバとして構成する方法を示しています。プロシージャのこの前の部分で項目 5 が選択されて、ドメインとして UPTIME が選択されています。この例では、UPTIME ドメインは、すでに 1 つ以上のドメイン・コントローラのあるネイティブ・モードの Windows 2000 ドメインであると想定しています。

Reading current configuration parameters ...

Your Advanced Server for OpenVMS is presently configured to run as follows:

1. Run the License Server: NO
2. Enable Timesource service: NO
3. Enable Alerter service: YES
- 3a. Alert user names: Administrator
4. Enable Netlogon service: YES
5. Advanced Server domain: UPTIME
6. Advanced Server role: PRIMARY
7. Advanced Server computer name: GRATDA
- 7a. Advanced Server OpenVMS Cluster alias: GRATDA\_ALIAS
8. Server announce comment: Advanced Server V7.3B for OpenVMS
9. Advanced Server language: Japanese
10. Enable NT style printing: NO

Enter item number, or RETURN to use these values [DONE]: 6 Return

The Advanced Server role is the part the server will play in its domain.

A primary domain controller maintains the domain's master user accounts database and validates logins.

A backup domain controller receives copies of the master database, validates logins, and can be promoted to primary.

A member server does not receive copies of the master database or validate logins. It relies on domain controllers to validate user credentials.

Enter the role of this server (P)rimary/(B)ackup/(M)ember [P]:

M Return

Before joining a domain, the computer must be added to the domain. This can be done in one of two ways:

- the administrator of the domain uses the administrative tools to add this computer to the domain, or

- the computer is added automatically by this procedure;  
 you must supply an administrator account and password  
 Are you going to supply account/password information [Y]/N YES

Enter the name of the primary domain controller for domain UPTIME:  
 SUNDA

Enter the name of the administrator account: [Administrator]

Enter the account password in the required case:

Re-enter to verify password:

Process NETBIOS created with identification 206010B5  
 Process PWRK\$NBDAEMON created with identification 206010B7  
 Process PWRK\$KNBDAEMON created with identification 206010B9  
 Confirming domain name with SUNDA  
 Successfully retrieved domain name from SUNDA ...  
 Validating user name and password...  
 Successfully verified user name and password.

Your Advanced Server for OpenVMS is presently configured to  
 run as follows:

1. Run the License Server: NO
2. Enable Timesource service: NO
3. Enable Alerter service: YES
- 3a. Alert user names: Administrator
4. Enable Netlogon service: YES
5. Advanced Server domain: UPTIME
6. Advanced Server role: MEMBER
7. Advanced Server computer name: GRATDA
- 7a. Advanced Server OpenVMS Cluster alias: GRATDA ALIAS
8. Server announce comment: Advanced Server V7.3B for OpenVMS
9. Advanced Server language: Japanese
10. Enable NT style printing: NO

Enter item number, or RETURN to use these values [DONE]:

Saving parameters to the OpenVMS Registry...

Creating SAM datafiles...

.  
 .  
 .

The Advanced Server Administrator account is used to  
 administer the server. The Administrator account  
 is mapped by default to the OpenVMS SYSTEM account.

The Administrator account password can be up to 14 characters long  
 and the case of the characters used will be preserved.

Enter a password for this Member Server's local Administrator account:

Re-enter to verify password:

Changing password for Administrator account...

Setting character set information in databases as needed ...

Setting share database character set information ...

Setting ACL database character set information ...

Checking system resources...

### 3.7.1.3 既存の日本語 Advanced Server for OpenVMS の BDC のメンバ・サーバとしての構成

BDC をメンバ・サーバになるように構成する場合、スクリプトは、新しいサーバをメンバ・サーバとして構成するスクリプトと同様です。1つの例外は、スクリプトで次の数行が表示されることです。

```
Changing from backup domain controller to member server
results in the re-creation of the Advanced Server SAM databases.
If there is any problem with the configuration, your existing SAM
databases will be restored.
```

BDC のドメイン単位のアカウント・データベースが削除されて、メンバ・サーバのローカル・データベースが作成されます。サーバ固有のデータは、BDC のデータベースから保持されます。構成プロシージャは、あとでリストアする必要がある場合に備えて、ドメイン単位のアカウント・データベースを保存します(詳細については「第 3.10.3 項, Advanced Server の再構成中に問題が発生した場合」を参照)。

次の 2 つの表示例は、サーバ LIONHEART の役割をメンバ・サーバの役割として再構成する前後を示しています。メンバ・サーバを表す表示シンボルは[SV]です。

```
LANDOFOZ\\TINMAN> SHOW COMPUTERS

Computers in domain "LANDOFOZ":
Computer      Type      Description
-----
[PD] TINMAN   OpenVMS (NT 4.0) Primary  Advanced Server V7.3B for OpenVMS
[BD] LIONHEART OpenVMS (NT 4.0) Backup   Advanced Server V7.3B for OpenVMS
[BD] DOROTHY  OpenVMS (NT 3.51) Backup   Advanced Server V7.2A for OpenVMS

Total of 3 computers
[reconfigure server role]
.
.
.
LANDOFOZ\\TINMAN> SHOW COMPUTERS

Computers in domain "LANDOFOZ":
Computer      Type      Description
-----
[PD] TINMAN   OpenVMS (NT 4.0) Primary  Advanced Server V7.3B for OpenVMS
[SV] LIONHEART OpenVMS (NT 4.0) Server   Advanced Server V7.3B for OpenVMS
[BD] DOROTHY  OpenVMS (NT 3.51) Backup   Advanced Server V7.2A for OpenVMS

Total of 3 computers
```

---

## 3.8 サーバの言語の構成

Advanced Server の言語設定はファイル名等のテキストのエンコーディングに使われる文字セットを指定します。言語の設定は 44) Japanese を選択してください。

### 3.8.1 サーバの言語に関する考慮事項

サーバの言語を構成する際には、次の点を考慮してください。

- ドメイン内のすべてのサーバが同じ言語を使用しなければなりません。同じクラスタ内のすべての Advanced Server は、自動的に同じ言語を共有します(それらは言語が保存されている同じレジストリ・データベースを共有します)。
- サーバの言語は (Advanced Server を停止したのち) いつでも変更することができますが、いったん選択したら、選択を変更しないことを推奨します。

選択した新しい言語に含まれていない文字を含む名前のオブジェクトが存在する場合があります。たとえば、新しい言語を選択したのち、PWRK\$CONFIG は、Security Account Manager (SAM)、アクセス制御リスト (ACL)、および共有データベース内のすべての文字列を、古い文字セット (以前の言語用) から新しい文字セット (新しい言語用) に (言語に応じて) 変換することがあります。

これらのデータベースの 1 つ以上が変換される場合、PWRK\$CONFIG は次のメッセージを表示します。

```
Setting character set information in databases as needed ...
```

さらに、影響の及ぶ各データベースについて、次のようなメッセージが表示されます。

```
Setting share database character set information ...
```

これらのデータベースのいずれかに変換できないテキスト文字列が含まれる場合 (つまり、新しく構成される Advanced Server の言語の文字セットに含まれていない文字を含むオブジェクト名)、PWRK\$CONFIG プロシージャは、変換を行う前のデータベースのセットに戻します。エラー・メッセージに変換できなかった名前が示されて、言語は元の言語に戻されます。変換できないオブジェクトは名前を変更 (または削除) し、PWRK\$CONFIG を再実行して言語を変更する必要があります。

いくつかの言語については、PWRK\$CONFIG は上述したデータベース内のテキスト文字列を変換する必要がなく、クライアント・コード・ページ値のみを変換します (クライアント・コード・ページは、各国の言語で使用されるさまざまな文字をサポートするために、ASCII (American Standard Code for Information Interchange) 文字セットの制限を超える 256 文字の順序付けされたセットです。各言語に固有のコード・ページは、同じ 8 ビット値のセットの上に置かれています。たとえば、英語用に使用されるコード・ページ内の固有の 8 ビット値は、キリル言語用に使用される別の文字のために使用できます)。

### 3.8.2 サーバの言語の構成例

PWRK\$CONFIG.COM 構成プロシージャの実行中に、オプション 9 を選択することにより、Advanced Server の言語をデフォルト以外の言語に構成することができます。プロシージャは、構成可能な言語をリストします。プロンプトに対して、使用したい言語の番号を入力します。

次の例では、日本語が構成されます。

Your Advanced Server for OpenVMS is presently configured to run as follows:

1. Run the License Server: NO
2. Enable Timesource service: NO
3. Enable Alerter service: YES
- 3a. Alert user names: Administrator
4. Enable Netlogon service: YES
5. Advanced Server domain: LANDOFOZ
6. Advanced Server role: MEMBER
7. Advanced Server computer name: LIONHEART
- 7a. Advanced Server OpenVMS Cluster alias: LIONHEART ALIAS
8. Server announce comment: Advanced Server V7.3B for OpenVMS
9. Advanced Server language: English (USA)
10. Enable NT style printing: NO

Enter item number, or RETURN to use these values [DONE]: 9

\*\*\*\*\* W A R N I N G \*\*\*\*\*

Although you can change the server's language at any time (after stopping the Advanced Server), HP recommends that once a choice is made, you do not alter that choice. Certain objects might exist whose names include characters that are not included in the new language that you select. Error messages will indicate the names that could not be converted, and the language will be reset to the original language. If you want to change the language, you must first rename (or remove) the objects that cannot be converted, and rerun PWRK\$CONFIG to change the language.

\*\*\*\*\*

Do you want to continue with item number 9 (Y/[N]) Y

- |                        |                         |                         |
|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1) Afrikaans           | 16) French              | 31) Portuguese          |
| 2) Albanian            | 17) French (Ca. MS-DOS) | 32) Portuguese (MS-DOS) |
| 3) Basque              | 18) German              | 33) Romanian            |
| 4) Belarussian         | 19) Greek               | 34) Russian             |
| 5) Bulgarian           | 20) Greek (IBM)         | 35) Serbian (Cyrillic)  |
| 6) Catalan             | 21) Hebrew              | 36) Serbian (Latin)     |
| 7) Croatian            | 22) Hungarian           | 37) Slovak              |
| 8) Czech               | 23) IBM Cyrillic        | 38) Slovenian           |
| 9) Danish              | 24) Icelandic           | 39) Spanish             |
| 10) Dutch              | 25) Icelandic (MS-DOS)  | 40) Swedish             |
| 11) English (USA)      | 26) Indonesian          | 41) Turkish             |
| 12) English (USA)+Euro | 27) Italian             | 42) Ukrainian           |
| 13) English (Other)    | 28) Nordic L. (MS-DOS)  | 43) Western Europe+     |
| 14) Faeroese           | 29) Norwegian           | Euro                    |
| 15) Finnish            | 30) Polish              | 44) Japanese            |

The Advanced Server language specifies the internal character set encoding for strings, character casing rules, and the client code page.

Enter Advanced Server language by number for this cluster [English(USA)]: 21

Your Advanced Server for OpenVMS is presently configured to run as follows:

1. Run the License Server: NO
2. Enable Timesource service: NO
3. Enable Alerter service: YES
- 3a. Alert user names: Administrator
4. Enable Netlogon service: YES
5. Advanced Server domain: LANDOFOZ
6. Advanced Server role: MEMBER
7. Advanced Server computer name: LIONHEART
- 7a. Advanced Server OpenVMS Cluster alias: LIONHEART ALIAS
8. Server announce comment: Advanced Server V7.3B for OpenVMS
9. Advanced Server language: Japanese
10. Enable NT style printing: NO

Enter item number, or RETURN to use these values [DONE]:

---

### 3.9 Windows NT プリント管理の構成

デフォルトでは、サーバによって共有されるプリンタは、ADMINISTER ユーザ・インタフェースを使用してローカルに管理されます。Windows NT からのプリンタの管理をサポートするようにサーバを構成することができます。これにより、プリンタを追加するための「プリンタの追加ウィザード」などの、Windows NT プリント・サービス・ダイアログ・ボックスを使用することにより、Windows NT スタイルのプリンタ管理を利用できるようになります。

管理者は、Advanced Server にプリンタ用の最新のドライバを保存することができます。新しいドライバが配布される場合、管理者は 1 つの位置を更新する必要があるだけです。クライアント・ユーザが自分のワークステーションから使用するようにプリンタをセットアップする場合は、適切なプリンタ・ドライバを自動的にダウンロードすることができます。

Windows NT プリント管理をサポートするようにサーバを構成する前に、「第 3.9.1 項, Windows NT プリント管理に関する考慮事項」に記述している考慮事項を理解しておいてください。

### 3.9.1 Windows NT プリント管理に関する考慮事項

Windows NT スタイルのプリント管理を構成することを選択する前に、次の事項について考慮してください。Windows NT プリント管理を有効にすると、次のようになります。

- ADMINISTER インタフェースでのプリント管理では、限られた機能のみ利用可能です(同様に、デフォルトのプリント管理スタイルを有効にすると (ADMINISTER インタフェースを使用)、Windows NT からのプリント管理では、限られた機能のみ利用可能です)。
- サーバですでに定義されていたプリントまたはプリント・キューは、自動的にアップグレードされて、クライアントはこれらのプリントおよびキューを継続して共有することができるようになります。ただし、アップグレードされたこれらのプリントの Windows NT からの管理は制限されています。これらのプリントについて、完全な Windows NT の管理機能を利用できるようにするには、Windows NT プrint・サービスを使用し、プリントを一度削除してから Advanced Server にプリントを追加します。

---

#### 注意

---

PWRK\$CONFIG を実行して Advanced Server を再構成する場合、以前にアップグレードされているプリントは、再度アップグレードされることはありません。

---

- Windows NT プリント管理スタイルを一度構成すると、サーバをデフォルトのローカル・プリント管理スタイルに再構成する場合には、すべてのプリントが使用不能になります。プリントを再度使用可能にするには、いくつかの時間のかかる作業を実行する必要があります。
- Windows NT プリント管理に関する制限事項の詳細について、必ず『HP Advanced Server V7.3B for OpenVMS Release Notes』を参照してください。

### 3.9.2 Windows NT プリント管理の構成例

PWRK\$CONFIG.COM 構成プロシージャの実行中に、オプション 10 を選択することにより、Windows NT スタイルのプリント管理を構成することができます。次の例に示すように、プロシージャは警告メッセージを表示して、本当に変更したいかどうかを問い合わせます。

```
Your Advanced Server for OpenVMS is presently configured to  
run as follows:
```

```

1. Run the License Server:          NO
2. Enable Timesource service:      NO
3. Enable Alerter service:         YES
3a. Alert user names:              Administrator
4. Enable Netlogon service:        YES
5. Advanced Server domain:         LANDOFOZ
6. Advanced Server role:           MEMBER
7. Advanced Server computer name:  LIONHEART
7a. Advanced Server OpenVMS Cluster alias: LIONHEART ALIAS
8. Server announce comment:        Advanced Server V7.3B for OpenVMS
9. Advanced Server language:       Japanese
10. Enable NT style printing:      NO
Enter item number, or RETURN to use these values [DONE]: 10 

***** W A R N I N G *****
Before enabling this feature, make sure you are familiar with
the Windows NT printer management restrictions documented in the
Release Notes. Note that once you configure the Windows NT printer
management style, if you reconfigure your server to the default
local printer management style, all printers will be unusable. You
will have to perform several time-consuming tasks to make printers
functional again.
*****"
Are you sure you want to enable
Windows NT printer management? [Y/[N]] Y 
10. Enable NT style printing: Y 

```

---

## 3.10 構成プロシージャの問題のトラブルシューティング

この節では、次の方法を説明します。

- Registry Server のスタートアップ時の問題
- クライアントをサポートするために利用できるリソースが十分であることの確認
- Advanced Server の再構築中に問題が発生した場合の回復方法

### 3.10.1 Registry Server のスタートアップ時の問題

PWRK\$CONFIG.COM 構成プロシージャとファイル・サーバの正しい操作のためには、Advanced Server を稼動するシステム上で、レジストリ・サービスが利用可能でなければなりません。

OpenVMS Cluster 環境では、Registry Server がそのサーバ・ノードではなく、クラスタ内の他のノードで実行されるように OpenVMS レジストリを構成することができます。しかし、OpenVMS レジストリは、できるだけ全部の Advanced Server ノードで Registry Server を実行するように構成してください。これにより、ファイル・サーバが確実にレジストリ・サービスを利用できるようになります。Registry Server を起動し、レジストリ・サービスを有効にする方法については、「第 1.8.5 項、ステップ 5: OpenVMS Registry Server の起動」を参照してください。



- レジストリ・サービスが利用できない場合、PWRK\$CONFIG.COM プロシージャは、OpenVMS Registry Server を起動しようとします。この試みが成功すると、プロシージャが次のメッセージを表示します。

```
Checking to see if the OpenVMS Registry Services are available
...
%RUN-S-PROC_ID, identification of created process is 0000023B
```

- SYS\$REGISTRY 論理名が定義されていなければ、OpenVMS レジストリは起動されません。この場合、PWRK\$CONFIG.COM は次のメッセージを表示して終了します。

```
Checking to see if OpenVMS Registry Services are available...

SYS$REGISTRY must be defined to start the VMS Registry

%PWRK-F-NOREGISTRY, OpenVMS Registry services not configured for this
system
%PWRK-F-CONFIGERR, severe error encountered during configuration

OpenVMS Registry Services are not available on this system.

Some file server parameters are stored in the OpenVMS Registry.
For the file server or file server utilities to be able to access
these parameters, OpenVMS Registry Services must be available
on this system.

Since the file server requires access to the OpenVMS Registry,
it is recommended that OpenVMS Registry Services be started
as part of system start-up, before the file server is started.
For instructions on how to start OpenVMS Registry Services
please refer to the file server release notes.

This configuration is incomplete and cannot continue.
You must execute @SYS$UPDATE:PWRK$CONFIG again.
Please configure and start the OpenVMS Registry Services before
doing so.
```

レジストリ・サービスを有効にし、Registry Server を起動してから、PWRK\$CONFIG.COM プロシージャを再度、実行しなければなりません。Registry Server を有効にし、起動する方法についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』または『COM, Registry, and Events for OpenVMS Developer's Guide』（OpenVMS Documentation CD-ROM に含まれている）を参照してください。

### 3.10.2 クライアントをサポートするための十分なリソースが存在することの確認

Advanced Server は、OpenVMS AUTOGEN ユーティリティを使用して、必要とするリソースを要求します。AUTOGEN が Advanced Server 以外のプロセスの使用に必要なリソースを過小評価し、Advanced Server の起動時にそのリソースがすでに消費されていた場合、Advanced Server が予定した数のクライアントをサポートするためのリソースが十分残されていない可能性があります。

クライアントをサポートするために十分なリソースの割り当てを確保するには、Advanced Server と同時に実行されるソフトウェアがすべて、Advanced Server 構成プロシージャ (PWRK\$CONFIG.COM) を実行する前にインストールされ起動されていなければなりません。トランスポートとして TCP/IP が選択されている場合、PWRK\$CONFIG プロシージャを実行する前に TCP/IP 製品がロードされていることを確認します。

Advanced Server を正常に構成しても、クライアントをサポートするためのリソースが不十分であるとレポートして、起動しないことがあります。この場合、次のファイルを検査して増加させる必要があるシステム・リソースを判断します (*nodename* は、サーバ・ノードの名前)。

```
PWRK$LOGS:PWRK$CONFIG_ERROR_ nodename.LOG
```

リソースを増加させるには、MODPARAMS.DAT ファイルに適切な変更を加えた後、AUTOGEN を実行します。

### 3.10.3 Advanced Server の再構成中に問題が発生した場合

以前に構成されたサーバを再構成する場合、PWRK\$CONFIG コマンド・プロシージャは、PWRK\$LMDOMAINS: および PWRK\$LMDATAFILES: ディレクトリにサブディレクトリを作成し、元のアカунツ・データベース・ファイルをそこに保存します。

サブディレクトリの名前は、16JUN200014314818.DIR のように、日付と時刻に基づいて決められ、これはディレクトリが 16-JUN-2000 の午後 2:32 頃に作成されたことを示しています。

構成中にエラーが発生した場合、サーバ構成は元の状態に戻されます。再構成が成功したことを確信している場合は、これらのサブディレクトリとその中のファイルを手動で削除することができます。

---

## 3.11 Advanced Server のネットワーク・アダプタ

PWRK\$CONFIG 構成では、PDC と通信するために、ネットワークを使用する必要があります。システムに複数のネットワーク・アダプタ (ネットワーク・インタフェース・カードとも呼ばれる) がある場合、PWRK\$CONFIG によって選択されたデフォルトのアダプタが正しくないことがあります。また、いくつかの新しいシステムでは、Advanced Server はひとつしか存在しないネットワーク・アダプタでも認識できないことがあります。このような場合には、システム論理名を定義して、Advanced Server に特定のインタフェースを使用するように指示することができます。そのような論理名が定義されていないければ、PWRK\$CONFIG は、既知のアダプタのリストからシステムで定義されている最初のアダプタ (アルファベット順) を選択します。

サーバが複数のネットワーク・アダプタにアクセスし、選択されたアダプタを使用しない場合、または、Advanced Server が見つけれなかったり認識できないネットワーク・アダプタがシステムにある場合は、指定したトランスポートで使用するネットワーク・アダプタを手動で指定することができます。

### 3.11.1 ネットワーク・アダプタの手動による定義

特定のプロトコルで使用するためにネットワーク・アダプタを手動で定義するには、次の手順に従います。

1. 次の例に示すように、DCL DEFINE/SYSTEM コマンドを使用して、ネットワーク・アダプタを指定するシステム論理名を定義します。「表 3-5, OpenVMS ネットワーク・アダプタの論理名」に、各トランスポートで利用できる OpenVMS の論理名をリストします。適切な論理名を SYS\$MANAGER:SYLOGICALS.COM に追加して、リブート後にそれらの論理名が使用できるようにしなければなりません。
2. サーバを再起動します。

```
$ @SYS$STARTUP:PWRK$STARTUP
```

表 3-5 OpenVMS ネットワーク・アダプタの論理名

論理名	トランスポート
NETBIOS\$DEVICE	DECnet
PWRK\$KNBDAEMON_DEVICE	TCP/IP
PWRK\$NETBEUI_DEVICE	NetBEUI

次の例は、DECnet、TCP/IP、および NetBEUI トランスポートに適切なネットワーク・アダプタを定義する方法をそれぞれ示しています。

- DECnet トランスポート用にアダプタ EWA0: を指定するには、次のコマンドを入力します。

```
$ DEFINE/SYSTEM NETBIOS$DEVICE EWA0:
```

- TCP/IP トランスポート用にアダプタ ESA0: を指定するには、次のコマンドを入力します。

```
$ DEFINE/SYSTEM PWRK$KNBDAEMON_DEVICE ESA0:
```

#### 注意

TCP/IP が複数のネットワーク・アダプタ上で実行されていて、そのうちの 1 つを Advanced Server が使用するよう選択する場合、TCP/IP トランスポート用に選択するアダプタが TCP/IP ローカル・ホスト・データベースにリストされた最初のホストの IP アドレスに対応していることを確認してください (TCPIP SHOW HOST コマンドで確認できます)。そうしないと、関連する論理名 PWRK\$KNBDAEMON\_DEVICE とは異なるネットワーク・インタフェースの IP アドレスを Advanced Server が使用する可能性があります。

しかし、そのインタフェースの IP アドレスを論理名 PWRK\$KNBDAEMON\_IPADDR に定義することにより、論理名 PWRK\$KNBDAEMON\_DEVICE によって定義されたのと同じインタフェースの IP アドレスを Advanced Server が確実に使用するように設定することができます。これにより、選択したアダプタが、ローカル・ホスト・データベースの最初の IP アドレスに対応しているかどうかを気にする必要がなくなります。

---

- NetBEUI トランスポート用にアダプタ ESA1: を指定するには、次のコマンドを入力します。

```
$ DEFINE/SYSTEM PWRK$NETBEUI_DEVICE ESA1:
```

次の例のように、各プロトコルに対して同じアダプタを指定することができます。

```
$ DEFINE/SYSTEM NETBIOS$DEVICE EWA0:  
$ DEFINE/SYSTEM PWRK$KNBDAEMON_DEVICE EWA0:  
$ DEFINE/SYSTEM PWRK$NETBEUI_DEVICE EWA0:
```

---

#### 注意

---

論理名 PWRK\$NETBEUI\_DEVICE, PWRK\$KNBDAEMON\_DEVICE, および NETBIOS\$DEVICE を使用して定義されたアダプタの名前は、下線 ( \_ ) で始まっているではありません。下線で始まっている場合、PWRK\$KNBDAEMON が起動しないで他のプロセスが起動し、それらのプロセスは正しく動作しません。

---

### 3.11.2 ネットワーク・アダプタが見つからない場合の対処方法

NETBIOS, PWRK\$KNBDAEMON (TCP/IP 用), および PWRK\$NBDAEMON (NetBEUI 用) プロセスは、関連するネットワーク・アダプタがサーバ・ソフトウェアで認識されて、使用可能であることを必要とします。Advanced Server ソフトウェアの現在のバージョンで認識されない新しいネットワーク・アダプタがリリースされることがあります。Advanced Server が、選択されたネットワーク・アダプタを見つけられなかったり、認識しない場合、失敗した各プロセス (NETBIOS (必ず存在する), および PWRK\$KNBDAEMON と PWRK\$NBDAEMON (存在する場合)) は、それぞれのログ・ファイルにエラーを書き込みます。「表 3-6, 未定義のアダプタ・メッセージ」に、それぞれのプロセス、そのプロセスからのエラー・メッセージを記録するログ・ファイル、およびエラー・メッセージのテキストの例を示します。表 3-6 の例では、サーバ・ノード名は MYNODE です。3 つのエラー・メッセージはすべて同じ意味 (つまり、サーバでそのようなデバイスは見つかりませんでした) です。

表 3-6 未定義のアダプタ・メッセージ

プロセス	ログ・ファイル名
PWRK\$KNBDAEMON	PWRK\$LOGS:PWRK\$KNBDAEMON_MYNODE.LOG
メッセージ:	
Tue Mar 24 13:13:50 2000 get_phys_addr: Failed to get Ethernet device characteristics	
PWRK\$NBDAEMON	PWRK\$LOGS:PWRK\$NBDAEMON_MYNODE.LOG
メッセージ:	
Tue Mar 24 13:13:50 2000 Failed to open datalink	
NETBIOS	PWRK\$LOGS:NETBIOS_MYNODE.LOG
メッセージ:	
%NB-W-ERRSIGNAL, exceptional conditional detected at 24-Mar-2000 13:13:50.00 -SYSTEM-W-NOSUCHDEV, no such device available	

表 3-6 に記載されているいずれかのメッセージが表示された場合は、「第 3.11.1 項, ネットワーク・アダプタの手動による定義」で概要を説明したプロシージャを使用し、適切なプロセス用にネットワーク・アダプタを定義します。たとえば、サーバで未知のデバイスが報告された場合は、DEFINE/SYSTEM コマンドを入力して、サーバ上の各プロトコル用に適切なアダプタを定義します。

## 3.12 次のステップ

構成プロシージャの一部として、Advanced Server を自動的に起動することができます。

サーバを起動してよい場合は、「第 5 章, Advanced Server のインストール後の処理」の指示を参照してください。



---

## スタンドアロン License Server の構成と起動

License Server は、クライアントにライセンスを付与するために、OpenVMS システム上で実行するソフトウェア・プログラムです。

この章では、スタンドアロン License Server の構成と起動の方法について説明します。この章は、次の節から構成されます。

- 第 4.1 節, License Server について
- 第 4.2 節, スタンドアロン License Server を構成する前に
- 第 4.3 節, スタンドアロン License Server の構成
- 第 4.4 節, トランスポートの構成
- 第 4.5 節, License Server の構成プロンプトへの応答方法
- 第 4.6 節, スタンドアロン License Server の起動方法

---

### 4.1 License Server について

日本語 Advanced Server for OpenVMS の License Server は、PATHWORKS (LAN Manager) サーバ、PATHWORKS for OpenVMS (Advanced Server) サーバ、および日本語 Advanced Server for OpenVMS サーバにアクセスする必要があるクライアントに対してライセンスの認証を提供します。

License Server は、クライアント別のライセンスに必要です。サーバ別のライセンスを使用する場合、License Server を実行する必要はありません。

1 つの LAN ごとに、クライアント別のライセンスをサポートするための License Server は 1 つのみ必要です。次のタイプのファイル・サーバにアクセスするクライアントのためのライセンスは、同じ License Server で管理できます。

- PATHWORKS V5 for OpenVMS (LAN Manager)
- PATHWORKS V6 for OpenVMS (Advanced Server)
- 日本語 Advanced Server for OpenVMS

日本語 Advanced Server for OpenVMS に付属の License Server は、PATHWORKS for OpenVMS (NetWare) ライセンスの発行、および管理は行いません。NetWare ネットワーク・ソフトウェアを使用するクライアントがある場合、Advanced Server を稼動するシステムとは異なるシステム上で、既存のバージョンの License Server を維持します。

License Server は、次のようにインストールすることができます。

- Advanced Server とは別にインストールする。
- Advanced Server とともにインストールする。

License Server は Advanced Server を持たない、決められた OpenVMS システムにインストールすることを推奨します。したがって、日本語 Advanced Server for OpenVMS キットは、スタンドアロン License Server をファイル・サーバとは別にインストールできるようになっています。また、この代わりに、Advanced Server のある OpenVMS Cluster 上で License Server を実行すれば、クラスタ・フェイルオーバーにより信頼性が向上します (Advanced Server のない OpenVMS Cluster 上でも License Server を実行することができます)。

OpenVMS クラスタでは、PAK は共有ライセンス・データベースにロードしなければなりません。ライセンス管理についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Guide to Managing Advanced Server Licenses』を参照してください。

---

## 4.2 スタンドアロン License Server を構成する前に

スタンドアロン License Server は、Advanced Server のインストレーションに使用するのと同じソフトウェア・キットからインストールします。プロシージャについては、「第 2 章, Advanced Server ソフトウェアのインストレーション」で説明されています。

---

## 4.3 スタンドアロン License Server の構成

LAN のクライアントにライセンスを付与するよう、スタンドアロン License Server を構成しなければなりません。したがって、クライアントが使用する適切なトランスポートを選択します。次のトランスポートを使用するよう License Server を構成することができます。

- DECnet
- NetBEUI
- TCP/IP

License Server は、これらのタイプのトランスポートをすべてサポートしているので、スタートアップおよびシャットダウン・プロシージャは、サービスが予期せず中断されるのを防ぐために、注意深く設計されています。License Server の起動およびシャットダウンは、ファイル・サーバ・コマンド・プロシージャ PWRK\$STARTUP.COM および PWRK\$SHUTDOWN.COM を使用して行うことができます。スタンドアロン License Server の起動についての詳細は、「第 4.6 節, スタンドアロン License Server の起動方法」を参照してください。



次の表に、PWRK\$STARTUP.COM プロシージャの詳細について示します。

構成されているもの	起動されるもの
DECnet	DECnet トランスポート
NetBEUI	NetBEUI トランスポート
TCP/IP	TCP/IP トランスポート
DECnet	Advanced Server メール通知のための DECnet トランスポート
License Server	License Server コンポーネント

## 4.4 トランスポートの構成

次の節では、構成コマンド・プロシージャを使用して、スタンドアロン License Server 用のトランスポートを構成する方法を説明します。

インストレーション・プロシージャが完了すると、OpenVMS のシステム・プロンプト(\$)が表示されます。インストレーションに続いてシステムを再起動する場合は、次の手順を行います。

1. SYSTEM アカウントにログインしていることを確認します。
2. 次のコマンドを入力して、構成プロシージャを起動します。

```
$ @SYS$UPDATE:PWRK$CONFIG
```

3. 構成プロンプトに応答します。

## 4.5 License Server の構成プロンプトへの応答方法

「表 4-1, License Server の構成プロンプト」には、スタンドアロン License Server の構成時に、PWRK\$CONFIG が表示するプロンプトに対する応答方法を示します。

### 注意

表 4-1 には、PWRK\$CONFIG が表示するプロンプトだけを示し、情報メッセージは表示しません。構成スクリプトの完全な例については、「付録 B, Advanced Server のインストレーションおよび構成の例」を参照してください。

表 4-1 License Server の構成プロンプト

プロンプト	行いたい操作	入力
Enter disk device name where the Advanced Server data files will be stored [ <i>default_device</i> ]:	<p>サーバのオンディスク構成を，表示されるデフォルトの OpenVMS ディスク・デバイスにコピーする。これらのデータ・ファイルを保管するためには，5,000 ブロックの空きディスク容量が必要です。</p> <p>(以前に PWRK\$CONFIG を実行した場合，デフォルトのディスク・デバイスは，サーバを最後に構成したときに指定したデバイスとなる。)</p> <p>Advanced Server のオンディスク構成を，表示されるデフォルトのディスク・デバイス以外の OpenVMS ディスク・デバイスにコピーする。</p>	<p><input type="text" value="Return"/></p> <p><i>device_name</i></p>
Do you want to serve client-based licenses over DECnet [YES]: <sup>1</sup>	<p>ライセンスを DECnet 経由で付与する。</p> <p>ライセンスを DECnet 経由で付与しない。</p>	<p><input type="text" value="Return"/></p> <p>NO</p>
Do you want to serve client-based licenses over NetBEUI [NO]: <sup>1</sup>	<p>ライセンスを NetBEUI 経由で付与する。</p> <p>ライセンスを NetBEUI 経由で付与しない。</p>	<p>YES</p> <p><input type="text" value="Return"/></p>
Do you want to serve client-based licenses over TCP/IP [NO]: <sup>1</sup>	<p>ライセンスを TCP/IP 経由で付与する。</p> <p>ライセンスを TCP/IP 経由で付与しない。</p>	<p>YES</p> <p><input type="text" value="Return"/></p>
Do you want to start the Advanced Server License Server now [YES]:	<p>構成プロシージャ完了後にサーバを自動起動する。</p> <p>サーバを起動せずに，構成プロシージャを完了する。</p>	<p><input type="text" value="Return"/></p> <p>NO</p>

<sup>1</sup>License Server 構成プロシージャを，以前に実行したことがある場合は，デフォルトの応答が異なることがある。

## 4.6 スタンドアロン License Server の起動方法

License Server は，次のいずれかの方法で起動できます。

- 「第 4.3 節, スタンドアロン License Server の構成」で説明するように，構成プロシージャ中に起動する。
- コマンド行から手動で起動する。
- 再起動のたびに自動的に起動する。

#### 4.6.1 License Server を手動で起動する方法

構成プロシージャで License Server を起動しなかった場合、次のコマンドを使用して、手動で起動します。

```
$ @SYS$STARTUP:PWRK$STARTUP Return
The License Server will use DECnet, NetBEUI, TCP/IP.
Process NETBIOS created with identification 0000011E
Process PWRK$NBDAEMON created with identification 00000120
Process PWRK$KNBDAEMON created with identification 00000122
Process PWRK$LICENSE_S created with identification 00000124
$
```

#### 4.6.2 License Server を自動的に起動する方法

OpenVMS システムを起動するたびに、License Server が自動的に起動する設定を行うには、次のようにします。

1. システム・スタートアップ・ファイルSYS\$STARTUP:SYSTARTUP\_VMS.COMを編集します。
2. 次の例に示すように、startup コマンドを追加します。コマンドを、ファイルのネットワーク・トランスポートを起動するコマンドすべてより後に追加します。次の例に、ファイルの編集方法を示します。

```
$ IF F$SEARCH("SYS$SYSTEM:NETACP.EXE") .NES. ""
$ THEN @SYS$MANAGER:STARTNET
$ ENDIF
.
.
.
$ @SYS$STARTUP:PWRK$STARTUP
```

#### 4.6.3 OpenVMS Cluster における License Server の起動方法

License Server を同じ OpenVMS Cluster 上の、複数のメンバにインストールして構成する場合、できるだけ SYSMAN ユーティリティを使用して、すべてのクラスタ・メンバでサーバを手動で同時に起動してください。これには、次の手順を行います。

1. OpenVMS Cluster のノードの 1 つで、SYSTEM アカウントにログインしていることを確認します。
2. 次のコマンドを入力して、SYSMAN ユーティリティを起動します。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:SYSMAN
```

3. スタンドアロン License Server を起動する，すべてのクラスタ・メンバを定義します。たとえば，License Server を SPEEDY，SPIN，および SPAN というノードで起動する場合，SYSMAN>プロンプトから次のコマンドを入力します。

```
SYSMAN> SET ENVIRONMENT/NODE=(SPEEDY,SPIN,SPAN)
```

4. 定義したノードで License Server を起動します。SYSMAN>プロンプトで次のコマンドを入力します。

```
SYSMAN>DO @SYS$STARTUP:PWRK$STARTUP
```

---

## Advanced Server のインストール後の処理

この章では、Advanced Server をインストールした後に行うタスクについて説明します。この章は、次の節から構成されます。

- 第 5.1 節, インストレーション後のタスクを開始する前に
- 第 5.2 節, Advanced Server インストレーションの検証
- 第 5.3 節, Advanced Server の起動
- 第 5.4 節, Advanced Server の起動方法
- 第 5.5 節, Advanced Server の停止
- 第 5.6 節, 特殊な Advanced Server 管理コマンド
- 第 5.7 節, 外部認証のセットアップ
- 第 5.8 節, 日本語ファイル名の ODS-2 から ODS-5 への変換
- 第 5.9 節, オプションのサーバ管理ツールのインストール

---

### 5.1 インストレーション後のタスクを開始する前に

Advanced Server を起動する前に、次の操作を完了していることを確認します。

- 「第 2 章, Advanced Server ソフトウェアのインストレーション」に説明するように、Advanced Server をインストールしていること。
- 「第 3 章, Advanced Server の構成」に説明するように、構成プロシージャを完了していること。

---

### 5.2 Advanced Server インストレーションの検証

Advanced Server のインストレーション時にインストレーション検証プロシージャ (IVP) を実行しなかった場合は、この時点で (または後に) 実行して、サーバが正常にインストールされていることを確認することができます (PRODUCT INSTALL コマンドに/NOTEST 修飾子を指定すると、IVP プロシージャは実行されません)。

IVP を実行するには、次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$TEST:PWRK$PCSI_IVP
```

表 5-1, IVP の結果と取るべきアクションに , IVP が示すインストレーションの状態に従ってどのようなアクションを取るかを示します。

表 5-1 IVP の結果と取るべきアクション

インストレーションの状態	IVP の表示	必要な操作
成功	メッセージ: %PWRK-I-NORMAL, IVP completed successfully	「第 5.3 節, Advanced Server の起動」に説明するように, サーバを起動する。
失敗	エラーメッセージの後に次のメッセージ: -PWRK-E-IVPFAIL, IVP has failed	「第 2 章, Advanced Server ソフトウェアのインストレーション」に説明するように, ソフトウェアを再インストールする。

## 5.3 Advanced Server の起動

以降の各項では, Advanced Server を起動するタイミングとその方法(手動あるいは自動起動), およびスタートアップ・プロシージャが実行する処理について説明します。

### 5.3.1 Advanced Server を起動するとき

Advanced Server を構成して初めて, 起動できるようになります。構成プロシージャを実行した後は, Advanced Server の起動と停止をいつでも行えます。

### 5.3.2 スタートアップ・プロシージャの動作

スタートアップ・プロシージャは, 次の処理を行います。

1. 必要な特権を確認する。
2. 必要な構成ファイルが利用可能であることを確認する。
3. サーバが構成されていることを確認し, 構成されていない場合に終了する。
4. リポートが必要な場合は, リポートが実行されたことを確認し, 実行されていない場合は終了する。
5. トランSPORT・ドライバをロードする。
6. イメージをインストールする。
7. トランSPORT・サポート・プロセスを起動する。
8. 必要に応じて, OpenVMS Registry Server を起動する。
9. 次のコンポーネントを起動する。
  - License Registrar

- License Server (構成されている場合)
- ファイル・サーバ

10. OpenVMS レジストリに設定されているすべての Advanced Server パラメータのリストを記録する (「第 5.4.5 項, OpenVMS レジストリに保存される初期の Advanced Server パラメータ値の決定」を参照)。

---

## 5.4 Advanced Server の起動方法

Advanced Server は次のように起動することができます。

- 「第 3 章, Advanced Server の構成」に説明するように、構成プロシージャ中に起動する。
- コマンド行から手動で起動する。
- 再ブートするたびに自動で起動する。

### 5.4.1 Advanced Server を手動で起動する方法

構成プロシージャで Advanced Server を起動しなかった場合、次のコマンドを入力して起動することができます。

```
$ @SYS$STARTUP:PWRK$STARTUP
```

Advanced Server が起動し、次のようなメッセージが表示されます。

```
The file server will use DECnet, NetBEUI, TCP/IP.
Advanced Server mail notification will use DECnet.
Process NETBIOS created with identification 00000248
Process PWRK$NBDAEMON created with identification 0000024A
Process PWRK$KNBDAEMON created with identification 0000024C
Process PWRK$LICENSE R created with identification 0000024E
Checking to see if the OpenVMS Registry Services are available...
The Advanced Server is configured to support 20 PC clients.
Process PWRK$MASTER created with identification 00000251
The master process will now start all other Advanced Server
processes.
```

### 5.4.2 Advanced Server を自動的に起動する方法

OpenVMS システムを起動するたびに Advanced Server が必ず自動的に起動するようにするには、サイト固有のスタートアップ・ファイル、SYS\$STARTUP:SYSTARTUP\_VMS.COM を編集します。ファイルのネットワーク・トランスポートを起動するコマンドすべてより後に、Advanced Server の STARTUP コマンドを追加します。次に例を示します。

```
$ @SYS$STARTUP:TCPIP$STARTUP.COM
.
.
.
$ @SYS$STARTUP:PWRK$STARTUP
```

### 5.4.3 OpenVMS Cluster で Advanced Server を起動する方法

Advanced Server を同じ OpenVMS Cluster 上の、複数のメンバにインストールして構成する場合、できるだけ SYSMAN ユーティリティを使用して、すべてのクラスター・メンバで Advanced Server を手動で同時に起動してください。

Advanced Server をすべてのクラスター・メンバで同時に起動するには、OpenVMS Cluster のメンバ・ノードの 1 つで、SYSTEM アカウントにログインしていることを確認してから、次のように SYSMAN を実行します。

コマンド	操作
\$ RUN SYS\$SYSTEM:SYSMAN	SYSMAN ユーティリティの起動
SYSMAN> SET ENVIRONMENT /NODE=(SPEEDY,SPIN,SPAN)	サーバを起動する OpenVMS Cluster メンバを定義する。たとえば、 SPEEDY, SPIN, SPAN など。
SYSMAN> DO @SYS\$STARTUP:PWRK\$STARTUP	前のコマンドで定義したすべてのノード で Advanced Server を起動する。
SYSMAN> EXIT	SYSMAN ユーティリティを終了する。

#### 注意

SYSMAN ユーティリティの STARTUP 機能を使用して Advanced Server を起動する場合、" " (ヌルまたは空白) の P1 パラメータを渡さなければなりません。次に例を示します。

```
SYSMAN> STARTUP ADD FILE PWRK$STARTUP.COM/PARAMETER=P1:" "
```

SYSMAN ユーティリティの STARTUP 機能の使用方法についての詳細は、『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』を参照してください。

### 5.4.4 スタートアップのトラブルシューティング

以降の項に、Advanced Server が起動しない原因をいくつか挙げます。

- 第 5.4.4.1 項, SYLOGIN.COM に独立プロセスに適さないコマンドが入っている
- 第 5.4.4.2 項, OpenVMS レジストリ・サービスが利用できない



#### 5.4.4.1 SYLOGIN.COM に独立プロセスに適さないコマンドが入っている

Advanced Server プロセスは独立プロセスです。スタートアップ時に、独立プロセスはすべてサイト固有のシステム・ログイン・プロシージャ (デフォルトは SYS\$MANAGER:SYLOGIN.COM) を実行しなければなりません。

Advanced Server スタートアップが正常に完了しない場合、SYLOGIN.COM プロシージャを確認します。独立プロセスが実行しなければならないコマンドだけが Advanced Server スタートアップ時に実行されることを確認します。

SYLOGIN.COM では、\$SET TERM/INQUIRE のような、非独立プロセスによってのみ実行される DCL コマンドが Advanced Server スタートアップ時に実行されないように、DCL レキシカル関数の F\$MODE または F\$GETJPI を使用して条件化することができます。詳細については、『OpenVMS DCL ディクショナリ』を参照してください。

#### 5.4.4.2 OpenVMS レジストリ・サービスが利用できない

Advanced Server は、OpenVMS レジストリ・サービスが利用可能な場合のみ起動します。Registry Server の起動についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』および『COM, Registry, and Events for OpenVMS Developer's Guide』(OpenVMS Documentation CD-ROM に含まれている)を参照してください。

Registry Server が Advanced Server スタートアップの一部として起動する場合、次のようなメッセージがスタートアップ・プロシージャにより表示されます。

```
Checking to see if the OpenVMS Registry Services are available...
%RUN-S-PROC-ID, identification of created process is 0000023B
```

Registry Server が起動できない場合、次のメッセージが表示されてスタートアップ・プロシージャが終了します。

```
SY$REGISTRY must be defined to start the VMS Registry.

%PWRK-F-NOREGISTRY, OpenVMS Registry services not configured for
this system
%PWRK-F-STARTERR, severe error encountered during start-up

OpenVMS Registry Services are not available on this system.

Some file server parameters are stored in the OpenVMS Registry.
For the file server or file server utilities to be able to access
these parameters, OpenVMS Registry Services must be available
on this system. Without them the file server cannot start.

$
```

#### 5.4.5 OpenVMS レジストリに保存される初期の Advanced Server パラメータ値の決定

Advanced Server スタートアップ・プロシージャは、OpenVMS レジストリに設定されるすべての Advanced Server パラメータのリストを記録します。最新のパラメータ値が必要な場合は、このリストを参照することができます。このリストは次の位置に保存されています。このとき、*nodename*は、サーバ・ノードの名前です。

```
PWRK$PARAMS:PWRK$REGISTRY_PARAMS_nodename.LIS
```

---

### 5.5 Advanced Server の停止

Advanced Server は、次のような場合に、いつでも停止することができます。

- サーバ構成パラメータを変更したいとき
- 定期システム・シャットダウンの一部として
- サーバの問題を解決する必要があるとき

Advanced Server を停止するには、次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$STARTUP:PWRK$SHUTDOWN
Shutting down the currently running server(s)...
```

クラスタ・サーバについては、次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$STARTUP:PWRK$SHUTDOWN CLUSTER
```

定期システム・シャットダウンの一部として Advanced Server を停止するには、サイト固有のシステム・シャットダウン・プロシージャに SHUTDOWN コマンドを追加します。さらに、サーバをシャットダウンする前には、ADMINISTER SEND/USERS コマンドを使用して、接続しているユーザにシャットダウンの予定を通知します。次の例では、サーバ WOODMAN に接続しているすべてのユーザに警告しています。

```
LANDOFOZ\\TINMAN> SEND/USERS/SERVER=WOODMAN "Shutdown @ 1pm today!!!"
```

---

### 5.6 特殊な Advanced Server 管理コマンド

HP では、たとえば、特定のサーバ管理コマンドやプロシージャを起動するためのショートカットを提供するコマンド・プロシージャを多数提供しています。ファイル SYS\$MANAGER:PWRK\$DEFINE\_COMMANDS.COM の内容を調べると、これらのコマンドのリストを見ることができます。

Advanced Server の管理に使用するアカウントにログインすると、これらの Advanced Server 管理コマンドを自動的に定義することができます。ログイン時に Advanced Server コマンドを定義するには、特権付きアカウントの LOGIN.COM ファイルを編集して、次の行を追加します。

```
$ @SYS$MANAGER:PWRK$DEFINE_COMMANDS
```

---

## 5.7 外部認証のセットアップ

バージョン 7.1 以上の OpenVMS オペレーティング・システムは、外部認証をサポートします。Advanced Server はオペレーティング・システムとともに、Advanced Server ドメイン・ユーザが Advanced Server のユーザ名とパスワードを使用して、OpenVMS オペレーティング・システムにログインすることができるようにします。Advanced Server はログイン要求で外部認証を行います。

外部認証は、OpenVMS アカウントとそれに対応する Advanced Server ドメイン・アカウントの間で、自動的にパスワードを同期化することができます。OpenVMS と Advanced Server ドメインの両方のユーザ・アカウントを持つユーザは、異なるパスワードを 2 つ管理する必要がなくなります。ドメイン・アカウント・パスワードが変更された場合、次回にユーザが OpenVMS アカウントにログインしたときに OpenVMS LOGINOUT プログラムが OpenVMS アカウント・パスワードをドメイン・アカウント・パスワードに変更します。ユーザが DCL SET PASSWORD コマンドを使用して OpenVMS パスワードを変更した場合、その SET PASSWORD コマンドはパスワードの変更を Advanced Server 外部認証ソフトウェアに送ります。正しく同期化されるよう、Advanced Server ドメイン・コントローラが利用可能な状態で、ドメイン・アカウント・パスワードは OpenVMS の要件に合った構文でなければなりません。

Advanced Server を起動すると、SYSUAF で外部認証のタグが付いているユーザ・アカウントに関しては、サーバの外部認証が自動的に有効になります(外部認証を有効にするために、PWRK\$ACME\_STARTUP.COM は SYSTARTUP\_VMS.COM で SYS\$SINGLE\_SIGNON 論理名のビット 0 を値 1 に定義します。このビットのデフォルト値を変更することによって、外部認証を無効にすることができます。外部認証を無効にする方法および SYS\$SINGLE\_SIGNON 論理名のその他のビットの定義については、第 5.7.5 項、外部認証の無効化を参照してください)。

OpenVMS システムでの外部認証を有効にする方法についての詳細は『OpenVMS システム・セキュリティ・ガイド』を参照してください。

Advanced Server を実行しているクラスタ・メンバでは、外部認証プロセスに加わるために Advanced Server を有効にするための追加の構成は必要ありません。ただし、Advanced Server クラスタで外部認証を使用するには、すべてのクラスタ・メンバをネットワーク・ユーザの OpenVMS ログイン要求が処理できるように構成し、外部認証されたユーザがクラスタ内の任意のノードを介してクラスタにログオンできるよう

にします。Advanced Server を実行していないクラスター・メンバは、共有クラスター・システム・ディスク上の外部認証ソフトウェアにアクセスできる場合には、ネットワーク・ユーザからのログオン要求を認証するように構成することができます。共有クラスター・システム・ディスク上の外部認証ソフトウェアにアクセスできない場合は、「第 5.7.1 項, OpenVMS Cluster における外部認証のセットアップ」で説明する手順に従って、外部認証イメージをシステム・ディスクにコピーするだけで、そのシステムでの外部認証を有効にすることができます。

Advanced Server システム上で外部認証機能を提供するには、次の手順を実行します。

1. 次のいずれかをインストールします。

- Advanced Server
- スタドアロン外部認証ソフトウェア

---

**注意**

---

少なくともクラスター内の 1 つのノードが完全な Advanced Server ソフトウェアを実行していなければなりません。

---

詳細は第 2 章, Advanced Server ソフトウェアのインストレーションを参照してください。

2. 適切な OpenVMS ユーザ・アカウントを (SYSUAF で) 外部認証可能に設定します。詳細は『OpenVMS システム・セキュリティ・ガイド』を参照してください。
3. 完全な Advanced Server ソフトウェアがインストールされている場合、サーバを起動すると外部認証を認められているすべてのユーザ・アカウントに対する外部認証が有効になります。

スタンドアロン Advanced Server 外部認証ソフトウェアがインストールされている場合、次の処理を実行してください。

- a. SYSTARTUP\_VMS.COM ファイルに次の行を追加します。

```
$ DEFINE/SYSTEM/EXE SYS$SINGLE_SIGNON 1
$ @SYS$STARTUP:PWRK$ACME_STARTUP.COM
```

クラスター環境では、クラスターワイドのシステム・スタートアップ・ファイルではなく、ノード固有のシステム・スタートアップ・ファイルに、これらの行に加えその後に下記の行も追加してください。あるいは、SYS\$COMMON:[SYSMGR]SYLOGICALS.COMなどの共有システム・スタートアップ・ファイルを使用している場合は、ノード名にしたがって DEFINE コマンドで条件を定義してください(つまり、レキシカル関数 F\$GETSYI を使用)。

```
$ DEFINE/SYSTEM/EXE PWRK$ACME_SERVER scsnode1_name[,scsnode2_name,...]
```

各scsnodex\_name名は等価名，すなわち外部認証要求を処理する Advanced Server を実行しているクラスタ・メンバの SCSNODE 名です。Advanced Server メンバ・ノードのすべての名前，あるいは一部の名前を含めることができます。これにより，外部認証のための Advanced Server ソフトウェアを実行しているどのホストに対して要求元ホストがコンタクトするか，その順番を指定することができます。もしリストの最初のノードが応答しない場合は要求元ホストはリストの次のホストに要求を行う，という処理を繰り返します。

詳細は『OpenVMS システム・セキュリティ・ガイド』および第 5.7.1 項を参照してください。

4. 必要に応じて，Advanced Server ドメイン・ユーザ・アカウントと対応する OpenVMS ユーザ・アカウントの間でホストのマッピングを確立します。詳細は『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。
5. Advanced Server が OpenVMS Cluster のメンバ・システムの場合，すべてのクラスタ・メンバで外部認証を設定してください。詳細は第 5.7.1 項，OpenVMS Cluster における外部認証のセットアップを参照してください。
6. 外部認証のデフォルトのドメイン・ユーザを変更したい場合は，システム論理名 PWRK\$ACME\_DEFAULT\_DOMAIN を設定してください (ローカル・サーバのドメインが，外部認証を確立する時のユーザのデフォルトのドメインとなります。ログイン時にユーザがドメイン名を指定しない場合，システムはデフォルトのドメインを認証に使用します)。詳細については，『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。
7. トラストド・ドメインでユーザの外部認証を確立する場合は，トラストド・ドメインの名前を OpenVMS Registry 値 HOSTMAPDOMAINS に追加してください。詳細は『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

ユーザの認証および OpenVMS と Windows NT のユーザ・セキュリティ・プロファイルの決定のために Authentication and Credential Management (SYS\$ACM) を有効にする方法については，『COM, Registry, and Events for OpenVMS Developer's Guide』を参照してください (OpenVMS Documentation CD-ROM に含まれています)。

## 5.7.1 OpenVMS Cluster における外部認証のセットアップ

OpenVMS Cluster で外部認証が使用されている場合には，クラスタ内で OpenVMS Registry が起動されていることを確認してください。さらに，すべてのクラスタ・メンバを，ネットワーク・ユーザのために OpenVMS ログオン要求が処理できるように構成するよう推奨します。

既に説明しているように、システムで Advanced Server が起動されると、SYSUAF で外部認証が有効になっているユーザ・アカウントに対しては外部認証が自動的に有効になります。Advanced Server を実行していないクラスタ・メンバは、共有クラスタ・ディスク上の外部認証ソフトウェアにアクセスできる場合、ネットワーク・ユーザからのログオン要求を認証することができます。外部認証は V7.1 より前の OpenVMS システムではサポートされていないことに注意してください。このため、クラスタ上で外部認証が適切に動作するためには、Advanced Server を実行していないクラスタ内のすべてのメンバが必ず OpenVMS V7.1 以降を実行しているようにしてください。

クラスタ・メンバが共有クラスタ・ディスク上の外部認証ソフトウェアにアクセスできない場合は、外部認証イメージをそのシステムにコピーすることによって、そのシステム上で外部認証を有効にすることができます。

クラスタ・メンバが共有クラスタ・ディスクを持っている場合は、以下の手順 1 は省略して残りの手順を実行してください。クラスタ・メンバが共有クラスタ・ディスクを持っていない場合は、以下のすべての手順を実行してください。

1. クラスタ・メンバが VAX ノードの場合は、次の外部認証ファイルを、完全な日本語 Advanced Server for OpenVMS がインストールされている任意のシステム・ディスクから、VAX ノード上の指示された位置にコピーします。

ファイル	VAX ノード上のコピー先
SYS\$LIBRARY:PWRK\$ACME_MODULE_VAX.EXE	SYS\$COMMON:[SYSLIB]
SYS\$STARTUP:PWRK\$ACME_STARTUP.COM	SYS\$COMMON:[SYS\$STARTUP]

クラスタ・メンバが OpenVMS Alpha V7.3-2 以降のノードの場合は、「第 2.1.2 項, サーバのインストレーション」で説明するように、PRODUCT INSTALL ADVANCEDSERVERJA コマンドを使用して、システムで POLYCENTER Software Installation ユーティリティを実行します。Advanced Server なしで外部認証イメージをインストールするには、「External Authentication Images only」オプションを選択します。

Alpha システムが V7.1 の場合には、次の外部認証ファイルを、完全な日本語 Advanced Server for OpenVMS がインストールされている任意のシステム・ディスクから、Alpha ノード上の指示された位置にコピーします。

ファイル	Alpha V7.1 ノード上のコピー先
SYS\$LIBRARY:PWRK\$ACME_MODULE_ALPHA.EXE	SYS\$COMMON:[SYSLIB]
SYS\$STARTUP:PWRK\$ACME_STARTUP.COM	SYS\$COMMON:[SYS\$STARTUP]

2. 次の論理名をクラスタ単位ではないノード固有のシステム・スタートアップ・ファイルに定義します。または、SYS\$COMMON:[SYSMGR]SYLOGICALS.COMのような共有システム・スタートアップ・ファイルを使用している場合は、レキシカル関数 F\$GETSYI を使用して、ノード名に基づき条件分けして定義します。

```
$ DEFINE/SYSTEM/EXE SYS$SINGLE_SIGNON 1
$ DEFINE/SYSTEM/EXE PWRK$ACME_SERVER scsnode1_name[,scsnode2_name,...]
```

2 行目の各 *scsnode<sub>x</sub>\_name* は等価名であり、外部認証要求の処理に使用できる Advanced Server を実行しているクラスタ・メンバの SCSSNODE 名です。Advanced Server メンバ・ノードの名前のすべてまたは一部を含めることができます。これにより、認証要求のために、要求しているホストが、完全な Advanced Server ソフトウェアを実行しているホストにコンタクトする順番を指定することができます。リスト内の最初のノードが応答しない場合、要求側のホストは次のホストに問い合わせを行い、以下同様に続きます。

---

#### 注意

---

外部認証要求を適切に処理するためには、Advanced Server メンバ・ノードの一部を指定する場合に、これら指定されたクラスタ・メンバのうちの少なくとも 1 つで Advanced Server が実行されていなければ（利用可能でなければ）なりません。そうでない場合、リストに指定されていない別の Advanced Server メンバ・ノードが現在実行中であっても、要求は処理されません。

---

3. システムのスタートアップ時に SYS\$STARTUP:PWRK\$ACME\_STARTUP コマンド・プロシージャを起動します。
4. すべてのクラスタ・メンバで適切な OpenVMS ユーザ・アカウントを外部認証有効に設定し、必要であれば、OpenVMS ユーザ・アカウントと Advanced Server ユーザ・アカウントとの間にホスト・マッピングをセットアップします。外部認証のために OpenVMS ユーザ・アカウントを有効にする方法についての詳細は、『OpenVMS システム・セキュリティ・ガイド』を参照してください。ホスト・マッピングをセットアップする方法についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

### 5.7.2 DECnet-Plusを経由した外部認証の必要条件

DECnet-Plus for OpenVMS を経由してユーザの外部認証を可能にするには、OpenVMS システム・パラメータ NET\_CALLOUTS を 255 に設定します。これにより、Advanced Server のユーザ ID マッピングおよびネットワーク・ログインのための認証が可能になります。

### 5.7.3 外部認証のためのサーバの能力の構成

デフォルトでは、Advanced Server は同時に 10 までの外部認証ログオン要求 (サインオン) をサポートすることができます。構成マネージャを使用すれば、Advanced Server の要求に合わせて、この最大値を変更することができます。構成マネージャを起動するには、次のコマンドを入力します。

```
$ ADMINISTER/CONFIGURATION
```

基本的なサーバ・パラメータには、外部認証によるユーザの同時アクティブ化があります。

構成マネージャの使用についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

### 5.7.4 ネットワークのダウン時の外部認証のバイパス

ネットワーク接続が必要で、かつネットワークがダウンしている場合、外部認証を行うことができません。しかし、一時的な解決方法として、特権ユーザであれば、ログイン・プロンプトで OpenVMS ユーザ名の後に /LOCAL\_PASSWORD 修飾子を入力して、ローカル認証を指定することができます。/LOCAL\_PASSWORD 修飾子を使用するときには、OpenVMS ユーザ名とパスワードを必ず指定します。

/LOCAL\_PASSWORD 修飾子の使用は、システム・マネージャが確立したセキュリティ・ポリシーを事実上オーバーライドするので、ユーザのアカウントに、許可された特権として SYSPRV がある場合にのみ許容されます。これにより、システム管理者は、ネットワークがダウンしたときにシステムにアクセスできます。SYS\$SINGLE\_SIGNON 論理名にビット 1 が設定されている場合は、通常は外部認証される、特権のないユーザがローカルにログインできるようになります (/LOCAL\_PASSWORD 修飾子を指定する必要はありません)。

ログイン・コマンド行の /LOCAL\_PASSWORD 修飾子についての詳細は、『OpenVMS システム・セキュリティ・ガイド』を参照してください。

### 5.7.5 外部認証の無効化

外部認証を無効にしたい場合は、Advanced Server を起動する前に次のように SYS\$SINGLE\_SIGNON 論理名の値を 0 に設定してください。

```
$ DEFINE/SYSTEM/EXECUTIVE SYS$SINGLE_SIGNON 0
```

SYS\$SINGLE\_SIGNON および OpenVMS での外部認証の無効化の詳細については、『OpenVMS システム・セキュリティ・ガイド』を参照してください。



---

## 5.8 日本語ファイル名の ODS-2 から ODS-5 への変換

既存の PATHWORKS 共有ディレクトリは、ODS-2 から ODS-5 に変換することによって、OpenVMS の拡張ファイル指定のサポートを利用することができます。日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアは、ODS-2 から変換された ODS-5 デバイス上で、ODS-2 用にエンコードされたファイル名を変換するための変換ユーティリティを提供します。この変換ユーティリティは、ファイル名のエスケープコード化文字を削除し、ファイル名を日本語の文字に変更します。たとえば、ODS-2 ディスク上に作成されたファイルの名前が、\_\_8F\_\_6F という文字コード化シーケンスを含む場合、日本語の「出」という文字のエンコード文字列なので、変換ユーティリティはエンコードされた文字列を削除し、それを「出」という文字に置き換えます。

ODS-2 ファイル名から ODS-5 ファイル名に変換できるのは、次の操作が行われた後です。

- 日本語 Advanced Server for OpenVMS がインストールされ、構成されている。
- エスケープコード化されたファイル名が存在するディスク・デバイスが、ODS-2 から ODS-5 に変換されている。ディスク・デバイスの ODS-5 への変換についての詳細は、『OpenVMS Extended File Specifications の手引き』を参照。

---

### 注意

---

デフォルトの言語 (英語 (USA)) 以外の言語を構成するときに、システム・デバイスに ODS-2 ファイル名 (エスケープ・コード化文字を含む \_\_XX 形式の名前) が含まれている場合には、新しい言語を構成する前にすべてのファイル名を変換する必要があります。

---

### 5.8.1 ファイル名変換ユーティリティの使用

ファイル名を ODS-2 ファイル・システムで使用されるエンコード文字列から、Extended File Specifications の日本語ファイル名に変換することができます。ファイル名変換ユーティリティ・ファイルは、次のとおりです。

```
SYSS$SYSTEM:PWRK$CNVTOHFS.EXE
```

Advanced Server コマンドが定義されていれば、PWCONVERT システム管理コマンドを使用して、ファイル名変換ユーティリティを起動することができます。Advanced Server システム管理コマンドの定義についての詳細は、「第 5.6 節, 特殊な Advanced Server 管理コマンド」を参照してください。たとえば、PWCONVERT コマンドを定義するには、次の DCL コマンドを入力します。

```
$ PWCONVERT :== $SYSS$SYSTEM:PWRK$CNVTOHFS.EXE
```

PWCONVERT コマンドの形式は次のとおりです。

```
$ PWCONVERT /qualifiers file-spec
```

ここでは、次の規則が適用されます。

- 修飾子はオプションです。修飾子については、「表 5-2, PWCONVERT の修飾子」で説明します。修飾子を省略した場合は、デフォルトが使用されます。
- *file-spec* 引数は必須で、デバイス名、ディレクトリ名、およびファイル名を含めることができます。
  - ディスク・デバイスだけを指定した場合、変換ユーティリティは、コード化されたファイル名をデバイス全体でスキャンし、それらを必要に応じて変換します。
  - ディスク・デバイスとディレクトリを指定した場合、指定されたディレクトリにあるすべてのファイルがスキャンされ、必要に応じて変換されます。ディレクトリ名とファイル名には、ワイルドカード文字を含めることができます。
  - ディスク・デバイス、ディレクトリ、およびファイル名を 1 つだけ指定した場合は、そのファイルだけが変換されます。
  - ファイル指定なしに PWCONVERT コマンドを入力した場合、ファイル指定を求めるプロンプトが表示されます。次に例を示します。

```
$ PWCONVERT
FILENAME:
```

このプロンプトへの応答では、変換するデバイス名を指定しなければなりません。オプションとして、ディレクトリ名とファイル名を指定することができます。修飾子を付けることも可能です。

表 5-2 PWCONVERT の修飾子

修飾子	説明	デフォルトの値
/CODE_PAGE= <i>n</i>	コード化文字の変換に使用するコード・ページを指定する。日本語ファイル名 (shift_jis コード) を変換する場合は、/CODE_PAGE=sjis を指定する。コード・ページについての詳細は、『OpenVMS ユーザー・マニュアル』を参照。	なし

(次ページに続く)

表 5-2 (続き) PWCONVERT の修飾子

修飾子	説明	デフォルトの値
/DISABLE= <i>keyword</i>	<p>キーワードによって指定される変換ユーティリティの機能を無効にする。キーワードは次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ACE— 変換ユーティリティがファイル上で“PATHWORKS” ACE の確認を行わないよう指定する。</li> <li>• STRUCTURE_LEVEL— 変換ユーティリティがファイル・システム・タイプ (ODS-2 または ODS-5) の確認を行わないように指定する。</li> </ul>	/NODISABLE
/LOG= <i>log-file-specification</i>	変換されたファイル名を含むログ・ファイルを作成する。この修飾子を使用して、ログの記憶位置と名前を指定することができる。	/NOLOG。情報が表示されログ・ファイルは作成されない。
/VERBOSE	変換処理の間に、スキャンされたファイル名をすべて表示する。	/NOVERBOSE
/NOLIST	変換されたファイル名を一切表示しない。エラー・メッセージのみ表示する。	/LIST

## 5.8.2 コード化されたファイル名の変換の例

この例では、報告書.TXT という名前のファイルが、DISKA にある共有ディレクトリ上に Windows 95 クライアントで作成され、\_\_95\_F1\_8D\_\_90\_\_8F\_\_91.TXT という名前でコード化されています。デバイス DISKA は、ODS-2 から ODS-5 に変換されています。OpenVMS から表示すると、ファイルは次のようになります。

```
$ DIRECTORY DISKA:[FILES]
Directory DISKA:[FILES]
...
__95_F1_8D__90__8F__91.TXT;1
Total of 20 files.
$
```

次のように PWCONVERT コマンドを使用して、このファイルを変換します。

```
$ PWCONVERT/VERBOSE DISKA:[FILES]__95_F1_8D__90__8F__91.TXT
Scanning file - DISKA:[FILES]__95_F1_8D__90__8F__91.TXT;1
Renamed __95_F1_8D__90__8F__91.TXT to ^U5831^U544A^U66F8.TXT
Convert Utility Complete
$
```

ここで^U5831^U544A^U66F8.TXT は ODS-5 上での「報告書.TXT」を表します。日本語 OpenVMS V7.2 以降を使用している場合、以下のように見えます。

```
$ DIRECTORY DISKA:[FILES]
Directory DISKA:[FILES]
...
報告書.TXT;1
Total of 20 files.
$
```

### 5.8.3 全部のファイル名を変換する場合の例

ディスク・デバイスおよびディレクトリにある、コード化されたファイル名を全部変換するには、ファイル名を指定せずに、ディスク・デバイスとディレクトリを指定して、PWCONVERT コマンドを入力します。たとえば、デバイス DISK\$USER1 に格納されているコード化されたファイル名を全部変換するには、次のように入力します。

```
$ PWCONVERT
_FILENAME: DISK$USER1:
...
Renamed __95__F1__8D__90__8F__91.TXT to ^U5831^U544A^U66F8.TXT
...
Convert Utility Complete
$
```

---

## 5.9 オプションのサーバ管理ツールのインストール

Advanced Server は、Windows NT、Windows 2000、あるいは Windows XP クライアントからサーバを管理できるオプションのクライアント・ベースのサーバ管理ツールを提供します。これらのツールは、PWUTIL 共有に含まれています。

Advanced Server の構成時に Windows クライアント・ユーティリティをインストールしないことを選択した場合、PWUTIL 共有は作成されません。必要であれば、下記のコマンド・プロシージャを実行することにより、Windows クライアント・ユーティリティおよび PWUTIL 共有がインストールされます。

```
$ @SYS$UPDATE:PWRK$PWUTIL.COM
```

詳細は第 3.3.3 項、このサーバでクライアント・ベースのライセンス・ソフトウェアを共有するか? の注意を参照してください。

PWUTIL 共有の SRVTOOLS ディレクトリには、それぞれのタイプのクライアント・コンピュータのためのサブディレクトリがあります。クライアント・コンピュータへのソフトウェアのインストール方法については、適切なサブディレクトリにある README.TXT ファイルを参照してください。

Windows NT サーバ管理ツールの使用方法についての詳細は、Windows NT Server のドキュメントを参照するか、オンライン・ヘルプを使用してください。



---

## ワイド・エリア・ネットワークの実装

この章では、日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアがサポートする TCP/IP ソフトウェア製品の 1 つを使用して、ワイド・エリア・ネットワーク (WAN) をセットアップする方法を説明します。

この章は、次の節から構成されます。

- 第 6.1 節, ワイド・エリア・ネットワーク・サポートの有効化
- 第 6.2 節, ワイド・エリア・ネットワークにおける LMHOSTS ファイルの使用
- 第 6.3 節, ワイド・エリア・ネットワークにおける WINS の使用
- 第 6.4 節, ワイド・エリア・ネットワークにおける DNS の使用

---

### 6.1 ワイド・エリア・ネットワーク・サポートの有効化

日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアでは、次の方法のいずれか 1 つ以上を使用して、ワイド・エリア・ネットワークの名前の解決を行うことができます。

- LMHOSTS ファイル
- Windows Internet Name Servers (WINS)
- Domain Name System (DNS)

これらを使用するためには、構成マネージャを使用して有効化する必要があります。これらは、PWRK\$CONFIG.COM コマンド・プロシージャによって有効化することができます。このコマンド・プロシージャで、“Do you want to change server configuration parameters.”という質問に YES と答えると、構成マネージャにアクセスできます。1 つ以上の方式のワイド・エリア・ネットワーク・サポートを有効化するには、Transports 画面を選択してから、適切なチェックボックスを選択します。また、この代わりに、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』で説明するように、サーバを構成して起動した後で、構成マネージャを実行することもできます。

---

#### 注意

---

チェックボックスは X 印が有効を意味し、空白が無効を意味します。

---

---

## 6.2 ワイド・エリア・ネットワークにおける LMHOSTS ファイルの使用

日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアは、LMHOSTS ファイルを使用することにより、TCP/IP トランスポートのワイド・エリア・ネットワークをセットアップする能力を提供します。このファイルには、同じドメイン内にあるドメイン・コントローラとメンバ・サーバ、および信頼を確立しているドメイン内にあるドメイン・コントローラのリストが入っています。LMHOSTS ファイルにより、Advanced Server は、Windows NT のワイド・エリア・ネットワークにも参加できるようになります。

Advanced Server は、Windows NT Server とは異なり、リモート LMHOSTS ファイル(#INCLUDE を使用して、Windows NT LMHOSTS ファイルに呼び込まれます)はサポートしません。Windows NT Server にある既存の LMHOSTS ファイルと同じホスト名を取り込むには、その LMHOSTS ファイルを Advanced Server にコピーしてから、そのエントリを Advanced Server の LMHOSTS ファイルに手動で挿入します。

---

### 警告

---

WAN でクラスタのロード・バランシングを使用する (Advanced Server クラスタ・エイリアス名の NetBIOS 解決のために DNS を使用) 予定がある場合は、Advanced Server クラスタにアクセスし、名前解決のために DNS を有効にするすべてのシステム上の LMHOSTS ファイルから、クラスタ・エイリアスのすべてのエントリを削除する必要があります。クラスタのロード・バランシングについての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

---

### 6.2.1 TCP/IP ワイド・エリア・ネットワークのセットアップ

TCP/IP ワイド・エリア・ネットワークをセットアップするには、同じドメイン、またはそのドメインと信頼関係のあるドメインにある、ワイド・エリア・ネットワーク中のドメイン・コントローラとメンバ・サーバについての、ホスト名と TCP/IP アドレスを追加することにより、LMHOSTS ファイルを修正します。

LMHOSTS ファイルは、NetBIOS 名を解決するために他の方法が使用されていなければ、ドメイン内のすべてのドメイン・コントローラおよびメンバ・サーバ上でセットアップされていなければなりません。Advanced Server の LMHOSTS ファイルに、ドメインのすべてのドメイン・コントローラとメンバ・サーバ、およびそのドメインと信頼関係を確立しているドメイン内のドメイン・コントローラのエントリが含まれていることを確認してください。

既存のドメインでバックアップ・ドメイン・コントローラ (BDC) またはメンバ・サーバになるサーバを構成している場合には、次の点に注意してください。つまり、異なる TCP/IP サブネットにあるプライマリ・ドメイン・コントローラ (PDC) のエントリ



が LMHOSTS ファイルに含まれていない場合、サーバはその PDC を見つけることができません。LMHOSTS ファイルにその PDC のエントリが含まれていることを確認してから、既存のドメインに加わるために PWRK\$CONFIG を実行してください。1 つの PDC に対して、次の 2 つのエントリが必要です。

- PDC のコンピュータ名の標準エントリ
- ドメインの PDC としてシステムを一意に識別するエントリ

このエントリには、16 バイト目に制御文字 \0x1B を持つドメイン名 (15 文字まで空白詰めされている) が含まれています。詳細については、「第 6.2.3 項、LMHOSTS ファイル構文」を参照してください。

BDC は、ドメイン単位のセキュリティ・アカウント・データベースに対する変更を、PDC から定期的に検索します。PDC 上の LMHOSTS ファイルから BDC を削除すると、PDC は、検索する必要があるデータベースの変更を BDC に通知しません。あるいは、BDC が PDC のための必要なエントリを削除すると、BDC は、データベースの変更を検索しようとする際に、PDC を見つけることができません。どちらの場合も、BDC のデータベースが最新でなくなります。

LMHOSTS ファイルは、随時修正が可能です。LMHOSTS ファイルが存在する限り、ユーザはこのファイルにリストされた任意のサーバに対して、TCP/IP 接続を確立することができます。

## 6.2.2 LMHOSTS ディレクトリ

ワイド・エリア・ネットワークのセットアップは、異なるサブネットにあるすべての OpenVMS ファイル・サーバで次のファイルを供給することにより行います。

PWRK\$LMROOT:[LANMAN]LMHOSTS.

(LMHOSTS ファイルには、ファイル・タイプはありません。上記のように最後のドットも含まれます。)

## 6.2.3 LMHOSTS ファイル構文

LMHOSTS ファイルでは、各ノードについて次の行を指定することにより、ノードのリストを作成します。

*address NetBIOSname #PRE #DOM:domain\_name*

ここで、

- *address* は、*x.x.x.x* という形式のインターネット・アドレスで、*x* は、0 から 255 までの 10 進数です。
- *NetBIOSname* は、1 ~ 16 文字の名前で、制御文字を含む場合もあります (制御文字の形式は、\0Xnn または \nn で、*n* は 16 進数です)

印刷されない文字や制御文字を含めるには、名前を二重引用符で囲みます。名前がキャッシュにロードされる前(次に説明する#PRE 指示文を参照)または照合に使用される前に、英文字はすべて大文字に設定されます。

名前の 16 バイト目に制御文字を明示的に含めたい場合は、次の処理を行う必要があります。

- 制御文字の位置を制御するために、名前の後ろに空白文字を詰めます。
- 名前と制御文字を二重引用符で囲みます。

次は、有効な NetBIOS 名の例です。

```
speedy
"LANDOFOZ      \0x1B"
```

- #PRE は、エントリがキャッシュにプリロードされなければならないことを示すオプションの指示文です。#PRE タグの付いたエントリは、Advanced Server が最初に起動されるときにキャッシュにプリロードされます。Advanced Server の起動後に、#PRE タグの付いたエントリを LMHOSTS ファイルに追加した場合は、Advanced Server が再起動されるまで名前はキャッシュにプリロードされません。ただし、その名前は、LMHOSTS ファイルを次に検索するときに利用可能になります。
- #DOM:domain-name は、エントリを domain-name によって指定されるドメイン内のドメイン・コントローラとして指定します。これは、エントリがドメイン・コントローラの場合には必須です。メンバ・サーバのエントリについて含めてはなりません。

#DOM:domain-name 指示文は、ログインおよびブラウザ・サービスがルーティング環境においてどう動作するかに作用します。これはまた、ユーザ・アカウント管理および信頼関係でも使用されます。

たとえば、PDC と同じ IP サブネット内にない BDC 上の LMHOSTS ファイルには、次のエントリを含めておきます(2つのシステムが同じ IP サブネット内にある場合には、ブロードキャストを使用して名前を解決することができます)。この例では、PDC 名は DOMPDC で、ドメイン LANGROUP 内にあり、IP アドレスは 10.20.30.40 です。

```
10.20.30.40  DOMPDC  #PRE  #DOM:LANGROUP
10.20.30.40  "LANGROUP      \0x1B"  #PRE
```

\0x1B 名は、ドメインの PDC によってのみ登録されます。BDC が PDC に昇格した場合、元の PDC は \0x1B 名を解放して、新しい PDC がそれを登録できるようにします。この \0x1B 名のエントリを含む他のシステム上の LMHOSTS ファイルは、新しい PDC の IP アドレスを反映するように更新する必要があります。

ドメインの PDC が、OpenVMS Cluster の複数のメンバ上で実行されている PATHWORKS または Advanced Server for OpenVMS サーバの場合は、1つのクラスタ・メンバだけが \0x1B 名を登録します (NetLogon サービスを起動する最初のメ

ンバ)。ただし、サーバがそのクラスタ・メンバ上で停止した場合、\0x1B 名はそのクラスタ・メンバによって解放され、その後、そのサーバを実行する別のクラスタ・メンバによって登録されます。この場合には、この\0x1B 名のエントリを含む他のシステム上の LMHOSTS ファイルは、\0x1B 名を登録して保持しているクラスタ・メンバの IP アドレスを反映するように更新する必要があります。 \0x1B 名の登録を行い、現在それを保持しているクラスタ・メンバを判断するには、クラスタの各ノードで OpenVMS DCL プロンプトから NBSHOW KNB コマンドを実行し、表示された名前テーブルで\0x1B 名を探します。 \0x1B 名は、クラスタ・メンバのうちの 1 つの名前テーブルにのみ表示されます。コマンド NBSHOW は、コマンド・ファイル SYS\$MANAGER:PWRK\$DEFINE\_COMMANDS.COM に定義されている特別な Advanced Server 管理コマンドです。詳細については、「第 5.6 節, 特殊な Advanced Server 管理コマンド」を参照してください。

**警告**

すべてのシステム上の LMHOSTS ファイルが、PDC の変更を反映するように更新されていない場合、これらのシステムではドメインの PDC を見つけることができない場合があります。これにより、ドメイン操作に悪影響を及ぼすことがあります。

信頼関係を使用する環境では、信頼する側のドメインにあるドメイン・コントローラは、信頼される側のドメイン内のドメイン・コントローラとセキュアな通信チャネルを確立する必要があります。これにより、1 つのドメイン内にアカウントを持つユーザは、そのユーザのドメインを信頼するドメインによって提供されるリソースにアクセスできるようになります (パススルー認証と呼びます)。このため、信頼する側のドメインのドメイン・コントローラは、信頼される側のドメインのドメイン・コントローラと同様、それぞれの LMHOSTS ファイルに他のドメインからのすべてのドメイン・コントローラをリストする必要があります (この場合、WINS など他の NetBIOS 名解決の方法が使用されていないものとします)。各ドメイン・コントローラには、他のドメインの PDC の\0x1B エントリも含める必要があります。次の例では、ドメイン LANGROUP はドメイン CORPDOM を信頼します。LANGROUP ドメインは、次のドメイン・コントローラから構成されます。

名前	IP アドレス	役割
LGPPDC	192.20.30.40	PDC
LGPBDC	192.20.30.41	BDC

CORPDOM ドメインは、次のドメイン・コントローラから構成されます。

名前	IP アドレス	役割
CORPPDC	110.5.5.5	PDC
CORPBDC1	110.5.5.20	BDC

名前	IP アドレス	役割
CORPBDC2	110.10.1.1	BDC

ドメイン LANGROUP のドメイン・コントローラが、ドメイン CORPDOM のドメイン・コントローラを検索できるようにするには、ドメイン LANGROUP のドメイン・コントローラにある LMHOSTS ファイルに次のエントリを含めます。

```
110.5.5.5   CORPPDC #PRE    #DOM:CORPDOM
110.5.5.5   "CORPDOM    \0x1B" #PRE
110.5.5.20  CORPBDC1 #PRE    #DOM:CORPDOM
110.10.1.1  CORPBDC2  #PRE    #DOM:CORPDOM
```

同様に、ドメイン CORPDOM のドメイン・コントローラが、ドメイン LANGROUP のドメイン・コントローラを検索できるようにするには、ドメイン CORPDOM のドメイン・コントローラにある LMHOSTS ファイルに次のエントリを含めます。

```
192.20.30.40 LGPPDC #PRE #DOM:LANGROUP
192.20.30.40 "LANGROUP \0x1B" #PRE
192.20.30.41 LGPBDC #PRE #DOM:LANGROUP
```

これらの場合、#DOM 指示文は必須です。これは、システムを、指定されたドメインのドメイン・コントローラとして明示的に指定します。メンバ・サーバを LMHOSTS ファイルに含める場合には (Windows NT または Advanced Server メンバ・サーバのどちらであっても)、#DOM 指示文を省く必要があります。メンバ・サーバはドメイン・コントローラではありません。

#### 6.2.4 LMHOSTS ファイルの管理

利用可能なノードのリストを変更するために、ファイルをいつでも編集することができます。ドメイン・コントローラ・エントリ (#DOM 指示文で指定される) および #PRE 指示文のないコンピュータ名エントリは、LMHOSTS ファイルを動的に確認することにより解決されます。この確認は、名前を解決する必要があり、名前キャッシュで見つからないときにはいつでも行われます。

LMHOSTS 名の解決を無効にするには、すべてのバージョンの LMHOSTS ファイルの名前を LMHOSTS 以外のものに変更します。あるいは、構成マネージャを使用して、LMHOSTS 名の解決を無効にすることもできます。構成マネージャを起動し (\$ADMIN/CONFIG)、「Transports」オプションを選択して、「Enable LMHOSTS Resolution」オプションの横のチェック・マークをクリアします。構成マネージャを使用して LMHOSTS 名の解決を有効または無効にする場合、変更は動的ではありません。つまり、次に Advanced Server を起動するまで、変更は有効になりません。

#### 注意

チェックボックスは X 印が有効を意味し、空白が無効を意味します。

Advanced Server の実行中に LMHOSTS ファイルにエントリを追加したとき、エントリに #PRE 指示文が含まれている場合、サーバが次に再起動されるまで、(エントリの #PRE 部分で指示されているように) エントリはパーマネントにキャッシュされません。ただし、その名前が次に解決が必要になった場合に動的に読み込まれるので、変更は直ちに有効になります。

### 6.2.5 LMHOSTS ログ・ファイルの使用

LMHOSTS にアクセスしたときにエラーが発生すると、そのエラーが次のファイルに記録されます。

```
PWRK$LMROOT:[LOGS]PWRK$KNBDAEMON_nodename.LOG
```

このファイルは、Advanced Server の実行中は開いており、書き込みが行われます。ログ・ファイルをクローズするには、Advanced Server を停止する必要があります。

ログ・ファイルが大きくなり過ぎるのを防ぐため、エラーはそれぞれ、最初に発生したときのみログに記録されます。エラーがログ・ファイルにある場合、そのエラーが重ねてログに記録されることはありません。

---

## 6.3 ワイド・エリア・ネットワークにおける WINS の使用

Advanced Server サーバは、WINS クライアントとして構成することができます。これにより、Advanced Server はワイド・エリア・ネットワーク構成において、WINS サーバを使用して、NetBIOS 名の登録、解決、書き換え、および解放を行うことができます。

構成マネージャを使用して、Advanced Server が WINS を使用するよう構成する方法についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

### 6.3.1 OpenVMS クラスタのための WINS のセットアップ

WINS をサポートするよう構成されたクライアントが、Advanced Server のエイリアス名を使用して、WAN 中のクラスタ化された Advanced Server に接続できるようにするには、Advanced Server エイリアス名のための静的マルチホーム・エントリを WINS データベースに追加しなければなりません。

Advanced Server エイリアス名のための静的マルチホーム・エントリを追加するには、Advanced Server を実行する OpenVMS Cluster にある各ノードの TCP/IP アドレスを入力しなければなりません。

WINS データベースへの静的エントリの追加についての詳細は、お使いの WINS 製品のドキュメントを参照してください。

---

#### 警告

---

DNS 名の解決を使用して WAN でクラスタのロード・バランシングを提供する場合には、WINS データベースからクラスタ・エイリアスのすべての静的エントリを削除しなければなりません。WAN でクラスタのロード・バランシングを有効にする方法についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

---

---

## 6.4 ワイド・エリア・ネットワークにおける DNS の使用

Advanced Server を DNS クライアントとして構成することができます。これにより、Advanced Server は NetBIOS 名の解決のために DNS サーバを使用できるようになります。Advanced Server は、NetBIOS 名を解決するための他のすべての方法が失敗した場合に、最後の手段として名前解決のために DNS を使用します。

---

#### 注意

---

DNS 名の解決は、WINS および LMHOSTS の代わりに提供されているのではなく、むしろそれらを補うために提供されています。DNS では、Advanced Server は、名前の解決のために WINS、LMHOSTS、またはブロードキャスト方法も使用します。

---

構成マネージャを使用して、DNS を使用するように Advanced Server を構成する方法についての詳細は、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照してください。

---

## Advanced Server ソフトウェアの削除

この章は、日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアをシステムから削除する方法について説明します。

日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアを再インストールしなければならない場合、日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアの削除が必要になることがあります。

たとえば、インストレーション検証プロセスにより、ソフトウェア・インストレーション・プロセスが失敗した場合、ソフトウェアを再インストールしなければなりません。しかし、まず、Advanced Server ソフトウェアを削除する必要があります。

- システムに十分なディスク領域がある場合、Advanced Server を削除することなく、サーバを再度インストールすることができます。
- システムに十分なディスク領域がない場合、再インストールする前に Advanced Server を削除する必要があります。

必要なディスク領域についての詳細は、「第 1.8.9 項, ステップ 9: ディスク容量の必要条件の確認」を参照してください。

この章は、次の節から構成されます。

- 第 7.1 節, Advanced Server のアンインストール
- 第 7.2 節, Advanced Server 構成パラメータの削除
- 第 7.3 節, Advanced Server ソフトウェアの削除
- 第 7.4 節, Advanced Server 削除プロセスの例

---

### 7.1 Advanced Server のアンインストール

Advanced Server は、PRODUCT REMOVE コマンドを使用して削除します。削除プロセスは、次の操作を行います。

- サーバを自動的にシャットダウンする。
- 削除プロセスを完了するために必要な情報を入力するためのプロンプトを表示する。

- レジストリ・サービスが利用できない場合， OpenVMS Registry Server を起動する。
- インストレーション・プロシージャで作成されたすべての日本語 Advanced Server for OpenVMS イメージ，サポート・ファイル，および論理名を削除する。
- すべての Advanced Server データ・ファイルをシステムから削除するかどうかを問い合わせるプロンプトを表示する。YES と応答すると， OpenVMS レジストリ内にあるすべての既知の Advanced Server キーと値，およびデータ・ファイルを削除する。NO と応答すると，サーバ・ソフトウェアを削除する前に， OpenVMS レジストリにあったすべての Advanced Server パラメータのリストを含むファイルを作成する。
- データ・ファイルを削除した場合に， Advanced Server ユーザ・アカウントを削除する。
- Advanced Server で提供されるクリーンアップ・ツールを削除したいかどうかを問い合わせるプロンプトを表示する。このツールには， PWRK\$FIXACE および PWRK\$DELETEACE が含まれている。これらのツールについての詳細は，『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照。
- 必要な場合にリストアできるように， NETBIOS イメージ SYS\$COMMON:[SYSEXEC]NETBIOS.EXE (インストールされている場合) を保存したいかどうかを問い合わせるプロンプトを表示する。たとえば，他の製品で必要なことがあとでわかることがある (日本語 Advanced Server for OpenVMS および PATHWORKS for OpenVMS の古いバージョンでは， NETBIOS イメージが必要)。このプロンプトに対する応答により，プロシージャは他の関連するファイルもいくつか保存したり，削除したりする。保存されたファイルは， SYS\$COMMON:[SYSUPD.PWRK\$SAFETY] に保存される。
- NETBIOS イメージの保存を選択しなかった場合， NETBIOS\$ACCESS という OpenVMS 識別子を削除する。
- NETBIOS イメージの保存を選択しなかった場合， Advanced Server DECnet オブジェクトを削除する。
- すべての Advanced Server 論理名の割り当てを解除する。
- 古い Advanced Server のファイルを SYS\$SPECIFIC から削除する (以前そこへコピーされたパッチなど)。

---

## 7.2 Advanced Server 構成パラメータの削除

Advanced Server データ・ファイルを削除する場合，削除プロシージャは，値またはそのキーとして格納されているサーバ構成パラメータを， OpenVMS レジストリから削除します。



この操作を完了するために、削除プロセスは、次の動作を行います。

- レジストリ・サービスがシステム上で利用可能であることを要求する。Registry Server は、システムまたはクラスタで実行されていなければならない。レジストリ・データベースがシステム上で利用できなければならない。レジストリ・サービスが利用できない場合、削除プロセスは、Registry Server を起動しようとする。Registry Server を実行するためには、レジストリ・サービスがシステムで有効になっていなければならない。レジストリ・サービスを利用できるようにする方法についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』または『COM, Registry, and Events for OpenVMS Developer's Guide』（OpenVMS Documentation CD-ROM に含まれている）を参照。
- PWRK\$REGUTL パラメータ管理ユーティリティを起動する（説明は『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』）。

---

## 7.3 Advanced Server ソフトウェアの削除

削除プロセスを起動し、日本語 Advanced Server for OpenVMS ソフトウェアを削除するには、次の手順を行います。

1. SYSTEM アカウントにログインしていることを確認します。
2. Advanced Server ADMINISTER コマンド行インタフェースを実行しているプロセスが存在しないことを確認します。
3. 次のように、削除コマンド・プロセスを起動します。

```
$ PRODUCT REMOVE ADVANCEDSERVERJA
```

「表 7-1, PRODUCT REMOVE プロンプト」では、削除プロセスが表示するプロンプトへの応答の方法を説明します。

表 7-1 PRODUCT REMOVE プロンプト

プロンプト	削除プロシージャに行わせたい動作	入力
Do you want to continue? [YES]	続行 終了	<input type="button" value="Return"/> NO
Information about the use of the Advanced Server may have accumulated in data files. Delete those files? [NO]:	セキュリティ・アカウント・データベース (SAM), 共有データベース, およびサーバ構成パラメータなどの Advanced Server のオンディスク構造を OpenVMS レジストリに保存する (「第 7.3.1 項, OpenVMS レジストリ内のサーバ構成パラメータ」を参照)。  セキュリティ・アカウント・データベース (SAM), 共有データベース, およびサーバ構成パラメータなどの Advanced Server のオンディスク構造を削除する	<input type="button" value="Return"/>  YES
Save clean up tools? [YES]	PWRK\$FIXACE および PWRK\$DELETEACE ツールを保存する  これらのツールを削除する	<input type="button" value="Return"/>  NO
Save a copy of NETBIOS.EXE? [YES]	必要な場合に, あとでリストアできるように, NETBIOS イメージと関連ファイルを保存する  NETBIOS イメージと関連ファイルを削除する	<input type="button" value="Return"/>  NO

### 7.3.1 OpenVMS レジストリ内のサーバ構成パラメータ

Advanced Server データ・ファイルを削除するかどうかを問い合わせるプロンプトが表示された場合には, 応答により, 次のような処理が行われます。

- YES と応答すると, データ・ファイル (インストール時に作成された Advanced Server ディレクトリ構造および関連するファイル) の削除に加えて, プロシージャはすべての既知の Advanced Server キーと値を OpenVMS レジストリから削除します。
- NO と応答すると, プロシージャは次のファイルを作成します。  
PWRK\$LANMAN:SYS\$REGISTRY.LIS  
このファイルには, Advanced Server を削除する前に OpenVMS レジストリにあったすべての Advanced Server パラメータのリストが含まれています。一旦 Advanced Server 製品が削除されると, PWRK\$REGUTL はもうレジストリ・パラメータの管理に使用することはできません。OpenVMS レジストリに残された Advanced Server パラメータを削除するには, OpenVMS レジストリ制御プログラム (REG\$CP.EXE) を使用します。削除するキーと値を決定するには, PWRK\$LANMAN:SYS\$REGISTRY.LIS ファイルを参照してください。

---

## 7.4 Advanced Server 削除プロセスの例

次は、Advanced Server ソフトウェアを削除するプロセスの例です。

The following product has been selected:

CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B                      Layered Product

Do you want to continue? [YES] YES

The following product will be removed from destination:

CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B                      DISK\$AXP0721:[VMS\$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%

Information about the use of the Advanced Server may have accumulated in data files.

Delete those files? [NO] YES

Some portions of Advanced Server may be useful even after Advanced Server is removed.

Save clean up tools? [YES] NO

If PCSI provided the image SYS\$COMMON:[SYSEXEC]NETBIOS.EXE and does not know of another product also using that image, then PCSI will remove that image. It is possible another program uses that image but PCSI does not know about it. This procedure can save the image so you can restore it in case it is needed. Several related files are also saved.

Save a copy of NETBIOS.EXE? [YES]

The OpenVMS Registry server is already started on this node.

Removing Advanced Server registry parameter and keys

Removing PWRK\$DEFAULT and PWRK\$GUEST OpenVMS accounts...

Saving Advanced Server for OpenVMS NETBIOS component...

Deleting Advanced Server data files...

Deassigning Advanced Server for OpenVMS logical names...

...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%

The following product has been removed:

CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B                      Layered Product



# A

---

## インストールおよびアップグレードのチェックリスト

表 A-1 に、Advanced Server をインストールおよび構成するために行う必要があるタスクを要約します。本書でタスクについて読み、それを行うときには、この表をコピーしてチェックリストとして使用することができます。

表 A-1 インストールおよびアップグレードのチェックリスト

<input type="checkbox"/>	1.	「第 1.8 節, インストールの準備」のチェックリストにある, 次のようなインストール前のタスクを行うことにより, インストールの準備を整える。
	a.	パーツ一覧を確認する。
	b.	必要なハードウェアが揃っていることを確認する。
	c.	SYSTEM アカウント (または同等のアカウント) にログインする。
	d.	システムに必要なソフトウェアがインストールされていることを確認する。
	e.	Advanced Server システムで, OpenVMS レジストリ・サービスが利用可能であることを確認する。
	f.	リリース・ノートを読む。
	g.	GBLPAGES, GBLSECTIONS, PROCSECTCNT, および SCSNODE というシステム・パラメータが正しく設定されていることを確認する。
	h.	システム・ディスクをバックアップする。
	i.	このソフトウェアをインストールするために必要なディスク領域があることを確認する。
	j.	キュー・マネージャが実行されていることを確認する。
	k.	タイム・ゾーン構成を確認する。
	l.	必要に応じて, DECnet (または DECnet-Plus) および TCP/IP が稼動していることを確認する。
	m.	システムに既存の OpenVMS サーバ・イメージおよびファイルがあるかどうかを確認する。
	n.	クラスタ上にインストールする場合は, OpenVMS Cluster 構成を確認する。
<input type="checkbox"/>	2.	インストール・プロシージャを起動し, インストール・プロンプトに答える。次のものがインストールできる。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 完全な Advanced Server</li> <li>• スタンドアロン License Server (Advanced Server のインストールを選択しない場合)</li> <li>• スタンドアロン外部認証ソフトウェア (Advanced Server のインストールを選択しない場合)</li> <li>• スタンドアロン License Server と外部認証ソフトウェアの両方 (Advanced Server のインストールを選択しない場合)</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	3.	構成プロシージャを起動し, 構成プロンプトに答える。
<input type="checkbox"/>	4.	インストール検証プロシージャを実行する (Advanced Server のインストール時に行わなかった場合)。
<input type="checkbox"/>	5.	サーバを起動する (Advanced Server のインストール時に起動しなかった場合)。
<input type="checkbox"/>	6.	Windows NT サーバ管理ツールをインストールする (オプション)。

---

## Advanced Server のインストールおよび構成の例

この付録では、Advanced Server がシステムに初めてインストールされる場合のインストールおよび構成プロシージャの例を示します。

---

### B.1 Advanced Server のインストール・プロシージャの例

次に、Advanced Server のインストール・ダイアログの例を示します。システム的环境により、インストール・ダイアログが少し異なります。

```
$ PRODUCT INSTALL ADVANCEDSERVERJA/SOURCE=DKA100:[000000]
```

The following product has been selected:

```
CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B          Layered Product
```

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B: Advanced Server for OpenVMS

Copyright 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Advanced Server is sold by Hewlett-Packard Development Company

Advanced Server requires PAK PWLMXXCA07.03 for each client.

This installation procedure requires that all the following conditions are satisfied:

1. This procedure is running on an Alpha processor.
2. The system is running OpenVMS 7.3-2 or later.
3. All required privileges are currently enabled.
4. No PATHWORKS or Advanced Server images are running on this node or anywhere in the cluster.
5. No files from a PATHWORKS (NetWare) kit are present on this system disk.
6. No files from any Pathworks or Advanced Server kit are in SYS\$SPECIFIC on this system disk.

This procedure checks if the conditions are satisfied.  
If they are satisfied, the procedure continues. If not,  
the procedure stops.

Do you want to continue? [YES]

Select one of the numbered options:

- 1 Install the complete Advanced Server [default]
- 2 Install only the License Server
- 3 Install only the external authentication images
- 4 Install both the License Server and the external authentication images

Option: [1]

A PCFS driver from a previous kit is currently loaded in memory on this node.

A PCI driver from a previous kit is currently loaded in memory on this node.

You must reboot this node before starting the product on this node.

Select an option:

- 1. Delay reboot as long as possible on all nodes. [default]
- 2. Prevent PWRK\$CONFIG configuration on any node using this system disk until after reboot.
- 3. Prevent PWRK\$CONFIG configuration on all nodes until after reboot.
- 4. Prevent startup on any node using this system disk until after reboot.
- 5. Prevent startup on all nodes until after reboot.

Option: [1]

User Accounts and User Identification Codes (UICs)

-----

The Advanced Server V7.3B for OpenVMS installation creates two OpenVMS accounts: a default account, PWRK\$DEFAULT, and a guest account, PWRK\$GUEST. The default UIC group number for both these new accounts depends on the following:

- o If you are installing the server for the first time, the default is the first unused UIC group number, starting with 360.
- o If a PCFS\$ACCOUNT already exists, the default is the UIC group number associated with PCFS\$ACCOUNT.
- o If a PWRK\$DEFAULT or PWRK\$GUEST account already exists, the default is the UIC group number associated with PWRK\$DEFAULT or PWRK\$GUEST, in preference to PCFS\$ACCOUNT. However, the default UIC group number will not be used to change the UIC of any existing accounts.

For more information about UIC group numbers, see the OpenVMS System Manager's Manual.

Enter default UIC group number for PWRK\$DEFAULT and PWRK\$GUEST

Group: [360]

Creating OpenVMS accounts for PWRK\$DEFAULT and PWRK\$GUEST

\* This product does not have any configuration options.

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B DISK\$ALPHAV82:[VMS\$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...70%...90%

To automatically start Advanced Server V7.3B for OpenVMS at system startup, you should add the following line to the SYS\$MANAGER:SYSTARTUP VMS.COM file.

\$ @SYS\$STARTUP:PWRK\$STARTUP



Note: Add this line after the lines that start all the network transports, such as TCP/IP.

To automatically stop Advanced Server V7.3B for OpenVMS at system shutdown, you should add the following line to the SYS\$MANAGER:SYSHUTDOWN.COM file.

```
$ @SYS$STARTUP:PWK$SHUTDOWN
```

Note: Add this line before the lines that stop any of the network transports, such as TCP/IP.

Before starting Advanced Server V7.3B for OpenVMS on this node, be sure to configure the product (@SYS\$UPDATE:PWK\$CONFIG) on each node in the cluster where the product will run...100%

The following product has been installed:

CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B            Layered Product

%PCSI-I-IVPEXECUTE, executing test procedure for CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3B ...

Copyright 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Starting Installation Verification Procedure  
for Advanced Server V7.3B for OpenVMS

%PWRK-I-NORMAL, IVP completed successfully

%PCSI-I-IVPSUCCESS, test procedure completed successfully

---

## B.2 Advanced Server 構成プロシージャの例

次に、Advanced Server の構成ダイアログの例を示します。

```
$ @SYS$UPDATE:PWK$CONFIG
```

Advanced Server V7.3B for OpenVMS Configuration Procedure

The Advanced Server stores and accesses the following types of data files:

- o Configuration parameter files
- o License Server data files
- o Log files
- o Printer spool files
- o Virtual memory section files

You can specify any existing OpenVMS disk device that has at least 150000 free blocks of disk space to store these data files.

Note: The server frequently accesses the data files stored on the disk. If these files are stored on the system disk, it can degrade the performance of both the OpenVMS system and the server. Therefore, HP recommends that you specify a disk other than the system disk.

Enter disk device name where the Advanced Server data files will be stored [SYS\$SYSDEVICE:]: return

Creating Advanced Server directory tree on SYS\$SYSDEVICE:..  
Checking to see if OpenVMS Registry Services are available..  
The OpenVMS Registry server is already started on this node.  
Populating OpenVMS Registry with required Advanced Server & NT  
parameters. Please wait. This may take one to two minutes..  
Required OpenVMS Registry file keys and values have been created.  
Creating Advanced Server directory tree...

Processing optional client files...

Do you want to install Windows client utilities, such as  
User Manager for Domains and Server Manager, which can be  
used to manage Advanced Server from a Windows client [N]?

If necessary, the Windows client utilities and PWUTIL share may be  
installed at any time by executing the command procedure:

\$ @SYS\$UPDATE:PWK\$PWUTIL.COM

The Advanced Server includes a copy of the Windows client  
software necessary to implement client-based licensing.  
If you have or plan to implement server-based licensing only,  
this software is not required on the Windows clients.

Do you want this server to share the client-based license software [N]?

If necessary, the client-based license software can be shared  
from this server at any time by executing the command procedure:

\$ @SYS\$UPDATE:PWK\$PWLIC.COM

Do you have PATHWORKS client license components installed on any client in  
your network. If not, do you wish to disable client-based license checks  
(enter ? for more information)? [Y]

Creating the Monitor user authorization file PWK\$COMMON:PWMONUAF.DAT ...

Changing the server configuration parameters will allow you to modify  
this server's client capacity and select the transports to be used.

GRUNT is currently configured to  
+ support 50 PC clients  
+ use the following transport(s): TCP/IP

If you want this server to be the primary domain controller, you should  
configure it to use all the transports used by the backup domain  
controllers and member servers in the domain.

If you want this server to be a backup domain controller or member server,  
you should configure it to have at least one transport in common with the  
domain's primary domain controller, otherwise this configuration will fail.

If you do not change the configuration parameters now, you may do so  
later by typing ADMIN/CONFIG.

Do you want to change the server configuration parameters now? [YES]:

```

***** Advanced Server Configuration for node GRUNT *****
* Options Help *
* *
* *Server's Client Capacity*****
* *
* * ( ) Maximize Client Capacity Using AUTOGEN/Reboot *
* * ( ) Maximize Client Capacity Without AUTOGEN or Reboot *
* * (*) User Supplied Client Capacity *
* *
* * Client Capacity: 50 *
* *****
*
* Percent of Physical Memory Used: 80
* Data Cache Size (Kbytes): 8192
*
* Maximum Concurrent Signons: 10
* OpenVMS Process Priority: 9
*
* *****
* * Verify * * Quit * * Advanced... * * Transports... *
* *****
*
* Test for supportable configuration *****

```

The OpenVMS Registry server is already started on this node.

Reading current configuration parameters ...

Your Advanced Server for OpenVMS is presently configured to run as follows:

1. Run the License Server:	NO
2. Enable Timesource service:	NO
3. Enable Alerter service:	YES
3a. Alert user names:	Administrator
4. Enable Netlogon service:	YES
5. Advanced Server domain:	LANGROUP
6. Advanced Server role:	PRIMARY
7. Advanced Server computer name:	GRUNT
7a. Advanced Server OpenVMS cluster alias:	GRUNT-ALIAS
8. Server announce comment:	Advanced Server V7.3B for OpenVMS
9. Advanced Server language:	English (USA)
10. Enable NT style printing:	NO

Enter item number, or RETURN to use these values [DONE]: 5

An Advanced Server domain is a collection of computers that share a common security database and policy. Each domain has a unique name. A network can have many domains.

The Advanced Server domain name can be up to 15 characters long. The domain name must be different than the computer name.

Enter Advanced Server domain name for this system [LANGROUP]: GRUNTDOM

Your Advanced Server for OpenVMS is presently configured to run as follows:

```

1. Run the License Server:          NO
2. Enable Timesource service:      NO
3. Enable Alerter service:         YES
3a. Alert user names:              Administrator
4. Enable Netlogon service:        YES
5. Advanced Server domain:         GRUNTDOM
6. Advanced Server role:           PRIMARY
7. Advanced Server computer name:  GRUNT
7a. Advanced Server OpenVMS cluster alias: GRUNT-ALIAS
8. Server announce comment:        Advanced Server V7.3B for OpenVMS
9. Advanced Server language:       English (USA)
10. Enable NT style printing:      NO

```

Enter item number, or RETURN to use these values [DONE]:

Saving parameters to the OpenVMS Registry...

Creating SAM datafiles...

Creating sharefile PWRK\$LMROOT:[LANMAN.DATAFILES]SHARED.B ...

New sharefile has been created.

ADMIN\$ added

IPC\$ added

The Advanced Server Administrator account is used to administer the server. The Administrator account is mapped by default to the OpenVMS SYSTEM account.

The Administrator account password can be up to 14 characters long and the case of the characters used will be preserved.

Enter Administrator account password:

Re-enter to verify password:

Changing password for Administrator account...

Setting character set information in databases as needed ...

Setting share database character set information ...

Setting ACL database character set information ...

Checking system resources...

The current system configuration for GRUNT will support 50 PC clients. The Advanced Server is configured to use DECnet, NetBEUI, TCP/IP.

To automatically start the Advanced Server V7.3B for OpenVMS at system startup, you should add the following line to the

SYSS\$MANAGER:SYSTARTUP\_VMS.COM file.

```
$ @SYSS$STARTUP:PWRK$STARTUP
```

Note: Add this line below the lines that start all network transports (such as TCP/IP).

```
Do you want to start the Advanced Server V7.3B on node GRUNT now [YES]: 
The file server will use DECnet, NetBEUI, TCP/IP.
Advanced Server mail notification will use DECnet.
Process NETBIOS created with identification 00000248
Process PWRK$NBDAEMON created with identification 0000024A
Process PWRK$KNBDAEMON created with identification 0000024C
Process PWRK$LICENSE_R created with identification 0000024E
Checking to see if the OpenVMS Registry Services are available...
The Advanced Server is configured to support 20 PC clients.
Process PWRK$MASTER created with identification 00000251
The master process will now start all other Advanced
Server processes.
$
```



---

## スタンドアロン License Server のインストールと構成の例

この付録では、OpenVMS Cluster におけるスタンドアロン License Server のインストールおよび構成プロシージャの例を示します。

---

### C.1 スタンドアロン License Server のインストール・プロシージャの例

次に、スタンドアロン License Server のインストール・ダイアログの例を示します。

```
$ PRODUCT INSTALL ADVANCEDSERVERJA 
```

The following product has been selected:

CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B                      Layered Product

Do you want to continue? [YES]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B: Advanced Server for OpenVMS

Copyright 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Advanced Server is sold by Hewlett-Packard Development Company

Advanced Server requires PAK PWLMXXXCA07.03 for each client.

This installation procedure requires that all the following conditions are satisfied:

1. This procedure is running on an Alpha processor.
2. The system is running OpenVMS 7.3-2 or later.
3. All required privileges are currently enabled.
4. No PATHWORKS or Advanced Server images are running on this node or anywhere in the cluster.
5. No files from a PATHWORKS (NetWare) kit are present on this system disk.
6. No files from any PATHWORKS or Advanced Server kit are in SYSS\$SPECIFIC on this system disk.

This procedure checks if the conditions are satisfied.

If they are satisfied, the procedure continues.

If not, the procedure stops.

```

Do you want to continue? [YES] 
Select one of the numbered options:
1.  Install the complete Advanced Server          [default]
2.  Install only the License Server
3.  Install only the external authentication images
4.  Install both the License Server and the
    external authentication images
Option: [1] 2 
This node does not have to be rebooted before starting this product.

Select an option:
1.  Delay reboot as long as possible on all nodes. [default]
2.  Prevent PWRK$CONFIG configuration on any node using this system
    disk until after reboot.
3.  Prevent PWRK$CONFIG configuration on all nodes until after reboot.
4.  Prevent startup on any node using this system disk until
    after reboot.
5.  Prevent startup on all nodes until after reboot.
Option: [1] 1 
* This product does not have any configuration options.

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
      CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B          DISK$ALPHAV82:[VMS$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%
...100%

The following product has been installed:
CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B          Layered Product

%PCSI-I-IVPEXECUTE, executing test procedure for CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B ...

Copyright 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Starting Installation Verification Procedure
for Advanced Server V7.3B for OpenVMS

%PWRK-I-NORMAL, IVP completed successfully
%PCSI-I-IVPSUCCESS, test procedure completed successfully

```

---

## C.2 スタンドアロン License Server の構成ダイアログの例

次に、スタンドアロン License Server の構成ダイアログの例を示します。

```

$ @SYS$UPDATE:PWRK$CONFIG
Advanced Server V7.3B for OpenVMS Configuration Procedure

The Advanced Server stores and accesses the following
types of data files:

o Configuration parameter files
o License Server data files
o Log files
o Printer spool files
o Virtual memory section files

```



You can specify any existing OpenVMS disk device that has at least 5000 free blocks of disk space to store these data files.

Note: The server frequently accesses the data files stored on the disk. If these files are stored on the system disk, it can degrade the performance of both the OpenVMS system and the server. Therefore, HP recommends that you specify a disk other than the system disk.

Press RETURN to continue:

If this OpenVMS Cluster has multiple system disks, make sure that all nodes on which you plan to run the Advanced Server:

- o Use the same disk device to store and access Advanced Server data files.
- o Share the same SYSUAF.DAT file. In each system disk's startup file, define a system logical name that points all nodes to the shared SYSUAF.DAT file. For example:

```
$ define/system/exec sysuaf pencil$dka300:[sys0.sysexe]sysuaf.dat
```

The startup file is called SYS\$MANAGER:SYSTARTUP\_VMS.COM

Enter disk device name where the Advanced Server data files will be stored [SYS\$SYSDEVICE:]:

Creating Advanced Server directory tree on SYS\$SYSDEVICE:...

%CREATE-I-EXISTS, PWRK\$COMMONROOT:[000000] already exists

The License Server can serve client-based licenses for Advanced Server clients over DECnet, NetBEUI, and TCP/IP. The Advanced Server need not be running for the License Server to operate.

Do you want to serve client-based licenses over DECnet [YES]:

Do you want to serve client-based licenses over NetBEUI [NO]: Y

Do you want to serve client-based licenses over TCP/IP [NO]: Y

Do you want to start the Advanced Server License Server now [YES]:

The License Server will use DECnet, NetBEUI, TCP/IP.

Process NETBIOS created with identification 2960012B

Process PWRK\$NBDAEMON created with identification 2960012D

Process PWRK\$KNBDAEMON created with identification 2960012F

Process PWRK\$LICENSE\_S created with identification 29600131

To automatically start the License Server at system startup, you should add the following line to the SYS\$MANAGER:SYSTARTUP\_VMS.COM file:

```
$ @SYS$STARTUP:PWRK$LICENSE_STARTUP
```

Note: Add this line below the lines that start all network transports (such as TCP/IP).

\$



---

## 外部認証ソフトウェアのインストールの例

次に、外部認証ソフトウェアのみをインストールする場合のインストール・ダイアログの例を示します。このインストールの後には、構成プロシージャ PWRK\$CONFIG は使用できないことに注意してください。使用しようとすると、例に示すようなメッセージが表示されます。

```
$ PRODUCT INSTALL ADVANCEDSERVERJA 
```

The following product has been selected:

```
CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B          Layered Product [Installed]
```

```
Do you want to continue? [YES] 
```

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

```
CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B: Advanced Server for OpenVMS
```

```
Copyright 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
```

```
Advanced Server is sold by Hewlett-Packard Development Company
```

```
Advanced Server requires PAK PwLMXXXCA07.03 for each client.
```

```
This installation procedure requires that all the following  
conditions are satisfied:
```

1. This procedure is running on an Alpha processor.
2. The system is running OpenVMS 7.3-2 or later.
3. All required privileges are currently enabled.
4. No PATHWORKS or Advanced Server images are running on this node or anywhere in the cluster.
5. No files from a PATHWORKS (NetWare) kit are present on this system disk.
6. No files from any PATHWORKS or Advanced Server kit are in SYS\$SPECIFIC on this system disk.

```
This procedure checks if the conditions are satisfied.
```

```
If they are satisfied, the procedure continues.
```

```
If not, the procedure stops.
```

```

Do you want to continue? [YES] 
Select one of the numbered options:
1.  Install the complete Advanced Server          [default]
2.  Install only the License Server
3.  Install only the external authentication images
4.  Install both the License Server and the
    external authentication images
Option: [1] 3 
A PWRK$STREAMSOS_V*.EXE executel from a previous kit is currently
loaded in memory on this node.
You must reboot this node before starting the product on this node.

Select an option:
1.  Delay reboot as long as possible on all nodes. [default]
2.  Prevent PWRK$CONFIG configuration on any node using this system
    disk until after reboot.
3.  Prevent PWRK$CONFIG configuration on all nodes until after reboot.
4.  Prevent startup on any node using this system disk until
    after reboot.
5.  Prevent startup on all nodes until after reboot.
Option: [1] 1 

* This product does not have any configuration options.

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
    CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B          DISK$ALPHAV82:[VMS$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%
...100%

The following product has been installed:
    CPQ AXPVMS ADVANCEDSERVERJA V7.3-B          Layered Product

%PCSI-I-IVPEXECUTE, executing test procedure for CPQ AXPVMS
ADVANCEDSERVERJA V7.3-B ...

Copyright 2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

    Starting Installation Verification Procedure
    for Advanced Server V7.3B for OpenVMS

%PWRK-I-NORMAL, IVP completed successfully
%PCSI-I-IVPSUCCESS, test procedure completed successfully

$
$ @SYS$UPDATE:PWRK$CONFIG 
%DCL-E-OPENIN, error opening SYS$SYSROOT:[SYSUPD]PWRK$CONFIG.COM; as
input
-RMS-E-FNF, file not found

```

## Advanced Server ファイルおよびオンディスク構造

この付録は次の節から構成されます。

- 第 E.1 節, Advanced Server ファイル
- 第 E.2 節, Advanced Server オンディスク構造

### E.1 Advanced Server ファイル

表 E-1 では、Advanced Server のインストール時に作成されるファイルを説明します。

表 E-1 Advanced Server 用にインストールされるファイル

ファイル	説明
DCPS\$EXAMPLES:	
PWRK\$BORDER.LUP <sup>5</sup>	ボーダがある場合の DECprint Supervisor プリント・レイアウト
PWRK\$NOBORDER.LUP <sup>5</sup>	ボーダがない場合の DECprint Supervisor プリント・レイアウト
PWRK\$REV_LANDSCAPE_BORDER.LUP <sup>5</sup>	Windows によるボーダがある場合の DECprint Supervisor プリント・レイアウト
PWRK\$REV_LANDSCAPE_NOBORDER.LUP <sup>5</sup>	Windows によるボーダがない場合の DECprint Supervisor プリント・レイアウト
SYS\$HELP:	
ASOVMS073B.RELEASE_NOTES	Advanced Server V7.3B for OpenVMS のリリース・ノート
AS\$HLP.HLB <sup>1, 5</sup>	Advanced Server のシステム・ダンプ・アナライザ (SDA) のヘルプ・ファイル (AS\$SDA.EXE に関連付けられ、SDA 内で AS HELP コマンドによって起動される)
CS\$HLP.HLB <sup>1, 5</sup>	共通サービスのシステム・ダンプ・アナライザ (SDA) のヘルプ・ファイル (CS\$SDA.EXE に関連付けられ、SDA 内で CS HELP コマンドによって起動される)

<sup>1</sup>このファイルは、サポートされていないユーティリティまたはコマンド・プロシージャである (またはそれに関連づけられている)。

<sup>5</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストールのほかに、スタンドアロン License Server ソフトウェアのインストールでもインストールされる。

(次ページに続く)

表 E-1 (続き) Advanced Server 用にインストールされるファイル

ファイル	説明
SYS\$HELP:	
PCDISKHLP.HLB <sup>5</sup>	DOS File Maintenance ユーティリティのヘルプ・ライブラリ
PWRK\$ADMIN_CFG.HLB	構成マネージャのヘルプ・ライブラリ
PWRK\$ADMIN_LIC.HLB <sup>5</sup>	ライセンス・マネージャのヘルプ・ライブラリ
PWRK\$MANAGER.HLB	ADMINISTER コマンドのヘルプ・ライブラリ
PWRK\$PVMONITOR.HLB <sup>1, 5</sup>	ホスト・ベースのモニタリング・ユーティリティである PWRK\$PVMON のヘルプ・ファイル (PWRK\$PVMON 内で PVMON HELP コマンドにより起動される)
PWRK\$SHOWINI.HLB <sup>1</sup>	PWRK\$SHOWINI.EXE 用のヘルプ・ファイル
STREAMS\$HLP.HLB <sup>1, 5</sup>	ストリーム (プロトコル層) 分析のためのシステム・ダンプ・アナライザ (SDA) のヘルプ・ファイル (STREAMS\$SDA.EXE に関連付けられ、SDA 内で STREAMS HELP コマンドにより起動される)
SYS\$LIBRARY:	
AS\$SDA.EXE <sup>1, 5</sup>	Advanced Server システムおよびダンプの分析のためのシステム・ダンプ・アナライザ (SDA) の拡張機能
CS\$SDA.EXE <sup>1, 5</sup>	共通サービス・ダンプの分析のためのシステム・ダンプ・アナライザ (SDA) の拡張機能
NETBIOSHR.EXE <sup>5</sup>	NetBIOS for DECnet の共有可能イメージ
PCDISKSHR.EXE <sup>5</sup>	DOS File Maintenance ユーティリティの共有可能イメージ
PCSA_MAILSHR.EXE <sup>5</sup>	メール通知の共有可能イメージ
PWRK\$ACME_MODULE_ALPHA.EXE <sup>4</sup>	外部認証の Alpha イメージ
PWRK\$ACME_MODULE_VAX.EXE <sup>4</sup>	外部認証の VAX イメージ
PWRK\$CMTLIBSHR.EXE <sup>1, 3, 5</sup>	コンフィギュレータ, モニタ, およびチューナの共有可能ライブラリ (監視データは PWRK\$PVMON で収集され表示される)
PWRK\$CMT_LM.EXE <sup>1, 3</sup>	コンフィギュレータ, モニタ, およびチューナへの Advanced Server インタフェース (監視データは PWRK\$PVMON で収集され表示される)
PWRK\$CMTSHR.EXE <sup>1, 3, 5</sup>	コンフィギュレータ, モニタ, およびチューナの共有可能イメージ (監視データは PWRK\$PVMON で収集され表示される)
PWRK\$CSSHR_V7.EXE	共通サービスの共有可能イメージ
PWRK\$DEVCTL_DL1100.TLB <sup>5</sup>	DEClaser 1100 デバイス制御ライブラリ

<sup>1</sup>このファイルは、サポートされていないユーティリティまたはコマンド・プロシージャである (またはそれに関連づけられている)。

<sup>3</sup>このファイルは、サポートされていないユーティリティであり、Advanced Server for OpenVMS とはもう互換性がない。

<sup>4</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストールのほかに、スタンドアロン外部認証ソフトウェアのインストールでもインストールされる。

<sup>5</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストールのほかに、スタンドアロン License Server ソフトウェアのインストールでもインストールされる。

(次ページに続く)

表 E-1 (続き) Advanced Server 用にインストールされるファイル

ファイル	説明
SYS\$LIBRARY:	
PWRK\$DEVCTL_DL2100.TLB <sup>5</sup>	DEClaser 2100 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_DL2100P.TLB <sup>5</sup>	DEClaser 2100P デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_DL2200.TLB <sup>5</sup>	DEClaser 2200 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_DL2200P.TLB <sup>5</sup>	DEClaser 2200P デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_DL3200.TLB <sup>5</sup>	DEClaser 3200 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_FX1050.TLB <sup>5</sup>	FX1050 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_FX850.TLB <sup>5</sup>	FX850 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_GENERIC.TLB <sup>5</sup>	汎用デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_HP_LASERJET.TLB <sup>5</sup>	HP LaserJet デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LA50.TLB <sup>5</sup>	LA50 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LA51.TLB <sup>5</sup>	LA51 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LA70.TLB <sup>5</sup>	LA70 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LA75.TLB <sup>5</sup>	LA75 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LA75P.TLB <sup>5</sup>	LA75P デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LA210.TLB <sup>5</sup>	LA210 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LA324.TLB <sup>5</sup>	LA324 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LG01.TLB <sup>5</sup>	LG01 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LG02.TLB <sup>5</sup>	LG02 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LG06.TLB <sup>5</sup>	LG06 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LG31.TLB <sup>5</sup>	LG31 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LJ250.TLB <sup>5</sup>	LJ250 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LN03.TLB <sup>5</sup>	LN03 デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LN03P.TLB <sup>5</sup>	LN03 PLUS デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_LN03R.TLB <sup>5</sup>	LN03R デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_PROPRINTER.TLB <sup>5</sup>	Proprinter デバイス制御ライブラリ
PWRK\$DEVCTL_SILENTWRITER.TLB <sup>5</sup>	SilentWriter デバイス制御ライブラリ
PWRK\$FSLIB_ODS2.EXE <sup>5</sup>	ODS2/ODS5 アドオン・ライブラリ
PWRK\$LICENSE_LIBSHR.EXE <sup>5</sup>	ライセンス共有可能ライブラリ
PWRK\$LICENSE_MGMTSHR.EXE <sup>5</sup>	ライセンス管理共有可能イメージ
PWRK\$LMAPISHR.EXE <sup>5</sup>	Advanced Server 共有可能イメージ
PWRK\$LMRPCAPISHR.EXE <sup>5</sup>	Advanced Server 共有可能イメージ
PWRK\$LMRPCSHR.EXE <sup>5</sup>	Advanced Server 共有可能イメージ
PWRK\$LMRPCXNPISHR.EXE	Advanced Server 共有可能イメージ
PWRK\$LMTASKSHR.EXE <sup>5</sup>	Advanced Server 共有可能イメージ
PWRK\$MGTLIBSHR.EXE <sup>5</sup>	Advanced Server 共有可能イメージ

<sup>5</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストールのほかに、スタンドアロン License Server ソフトウェアのインストールでもインストールされる。

(次ページに続く)

表 E-1 (続き) Advanced Server 用にインストールされるファイル

ファイル	説明
SYS\$LIBRARY:	
PWRK\$MSV1_0_ACMESHR.EXE <sup>4</sup>	外部認証サポート・ライブラリ
PWRK\$NBLIB_DECNET.EXE	DECnet に対する Advanced Server ネットワーク・インタフェース
PWRK\$NBLIB_NETBEUI.EXE	NetBEUI に対する Advanced Server ネットワーク・インタフェース
PWRK\$NBLIB_TCPIP.EXE	TCP/IP に対する Advanced Server ネットワーク・インタフェース
PWRK\$PCMSHR.EXE <sup>5</sup>	キャッシュ・マネージャ共有可能イメージ
PWRK\$PRINTER_INFORMATION.DAT <sup>5</sup>	プリンタ情報ファイル
PWRK\$SDA.EXE <sup>1, 5</sup>	下位互換性のための、システムおよびダンプの分析のためのシステム・ダンプ・アナライザ (SDA) の拡張 (AS\$SDA.EXE, CS\$SDA.EXE, および STREAMS\$SDA.EXE で置き換えられる)
PWRK\$SDA_V1.EXE <sup>1, 5</sup>	システム・ダンプ・アナライザのオリジナルの拡張
PWRK\$STREAMSSHR_V7.EXE <sup>5</sup>	ストリーム (プロトコル層) 共有可能イメージ
PWRK\$WHAT_TO_INSTALL.TXT	インストール・オプションのメニューを表示するためにインストール・プロシージャが使用するテキスト・ファイル
PWRK\$WINLIBSHR.EXE <sup>5</sup>	Advanced Server キャラクタセル・ユーザ・インタフェースの共有可能イメージ
PWRK\$XTILIBSHR.EXE <sup>5</sup>	X/Open Transport Interface 共有可能ライブラリ
PWRK\$XTINETBIOSSHR.EXE <sup>5</sup>	NetBIOS 用の X/Open Transport Interface 共有可能イメージ
PWRK\$XTINSPNBshr.EXE <sup>5</sup>	DECnet 用の X/Open Transport Interface 共有可能イメージ
STREAMS\$SDA.EXE <sup>1, 5</sup>	ストリーム (プロトコル層) のロード可能イメージの分析のためのシステム・ダンプ・アナライザ
SYS\$LOADABLE_IMAGES:	
PCFSDRIVERDEF.STB <sup>5</sup>	PCFSDRIVER のためのデータ構造定義
PWRK\$STREAMSOS_V7.EXE <sup>5</sup>	ストリーム (プロトコル層) システムのロード可能イメージ
PWRK\$STREAMSOS_V7.STB <sup>5</sup>	PWRK\$STREAMSOS_V7.EXE用シンボル・テーブル (プロトコル層)
SYS\$PCFSDRIVER_V7.EXE <sup>5</sup>	DECnet I/O およびダブル・マッピング・ドライバ
SYS\$PCFSDRIVER_V7.STB <sup>5</sup>	SYS\$PCFSDRIVER_V7.EXE用シンボル・テーブル
SYS\$PCIDRIVER_V7.EXE <sup>5</sup>	Cluster Interconnect I/O ドライバ

<sup>1</sup>このファイルは、サポートされていないユーティリティまたはコマンド・プロシージャである (またはそれに関連づけられている)。

<sup>4</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストールのほかに、スタンドアロン外部認証ソフトウェアのインストールでもインストールされる。

<sup>5</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストールのほかに、スタンドアロン License Server ソフトウェアのインストールでもインストールされる。

(次ページに続く)



表 E-1 (続き) Advanced Server 用にインストールされるファイル

ファイル	説明
SYS\$LOADABLE_IMAGES:	
SYS\$PCIDRIVER_V7.STB <sup>5</sup>	SYS\$PCIDRIVER_V7.EXE用シンボル・テーブル
SYS\$MANAGER:	
PWRK\$DEFINE_COMMANDS.COM <sup>1, 5</sup>	Advanced Server ユーティリティを実行するコマンド用にシンボルを定義するコマンド・プロシージャ
PWRK\$SHOWSYS.COM <sup>5</sup>	ファイル・サーバ・プロセスの状態を示すコマンド・プロシージャ
SYS\$MESSAGE:	
PWRK\$MSG.EXE <sup>5</sup>	日本語 Advanced Server for OpenVMS メッセージ・ファイル
SYS\$STARTUP:	
PCSA\$MAIL_STARTUP.COM <sup>5</sup>	TCP/IP クライアントが PATHWORKS メール・サーバを起動するための PCSAMAIL コマンド
PWRK\$ACME_STARTUP.COM <sup>4</sup>	外部認証スタートアップ・ファイル
PWRK\$CHECK_PARAMS.COM <sup>5</sup>	システム・リソースを確認するコマンド・プロシージャ
PWRK\$COMMON_LOGICALS.COM <sup>5</sup>	共通の論理名を定義するコマンド・プロシージャ
PWRK\$COMMON_SHUTDOWN.COM <sup>5</sup>	共通シャットダウン・コマンド・プロシージャ
PWRK\$COMMON_STARTUP.COM <sup>5</sup>	共通スタートアップ・コマンド・プロシージャ
PWRK\$GATHER_INFO.COM	レポートに関する問題について情報をセーブ・セットに収集するコマンド・プロシージャ
PWRK\$IS_REBOOT_NEEDED.COM	インストレーション時に呼び出され、リブートが必要かどうかを判断するコマンド・プロシージャ
PWRK\$LICENSE_R_START.COM <sup>5</sup>	License Registrar のスタートアップ
PWRK\$LICENSE_S_START.COM <sup>5</sup>	License Server のスタートアップ
PWRK\$LICENSE_SHUTDOWN.COM <sup>5</sup>	License Server のシャットダウン・コマンド・プロシージャ
PWRK\$LICENSE_STARTUP.COM <sup>5</sup>	License Server スタートアップ・コマンド・プロシージャ
PWRK\$LMBROWSER_START.COM	ブラウザ・スタートアップ・ファイル
PWRK\$LMMCP_START.COM	Advanced Server コントローラを実行するコマンド・プロシージャ
PWRK\$LMSRV_START.COM	Advanced Server を実行するコマンド・プロシージャ

<sup>1</sup>このファイルは、サポートされていないユーティリティまたはコマンド・プロシージャである (またはそれに関連づけられている)。

<sup>4</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストレーションのほかに、スタンドアロン外部認証ソフトウェアのインストレーションでもインストールされる。

<sup>5</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストレーションのほかに、スタンドアロン License Server ソフトウェアのインストレーションでもインストールされる。

(次ページに続く)

表 E-1 (続き) Advanced Server 用にインストールされるファイル

ファイル	説明
SYS\$STARTUP:	
PWRK\$LOGICALS.COM <sup>5</sup>	論理名を定義するコマンド・プロシージャ
PWRK\$PCSA_SHUTDOWN.COM	PATHWORKS for VMS V4.x シャットダウン・コマンド・プロシージャ
PWRK\$SHUTDOWN.COM <sup>5</sup>	シャットダウン・コマンド・プロシージャ
PWRK\$STARTUP.COM <sup>5</sup>	スタートアップ・コマンド・プロシージャ
SYS\$I18n.LOCALES.SYSTEM	
PWRK\$ISO8859-1-EURO.LOCALE	ISO8859-1-EURO 文字セット用のロケール・ファイル
PWRK\$ISO8859-1.LOCALE	ISO8859-1 文字セット用のロケール・ファイル (デフォルト)
PWRK\$ISO8859-2.LOCALE	ISO8859-2 文字セット用のロケール・ファイル
PWRK\$ISO8859-5.LOCALE	ISO8859-5 文字セット用のロケール・ファイル
PWRK\$ISO8859-7.LOCALE	ISO8859-7 文字セット用のロケール・ファイル
PWRK\$ISO8859-8.LOCALE	ISO8859-8 文字セット用のロケール・ファイル
PWRK\$ISO8859-9.LOCALE	ISO8859-9 文字セット用のロケール・ファイル
SYS\$SYSTEM:	
PWRK\$FIXMEMSRV.EXE	メンバ・サーバの役割用のサポート・イメージ
NETBIOS.EXE <sup>5</sup>	DECnet 用の NetBIOS
PCDISK.EXE <sup>5</sup>	DOS File Maintenance ユーティリティ
PCSA\$MAIL_SERVER.EXE <sup>5</sup>	PATHWORKS クライアント・メール・サーバ
PCSA_CLAIM_NAME.EXE <sup>5</sup>	PCSA クレーム・ネーム・ユーティリティ
PCX\$SERVER.COM	PC DECwindows X server (eXcursion) を起動するコマンド・プロシージャ
PWRK\$ACLADM.EXE	サーバ構成ツール
PWRK\$ADMIN.COM	Remote Net Admin コマンド・プロシージャ
PWRK\$ADMIN_CFG.EXE	構成マネージャ・ユーティリティ
PWRK\$ADMIN_LIC.EXE <sup>5</sup>	ライセンス・マネージャ・ユーティリティ
PWRK\$BANNER.EXE	システム情報を収集し、それをログ・ファイルの先頭に挿入するユーティリティ
PWRK\$BLOBADM.EXE	サーバ構成ツール
PWRK\$CHACL.EXE	サーバ構成ツール
PWRK\$CHDOMAIN.EXE	サーバ構成ツール

<sup>5</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストールのほかに、スタンドアロン License Server ソフトウェアのインストールでもインストールされる。

(次ページに続く)

表 E-1 (続き) Advanced Server 用にインストールされるファイル

ファイル	説明
SYS\$SYSTEM:	
PWRK\$CHGROUPEXEXE <sup>1</sup>	Advanced Server グループ・データベースを管理する スタンドアロン・ユーティリティ
PWRK\$CHUSEREXEXE <sup>1</sup>	Advanced Server ユーザ・アカウント・データベース を管理するスタンドアロン・ユーティリティ
PWRK\$CNVTOHFS.EXE <sup>5</sup>	ODS-5 ファイル名変換ユーティリティ
PWRK\$DELETEACE.EXE <sup>5</sup>	File ACE 削除ユーティリティ
PWRK\$FIXACE.EXE <sup>5</sup>	File ACE 修復ユーティリティ
PWRK\$ELFREADEXEXE	イベント・ログ・ファイル・リーダ・ユーティリティ
PWRK\$EVTREPORT.EXE <sup>5</sup>	イベント・ロガー・レポート・ジェネレータ
PWRK\$GETROLE.EXE	サーバ構成ツール
PWRK\$KNBDAEMON.EXE <sup>5</sup>	TCP/IP 用のカーネル NETBIOS デモン・プロセス
PWRK\$LICENSE_REGISTRAR.EXE <sup>5</sup>	License Registrar
PWRK\$LICENSE_SERVER.EXE <sup>5</sup>	License Server
PWRK\$LMBROWSER.EXE	Advanced Server ブラウザ・イメージ
PWRK\$LMECHO.EXE <sup>1</sup>	デバッグ・ユーティリティ
PWRK\$LMMCP.EXE	Advanced Server コントローラ
PWRK\$LMSHARE.EXE <sup>1</sup>	Advanced Server 共有データベースを管理するスタン ドアロン・ユーティリティ
PWRK\$LMSRV.EXE	Advanced Server 実行可能ファイル
PWRK\$LMSTAT.EXE <sup>1</sup>	デバッグ・ユーティリティ
PWRK\$LOADSTREAMS_V7.EXE <sup>5</sup>	ストリーム(プロトコル層)システムのロード可能イメ ージ用ローダ
PWRK\$LR_SHOW_USAGE.EXE <sup>1, 5</sup>	ライセンス・カウント・ユニット・ユーティリティ
PWRK\$LSACL.EXE <sup>1</sup>	デバッグ・ユーティリティ
PWRK\$MAKEMACHEXEXE	サーバ構成ツール
PWRK\$MANAGER.EXE <sup>5</sup>	ADMIN ユーティリティ
PWRK\$MAPUNAME.EXE <sup>1</sup>	デバッグ・ユーティリティ
PWRK\$MASTER.EXE <sup>1</sup>	マスタ・プロセスおよびイベント・ロガー
PWRK\$MODAL.EXE <sup>1</sup>	Advanced Server モダル・データベースを管理するス タンドアロン・ユーティリティ
PWRK\$MONITOR.EXE <sup>1, 3, 5</sup>	PATHWORKS モニタ・ユーティリティ (日本語 Advanced Server for OpenVMS の最新バージョンで は使用できない。PWRK\$PWMON で置き換えられ た)
PWRK\$NBDAEMON.EXE <sup>5</sup>	NetBEUI 用の NetBIOS デモン・プロセス

<sup>1</sup>このファイルは、サポートされていないユーティリティまたはコマンド・プロシージャである (またはそれに関連づけられている)。

<sup>3</sup>このファイルは、サポートされていないユーティリティであり、Advanced Server for OpenVMS とはもう互換性がない。

<sup>5</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストールのほかに、スタンドアロン License Server ソフトウェアのインストールでもインストールされる。

(次ページに続く)

表 E-1 (続き) Advanced Server 用にインストールされるファイル

ファイル	説明
SYS\$SYSTEM:	
PWRK\$NBSHOW.EXE <sup>1, 5</sup>	NetBEUI 状態表示ユーティリティ
PWRK\$NETEVENT.EXE <sup>1</sup>	デバッグ・ユーティリティ
PWRK\$PWMON.EXE <sup>1, 5</sup>	ホスト・ベースのモニタ・ユーティリティ
PWRK\$REGUTL.EXE <sup>5</sup>	レジストリ・パラメータ管理ユーティリティ
PWRK\$RMACL.EXE	サーバ構成ツール
PWRK\$SAMCHECK.EXE	サーバ構成ツール
PWRK\$SETSHO.EXE <sup>5</sup>	Set/Show Parameters ユーティリティ
PWRK\$SHOWINI.EXE <sup>1</sup>	サーバ構成パラメータを表示するユーティリティ
PWRK\$SHOWQUOTA.EXE <sup>5</sup>	Show Disk Quota ユーティリティ
PWRK\$SRVCONFIG.EXE <sup>1</sup>	デバッグ・ユーティリティ
PWRK\$START.EXE <sup>5</sup>	独立マスタ・プロセスおよびその他のプロセスを起動するユーティリティ
PWRK\$START_PRINTERS.EXE	プリンタ・キューおよびプリンタの出力先を起動するユーティリティ
PWRK\$STARTSVC.EXE <sup>1</sup>	デバッグ・ユーティリティ
PWRK\$STOP.EXE <sup>5</sup>	サーバ・プロセスを終了するユーティリティ
PWRK\$VAPFADM.EXE	サーバ構成ツール
PWRK\$VERIFY.EXE <sup>5</sup>	構成パラメータを確認するユーティリティ
SYS\$TEST:	
PWRK\$PCSI_IVP.COM	インストール検証プロシージャ (IVP)
PWRK\$PCSI_IVP.DAT	インストール検証プロシージャのデータ・ファイル
SYS\$UPDATE:	
PWRK\$COMMANDS.CLD <sup>5</sup>	サーバ・コマンド行の定義
PWRK\$COMMON.SAV <sup>2, 5</sup>	初期のサーバ・ディレクトリ・ツリーのためのバックアップ・セーブセット
PWRK\$COMMON_CONFIG.COM <sup>5</sup>	共通の構成コマンド・プロシージャ
PWRK\$CONFIG.COM <sup>5</sup>	ワンタイム構成コマンド・プロシージャ
PWRK\$DEFINE_FORMS.COM <sup>2, 5</sup>	プリンタ・フォームを定義するコマンド・プロシージャ

<sup>1</sup>このファイルは、サポートされていないユーティリティまたはコマンド・プロシージャである (またはそれに関連づけられている)。

<sup>2</sup>このファイルは、サーバの構成後削除される。

<sup>5</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストールのほかに、スタンドアロン License Server ソフトウェアのインストールでもインストールされる。

(次ページに続く)

表 E-1 (続き) Advanced Server 用にインストールされるファイル

ファイル	説明
SYS\$UPDATE:	
PWRK\$DEINSTAL.COM	Advanced Server 削除コマンド・プロシージャ (サーバが PCSI でインストールされている場合は、PRODUCT REMOVE コマンドを使用してサーバをアンインストールする)
PWRK\$GETPARAM.COM <sup>5</sup>	PWRK.INI からパラメータを取得するコマンド・プロシージャ
PWRK\$INSTALL_COMMANDS.COM <sup>5</sup>	Advanced Server DCL コマンドをインストールするコマンド・プロシージャ
PWRK\$LANMAN.SAV <sup>2, 5</sup>	Advanced Server の初期ディレクトリ・ツリーのための BACKUP セーブセット
PWRK\$LICENSE_CONFIG.COM <sup>5</sup>	License Server の構成コマンド・プロシージャ
PWRK\$LICENSE.SAV	PATHWORKS クライアント・ライセンシング・ソフトウェア BACKUP セーブセット
PWRK\$LMCONFIG.COM	Advanced Server の初期ディレクトリ・ツリーをセットアップするコマンド・プロシージャ
PWRK\$MIGRATE_INI.COM <sup>5</sup>	LANMAN.INI パラメータを OpenVMS レジストリに移行するコマンド・プロシージャ
PWRK\$PCSI_CHECK_SYS\$SPECIFIC.COM	SYS\$SPECIFIC にインストール前には削除しなければならないファイルまたはイメージがあるかどうかを検出するコマンド・プロシージャ
PWRK\$PCSI_CLEANUP_SYS\$SPECIFIC.COM	SYS\$SPECIFIC 内の古いサーバ・イメージを削除するために、インストールおよびアンインストール・プロシージャで呼び出されるコマンド・プロシージャ
PWRK\$PCSI_REMOVE_MASTER.COM	Advanced Server のファイルおよびイメージを削除するためのアンインストール・コマンド・プロシージャ
PWRK\$PWUTIL.SAV <sup>2</sup>	PATHWORKS クライアント・ベースのユーティリティ用の BACKUP セーブセット
PWRK\$RESTORE_NETBIOS.COM	サーバのアンインストール後に NETBIOS イメージを保存するコマンド・プロシージャ
PWRK\$SETINI.COM <sup>5</sup>	サーバ構成パラメータを更新するコマンド・プロシージャ
PWRK\$SETPARAM.COM <sup>5</sup>	PWRK.INI にパラメータを設定するコマンド・プロシージャ
PWRK\$VERSIONS.COM <sup>5</sup>	サーバ・イメージのバージョンを表示するコマンド・プロシージャ

<sup>2</sup>このファイルは、サーバの構成後削除される。

<sup>5</sup>このファイルは、完全なサーバ・インストールのほかに、スタンドアロン License Server ソフトウェアのインストールでもインストールされる。

---

## E.2 Advanced Server オンディスク構造

図 E-1 は、Advanced Server オンディスク構造を示します。従属構造の一部のみが示されていることに注意してください。

図 E-1 オンディスク構造図

```
pwrk$commonroot, pwrk$lmroot
├-datafiles
├-lanman
│  ├──accounts
│  ├──datafiles
│  ├──debug
│  ├──domains
│  ├──logs
│  ├──repl
│  ├──samsave
│  ├──shares
│  └-upgrade
├-license
├-logs
├-params
├-perfdata
├-print
├-section
├-spool
└-temp
```

VM-0229A-AI

## Advanced Server 論理名

表 F-1 では、Advanced Server を構成し、起動したときに作成される論理名を説明します。

表 F-1 Advanced Server 論理名

論理名	説明
NETBIOS\$DEVICE	DECnet デバイス用に使用する — この論理名は、インストール時には定義されない。これは、一定の状況下でネットワーク・アダプタを定義するために使用される (詳細については、「第 3.11 節, Advanced Server のネットワーク・アダプタ」を参照)。
PWRK\$ACME_SERVER	Advanced Server ソフトウェアを実行しておらず、共有クラスター・ディスクを使用して外部認証ソフトウェアにアクセスしない OpenVMS Cluster メンバ上で、そのメンバのために外部認証要求を処理するために指定する OpenVMS Advanced Server クラスター・メンバを定義する。この論理名は、インストール時には定義されない (詳細については、「第 5.7.1 項, OpenVMS Cluster における外部認証のセットアップ」を参照)。
PWRK\$ACME_DEFAULT_DOMAIN	外部認証を使用するユーザのためにデフォルトのドメインを定義する。この論理名は、インストール時には定義されない (詳細については、『HP Advanced Server for OpenVMS Server Administrator's Guide』を参照)
PWRK\$ADDON_LIBRARY	ファイル・システムの共有可能イメージの位置
PWRK\$COMMON	Advanced Server の最上位ディレクトリ
PWRK\$COMMONROOT <sup>1</sup>	Advanced Server 共通ディレクトリ・ツリーのルート・ディレクトリ
PWRK\$DATAFILES	1 バイト文字コード・ページの変換マッピング・データ
PWRK\$KNBDAEMON_DEVICE	TCP/IP デバイス用に使用される。この論理名は、インストール時には定義されない。これは、一定の状況下でネットワーク・アダプタを定義するために使用される (詳細については、「第 3.11 節, Advanced Server のネットワーク・アダプタ」を参照)。
PWRK\$LANMAN	Advanced Server 領域
PWRK\$LANMAN_STARTED	PATHWORKS Advanced Server が起動されているかどうかを示す
PWRK\$LICENSE	ライセンス領域
PWRK\$LMDATAFILES	Advanced Server のデータ・ファイル領域
PWRK\$LMDEBUG	トレース・ファイルが書き込まれる領域
PWRK\$LMDOMAINS	Advanced Server ドメイン・データベース領域
PWRK\$LMLOGS	Advanced Server ログ・ファイル領域

<sup>1</sup>この論理名は、ディレクトリと一緒に指定する必要がある。

(次ページに続く)

表 F-1 (続き) Advanced Server 論理名

論理名	説明
PWRK\$LMROOT <sup>1</sup>	Advanced Server ディレクトリ・ツリーのルート・ディレクトリ
PWRK\$LMMSGFILES	Advanced Server メッセージ・ファイル
PWRK\$LMUPGRADE	Advanced Server アップグレード領域
PWRK\$LMREPLEXPORT	レプリケーション・ファイル領域のエクスポート
PWRK\$LMREPLIMPORT	レプリケーション・ファイル領域のインポート
PWRK\$LMSAMSAVE	SAM データベース・バックアップ領域
PWRK\$LMSAMSAVEX	SAM データベース・バックアップ領域
PWRK\$LOADSTREAMS	LoadStreams イメージ用論理名
PWRK\$LOGS	共通ログ・ファイル領域
PWRK\$LR_DISABLE_CLIENT_PING	License Registrar がクライアント・ベースのライセンスをチェックするか、あるいは、直ちにサーバ・ベースのライセンスを割り当てようとするかを定義する。詳細については、『HP Advanced Server for OpenVMS Guide to Managing Advanced Server Licenses』を参照。
PWRK\$LR_LICENSE_REPORT_INTERVAL	サーバ・ベースのライセンスについて報告する間隔を License Registrar ログ・ファイルに生成するかどうかを決定する。デフォルトでは、これらの報告は生成されない。
PWRK\$LR_LOG_SERVERBASED_ACTIVITY	サーバ・ベースのライセンスに関連するイベントをログに記録するかどうかを決定する。
PWRK\$LS_V7_ACCESS_UPGRADE	PATHWORKS V5 for OpenVMS (LAN Manager) クライアント・ライセンス要求のアップグレードを可能にするために License Server スタートアップ・ファイルに含める。
PWRK\$NETBEUI_DEVICE	NetBEUI デバイス用に使用される。この論理名は、インストール時には定義されない。これは、一定の状況下でネットワーク・アダプタを定義するために使用される (詳細については、「第 3.11 節, Advanced Server のネットワーク・アダプタ」を参照)。
PWRK\$PARAMS	パラメータ領域
PWRK\$PCFSDRIVER	PCFS ドライバ
PWRK\$PCIDRIVER	PCI ドライバ
PWRK\$PERFDATA	Advanced Server モニタ・パフォーマンス・データ・ディレクトリ
PWRK\$PRINT	Advanced Server プリンタ・データベース・ディレクトリ
PWRK\$SAMSAVE	SAMCHECK データ領域
PWRK\$SAMSAVEX	SAMCHECK データ領域
PWRK\$SHARED_IMAGES	共有イメージがロードされているかどうかを示す
PWRK\$SECTION	セクション・ファイル領域
PWRK\$SPOOL	スプール領域
PWRK\$TEMP	Advanced Server 一時領域
PWRK\$VERSION	Advanced Server のバージョン

<sup>1</sup>この論理名は、ディレクトリと一緒に指定する必要がある。



## A

ADMIN/CONFIG	
構成マネージャを参照	
Administrator アカウント	
メンバ・サーバ	3-14
Administrator アカウントのパスワード	
設定	3-14
メンバ・サーバ用	3-14
Advanced Server	
NETBIOS イメージ, 削除	7-2
SYS\$SPECIFIC: で検出されたファイル	2-12
オンディスク構造	E-10
起動	5-2
クラスタ・エイリアス	3-12
構成時の起動	3-15
削除プロシージャの例	7-5
サンプルのインストレーションと構成	B-1
スタートアップ	5-3
停止	5-6
ファイル	E-1
役割	3-11, 3-19
構成	3-20
変更	3-21
ユーザ・アカウント, 削除	7-2
論理名	F-1
論理名, 割り当て解除	7-2
Advanced Server イメージ	
状態の確認	1-18
Advanced Server ディスク	
変更	3-5
Alerter サービス	
説明	3-11

## B

BACKUP コマンド	1-15
-------------	------

## D

DCPS	
DECprint Supervisor (DCPS) ソフトウェアを参照	
DECnet	
確認	1-17
起動	1-17
DECnet-Plus	
確認	1-17

DECnet-Plus (続き)	
起動	1-17
DECnet オブジェクト	
削除	7-2
DECnet トランスポート	1-8
構成中の実行	1-17
状態の確認	1-17
DECprint Supervisor ソフトウェア	1-4
DNS	
使用するための構成	6-8
セットアップ	6-8

## G

GBLPAGES パラメータ	
確認と定義	1-12
GBLSECTIONS パラメータ	
確認と定義	1-13

## I

IVP	
インストレーション中	2-10
インストレーション後の実行	5-1

## L

LANMAN.INI パラメータ	
OpenVMS レジストリへの移行	3-3
LanmanIniMigrated パラメータ	3-3
License Server	3-10
インストレーション・プロシージャ	4-1
構成プロシージャ	4-1
スタートアップおよびシャットダウン	4-2
スタンドアロン・インストレーション	2-3
LMHOSTS	
使用するための構成	6-2, 6-7
トランスポートの構成	3-9
LMHOSTS 名の解決	3-9

## N

NETBIOS\$ACCESS OpenVMS 識別子	
削除	7-2
NETBIOS\$DEVICE	3-37
NETBIOS イメージ	
削除	7-2
NETBIOS プロセス	3-38

NetBIOS 名の解決	
DNS の使用	6-8
LMHOSTS を使用した	6-2
WINS を使用した	6-7
Netlogon サービス	3-11
NetLogon サービス	
起動の失敗	3-12
NIC	
ネットワーク・アダプタを参照	

## O

ODS-5 へのファイル名の変換	5-13
OpenVMS Cluster	
Advanced Server for OpenVMS へのアップグレード	1-3
Advanced Server ファイル用のディスク・デバイス	3-5
DNS を使用したロード・バランシング	6-8
License Server を実行する	1-5
LMHOSTS ファイル	3-9
PAK をロードする	1-5
クラスタ・エイリアス	3-12, 3-19
構成の確認	1-9
でサーバを起動する	5-4
での外部認証の有効化	5-7
における外部認証	5-9
におけるサーバの起動	4-5
におけるサーバの役割	3-11
におけるノードの構成	3-2
のノードの構成	3-34
負荷分散	3-9
へのインストール	1-19, 3-15
メンバ・サーバ	3-8
ロード・バランシング	3-8, 3-10
OpenVMS Clusters	
LMHOSTS ファイル	6-5
OpenVMS Registry Server	
起動	1-11
OpenVMS VAX システム	2-11
OpenVMS クラスタ	
License Server を実行する	4-2
クライアント・ライセンス PAK をロードする	4-1
スタンドアロン License Server のインストール	
および構成プロシージャの例	C-1
のための WINS サーバのセットアップ	6-7
OpenVMS のリポート	
遅延	2-8
必要な場合	2-7, 2-8
不要な場合の回避	2-8
OpenVMS レジストリ	3-3
起動	1-11
サーバ・パラメータの削除	7-2
スタートアップ時のサーバ・パラメータ	
値	5-6
OpenVMS レジストリ・サーバ	1-3

## P

PATHWORKS (NetWare) ファイル	
インストール時に検出	2-12
PATHWORKS Advanced Server	
へのインストール	2-12
PATHWORKS Advanced Servers	
アップグレード	1-2
PATHWORKS for OpenVMS	
SYS\$SPECIFIC: で検出されたファイル	2-12
PATHWORKS V5 for OpenVMS (LAN Manager)	
アップグレード	1-2
PROCSECTCNT パラメータ	
確認と定義	1-13
PWCONVERT コマンド	5-13
PWRK\$ACME_SERVER logical	5-11
PWRK\$CONFIG プロシージャ	
構成プロシージャを参照	
PWRK\$DEFINE_COMMANDS.COM	5-6
PWRK\$DELETEACE	
削除	7-2
PWRK\$FIXACE	
削除	7-2
PWRK\$KNBDAEMON_DEVICE	3-37
PWRK\$KNBDAEMON プロセス	3-38
PWRK\$NETBEUI_DEVICE	3-37
PWRK\$REGUTL ユーティリティ	1-11, 3-4
PWRK\$STARTUP.COM	
スタートアップ・プロシージャを参照	
PWRK\$STREAMSOS_V*.EXE	
インストール中に検出	2-7
PWRK\$NBDAEMON プロセス	3-38

## R

Registry Server	
起動	1-11

## S

SCSNODE パラメータ	
定義	1-14
Security Account Manager (SAM) データベース	
ファイル	3-4
SHOW QUEUE/MANAGER コマンド	1-15
START/QUEUE/MANAGER コマンド	1-15
SYS\$SINGLE_SIGNON	5-7
SYSTEM アカウント	
ログイン	1-10

## T

TCP/IP	1-8
起動	1-18
クラスタにおける	1-19
サポートのための Advanced Server の構成	1-18
状態の確認	1-18
TCP/IP クラスタ・インパーソネータ名	3-10, 3-12
TCP/IP クラスタ・エイリアス	3-10, 3-12
TDF	
時差係数を参照	
Timesource サービス	
説明	3-10

## U

Unicode (UCS-2)	
拡張文字セットを参照	

## V

VMSINSTAL プロシージャ	
インストール・プロシージャを参照	

## W

Windows 2000	
ドメイン環境	3-20, 3-23
Windows 2000 混在モード・ドメイン	3-20
Windows 2000 ネイティブ・モード・ドメイン	3-20
Windows 2003 暫定ドメイン	3-20
Windows 2003 ドメイン	3-20
Windows NT サーバ管理ツール	5-17
インストール	5-16
Windows NT プリンタ管理	3-13, 3-19
構成	3-32
例	3-33
考慮事項	3-33
WINS	
OpenVMS クラスタのためのセットアップ	6-7
使用するための構成	6-7
セットアップ	6-7
トランスポートの構成	3-8

## ア

アップグレード	
OpenVMS Cluster	1-3
PATHWORKS Advanced Servers	1-3
ファイル・サーバ	1-2
アンインストール	
Advanced Server	
のガイドライン	7-1

アンインストール・プロシージャ  
削除を参照

## イ

移行	
Advanced Server への	1-3
LANMAN.INI パラメータ	1-3
インストールされたファイル	
表示	2-11
インストールの準備	1-10
インストールの必要条件	
必要条件	1-9
インストール	
チェックリスト	A-1
インストール検証プロシージャ	
IVP を参照	
インストールの準備	
チェックリスト	1-9
インストールのためのチェックリスト	
ト	A-1
インストール後のタスク	5-1
インストールの必要条件	
ソフトウェア	1-8, 1-11
ディスク容量	1-15
ハードウェア	1-8, 1-10
ライセンス	1-4
インストール・プロシージャ	
Advanced Server のサンプル・スクリプト	B-1
PWRK\$STREAMSOS_V*.EXE の検出	2-7
インストールされたファイル	2-11
インストールされるファイル	E-1
外部認証	D-1
起動	2-3
失敗, システム・ディスクに他のサーバ・ファイルがある	2-12
失敗, 別のサーバの実行中	2-11
スタンドアロン License Server	4-1
スタンドアロン License Server のサンプル・スクリプト	C-1
説明	2-1
前提条件	2-2
中断	2-5
インストール前のタスク	2-2

## オ

オプションのソフトウェア	5-16
オペレーティング・システムの必要条件	1-8
オンディスク構造	E-10

## カ

### 外部認証

パススルー認証も参照

Advanced Server を実行していないシステム

上 . . . . . 5-10

DECnet-Plus 経由での必要条件 . . . . . 5-11

OpenVMS Cluster でのセットアップ . . . . . 5-9

クラスタ内 . . . . . 1-19

サーバの能力 . . . . . 5-12

セットアップ . . . . . 5-7

バイパス . . . . . 5-12

### 外部認証ソフトウェア

サンプル・インストレーション . . . . . D-1

スタンドアロン・インストレーション . . . . . 2-3

拡張文字セット . . . . . 3-12, 3-19, 3-29, 3-30

### 構成

例 . . . . . 3-31

### 管理コマンド

のためのショートカット . . . . . 5-6

### 管理者アカウントのパスワード

確認 . . . . . 3-14, 3-15

構成中に提供するかどうか . . . . . 3-14

ドメインへの参加 . . . . . 3-14, 3-15

変更 . . . . . 3-15

## キ

### 起動

Advanced Server . . . . . 5-2

DECnet . . . . . 1-17

License Server を自動的に . . . . . 4-5

License Server を手動で . . . . . 4-5

OpenVMS レジストリ . . . . . 1-11

TCP/IP . . . . . 1-18

構成時の Advanced Server の . . . . . 3-15

スタンドアロン License Server . . . . . 4-4

### キットの内容

確認 . . . . . 1-10

### キュー・マネージャ

起動 . . . . . 1-15

構成時の実行 . . . . . 1-15

## ク

クライアント・ソフトウェア . . . . . 1-9

クライアント別のサーバ管理ツール . . . . . 5-17

### クラスタ

OpenVMS クラスタを参照

## ケ

言語 . . . . . 3-12, 3-19

構成 . . . . . 3-29

考慮事項 . . . . . 3-30

例 . . . . . 3-31

### 言語 (続き)

コード・ページ . . . . . 3-30

## コ

### 構成

バックアップ・ドメイン・コントローラ . . . 3-8

メンバ・サーバ . . . . . 3-22

メンバ・サーバ・トランスポート . . . . . 3-8

ワイド・エリア・ネットワーク . . . . . 3-8

### 構成設定

変更 . . . . . 3-18

### 構成プロシージャ

Advanced Server . . . . . 3-1

Advanced Server のための準備 . . . . . 3-4

以前に構成されたサーバ . . . . . 3-36

起動 . . . . . 3-15

作成される論理名 . . . . . F-1

実行中のサーバの起動 . . . . . 3-18, 4-4

スタンドアロン License Server のサンプル・スクリプト . . . . . C-1, C-2

スタンドアロンのライセンス・サーバ・データ・ファイルに必要なディスク容量 . . . . . 4-4

前提条件 . . . . . 3-4

時のサーバの起動 . . . . . 3-15

必要なディスク領域 . . . . . 3-4

プロンプトへの応答 . . . . . 3-15, 4-3

構成マネージャ . . . . . 1-11, 3-2

コード・ページ . . . . . 3-30

コンピュータ名 . . . . . 3-12

SCSNODE パラメータ . . . . . 1-14

## サ

再構成 . . . . . 3-36

### 削除

Advanced Server . . . . . 7-1, 7-3

サーバ構成パラメータ . . . . . 7-2

### サーバ

外部認証のための能力 . . . . . 5-12

構成時の起動 . . . . . 3-18, 4-4

サーバ・アナウンス・コメント . . . . . 3-12

### サーバ管理ツール

インストレーション . . . . . 5-16

### サーバ構成パラメータ

構成中 . . . . . 3-18

サーバ・システム構成パラメータ . . . . . 3-2

## シ

### 時差係数

設定 . . . . . 1-16

### システム・ディスク

インストレーション中の制限 . . . . . 2-12

インストレーションに必要な容量 . . . . . 1-15

システムのバックアップ . . . . . 1-15

### システムのレポート

必要な場合 . . . . . 2-7

システム・パラメータ	
確認と定義	1-12
システム・リブート	
遅延	2-8
必要な場合	2-8
不要な場合の回避	2-8
シャットダウン・プロシージャ	5-6

## ス

スタートアップ	
Advanced Server	5-3
OpenVMS Cluster における	5-4
OpenVMS レジストリ・サーバ・パラメータ値の	
保存	5-6
SYSMAN ユーティリティの起動	5-4
自動	5-3
手動	5-3
トラブルシューティング	5-5
プロシージャ	5-2
スタンドアロン License Server	1-5
インストールおよび構成プロシージャの	
例	C-1
スタートアップ	4-4
スタンドアロン・License Server	4-2

## セ

製品識別子	2-2
セキュリティ・アカウント・データベース	
プライマリ・ドメイン・コントローラ	
上	3-20

## ソ

ソフトウェアの必要条件	1-8, 1-11
-------------	-----------

## タ

タイム・ゾーンの設定	1-16
確認	1-16

## テ

ディスク, システム	
インストール中の制限	2-12
ディスク容量	
判定	1-15
ディスク容量の要件	
ライセンス・サーバの構成	4-4
ディスク容量の必要条件	1-15
ディスク領域	
構成のための必要条件	3-4
データの喪失	
再構成中のリストア	3-36
データの損失	
防止	1-15

デバイス名	2-2
-------	-----

## ト

ドメイン	
自動的に参加, PWRK\$CONFIG によ	
る	3-14
手動での参加, ADMINISTER ADD	
COMPUTER コマンドによる	3-14
ドメイン管理者アカウント	
メンバ・サーバにローカル	3-14
ドメイン管理者アカウントのパスワード	
確認	3-15
ドメインへの参加	3-15
変更	3-15
メンバ・サーバ用	3-14
ドメインの管理者アカウントのパスワード	
確認	3-14
構成中に提供するかどうか	3-14
ドメインへの参加	3-14
ドメインの役割	
構成	3-20
変更	3-21
ドメイン名	
定義された用語	3-11
トランスポート	
LMHOSTS 用	3-9
WINS 用	3-8
選択	3-8

## ナ

夏時間	
設定	1-16

## ネ

ネットワーク・アダプタ	3-36
NETBIOS\$DEVICE	3-37
OpenVMS 論理名	3-37
PWRK\$KNBDAEMON_DEVICE	3-37
PWRK\$NETBEUI_DEVICE	3-37
定義	3-37
見つからない	3-38
ネットワーク・インタフェース・カード	
ネットワーク・アダプタを参照	
ネットワーク・トランスポート・ソフトウェア	1-8

## ハ

バックアップ・ドメイン・コントローラ	
構成	3-8
指定	3-11, 3-19
指定 designating	3-20
バススルー認証	6-5
外部認証も参照	

パスワード	
管理者アカウント	3-14
パーツ一覧	
確認	1-10
ハードウェアの必要条件	1-8, 1-10
パラメータ	
LanmanIniMigrated	3-3
移行	3-3
削除	7-2
サーバ構成	
構成中	3-18
システムに影響を及ぼす	3-2
パラメータ設定	
サーバ	
構成中	3-18
システムに影響を及ぼす	3-2

## フ

ブート	
リブートを参照	
プライマリ・ドメイン・コントローラ	
指定	3-11, 3-19
指定 designating	3-20
プリンタ	
管理	3-13
の管理	3-19
考慮事項	3-33
スタイルの構成	3-32
プリンタ管理スタイル	
構成	3-32
例	3-33
考慮事項	3-33
プロトコル	
トランスポートを参照	

## へ

変換ユーティリティ	5-13
-----------	------

## メ

メモリの必要条件	1-9
メンバ・サーバ	
OpenVMS Cluster における	3-8
構成	3-22
指定	3-11, 3-19, 3-20
トランスポートの構成	3-8
利点	3-23
ローカルの Administrator アカウントのパスワード	3-14

## モ

文字セット	3-12, 3-19
構成	3-29
考慮事項	3-30
例	3-31

## ユ

ユーザ・アカウント	
削除	7-2

## ラ

ライセンスの必要条件	1-4
------------	-----

## リ

リブート	
および DECprint Supervisor for OpenVMS のインストール	1-4
およびシステムの変更	1-12
クラスタ上での回避	1-20
遅延	2-8
必要な場合	2-7, 2-8
不要な場合の回避	2-8
リリース・ノート	1-6
印刷	1-7
インストール後の位置	2-11

## レ

レジストリ	
OpenVMS レジストリを参照	

## ロ

ロード・バランシング	3-8, 3-10, 6-8
論理名	
Advanced Server	F-1
スタートアップ・プロシージャ	5-2
割り当て解除	7-2

## ワ

ワイド・エリア・ドメイン	6-1
ワイド・エリア・ネットワーキング	
提供	3-8







日本語 Advanced Server for OpenVMS  
インストールおよび構成ガイド

---

2007 年 4 月 発行

日本ヒューレット・パッカート株式会社

〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 番地

電話 (03)3512-5700 (大代表)

---

